



AV一体型ナビゲーション 取扱説明書

品番

CN-RZ866 / CN-RZ766W

CN-RZ865 / CN-RZ765W

このたびは、純正用品 AV一体型ナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつもお手元において、正しい取扱方法により、長くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※代表としてCN-RZ866を記載しています。

事故防止のため運転中は絶対に操作しないでください。

本機の故障、誤動作または不具合によりメモリーに記録できなかったデータ、消失したデータ、メモリー内の保存データについては補償できません。

■ 主要機能相違点

○：対応 △：別売品にて対応 ×：非対応

機能		品番	CN-RZ866	CN-RZ865
			CN-RZ766W	CN-RZ765W
ナビゲーション機能			○	○ 安心運転サポート機能に相違あり*1
オーディオ機能	TV		○	○
	FM/AM・交通情報		○	○
	DVD/CD		○	○
	BLUETOOTH® Audio		○	○
	MEMORY MUSIC		○	○
	SD		○	○*2
	USB		○	○*2
	iPod/iPhone		○	○
	オーディオチューン		○	○*3
機能	ハンズフリー		○	○
	NaviCon®		○	○
	音声認識 (Drive T@lker)		○	×
無料地図更新*4	全地図更新 (Webダウンロード)		期間中2回可能	期間中2回可能
	部分地図更新 (Webダウンロード)		最大5年間可能	最大5年間可能
外部機器接続	VTR入出力*5		△	△
	HDMI入力*6		△	×
	HDMI出力 (後席用のモニター)*6		×	×
	車載カメラ*7		△	△
	ETC車載器*8/ETC2.0車載器		△	△
	ドライブレコーダー*9		△	△

別売品については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- *1 速度超過・一時停止・高速レーン減少・制限速度・指定方向外禁止の情報は案内されません。
- *2 FLAC、WAVには非対応です。
- *3 オーディオチューンのモードは切り換えられません。エフェクトモードのみになります。
- *4 「SDメモリーカードの送付」をご希望の場合は、全地図更新1回のみとなります。
- *5 別売のVTRケーブルが必要です。
- *6 別売のHDMI接続ケーブルなどが必要です。必要なケーブルは接続する機器によって異なります。
- *7 バックアイカメラ/セレクトビューバックアイカメラ/全方位モニター(メーカーオプション)
- *8 別売のETC車載器通信ケーブルが必要です。
- *9 対応しているドライブレコーダーのタイプ(ナビ連動タイプ/ナビ接続タイプなど)は、車両によって異なります。ナビに表示できないタイプの場合もあります。

お知らせ

- 本書は複数の機種に対して共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合があります。
- 製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

ヘッドアップディスプレイ対応

ナビゲーションのルート情報を、車両のヘッドアップディスプレイに表示させることができます。

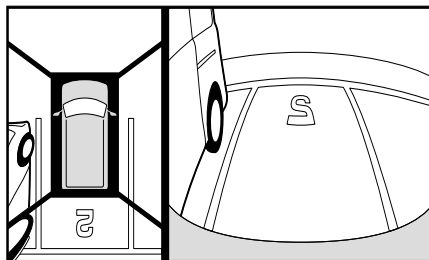
※車両にヘッドアップディスプレイが装着されている場合



全方位モニター対応

全方位モニターの映像を、本機のディスプレイに表示できます。

※車両に全方位モニターが装着されている場合



高速道路 逆走注意アラーム・逆走検知警告

SA/PAに駐車して車のエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

また、万一高速道路を逆走していると検知したときは、逆走のおそれがある旨を表示と音声で警告します。



ハイレゾ音源対応

CN-RZ866

CN-RZ766W

のみ

SDメモリーカードやUSBメモリーに保存したハイレゾ音源(FLAC形式、WAV形式)を車内でも高音質で再生し、お楽しみいただけます。

※ハイレゾ品質で音楽を聴くにはプレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

もくじ

安全上のご注意	6
---------------	---

はじめに P.10

ご使用前に知っておいていただきたいこと... 10	
各部のなまえとはたらき	12
タッチパネルの操作について	14
基本操作・準備(確認・調整)	15
取り付け・配線の確認	19
初期設定をする	21
セキュリティコードの設定をする	23
メニュー画面の操作	24

ナビゲーション P.28

地図の紹介	30
地図の見かた	34
ランチャーメニューで操作する	38
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする (ストラダチューン)	40
地図の操作	42
行き先までのルートを作るには	50
行き先を探す	52
ルートを探索する	56
全ルート図から設定・確認する	57
ルートを編集する	59
ルートを保存する	61
ルート探索について	62
ルート案内について	64
安心運転サポート情報	67
逆走注意アラーム・逆走検知警告	68
地点を登録する(登録地)	69
VICS情報を見る	74

本書の読みかた

- 製品の品番は、パナソニック品番(末尾を一部省略)で表記しています。
- 本書では、CN-RZ866を例に説明しています。
品番ごとに仕様異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

CN-RZ866

CN-RZ766W

CN-RZ865

CN-RZ765W

- 本書では、操作スイッチを下記のように描き分けています。

例) **案内スタート** **決定** : タッチキー(画面上のスイッチ)

AUDIO **MENU** **MAP** : ハードキー(ナビゲーション本体のボタンスイッチ)

- 本書では特にことわりのない限り、iPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。
- 本書では特にことわりのない限り、Android™スマートフォン/iPhoneを「スマートフォン」と表記しています。
- 本書では特にことわりのない限り、SD規格に準拠したメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。

ただし、

- microSDメモリーカードと記載している場合は、microSDXCメモリーカード/microSDHCメモリーカード/microSDメモリーカードを指します。
- miniSDメモリーカードと記載している場合は、miniSDメモリーカードを指します。

- 本書では別売のオプション品を、下記のように区分しています。

- ・別売：純正のオプション品
- ・市販：市販(純正品以外)のオプション品

オーディオ P.79

オーディオの基本操作 80

テレビを見る 82

ラジオを聞く 89

交通情報を聞く 90

ディスクを再生する 91

BLUETOOTH Audioを再生する 97

SDメモリーカードに音楽CDを録音する... 98

本機で録音した音楽データを再生する... 100

本機で録音した音楽データを編集する... 101

SDメモリーカード・
USBメモリーを再生する 108

iPodを再生する 114

音質・音場を調整する
(オーディオチューン) 118

映像を調整する 124

現在地画面にオーディオ映像を表示する... 125

BLUETOOTH® P.126

■ 登録・接続

BLUETOOTH対応機器を
本機に登録する 128

BLUETOOTH対応機器を
本機に割り当てる 130

BLUETOOTHの接続設定をする 131

スマートフォン連携で使用する
アプリを選択する 131

BLUETOOTH対応機器の
詳細情報を見る 132

本機の本体情報を見る 133

■ ハンズフリー

ハンズフリーで通話する 134

■ スマートフォン

NaviCon®を利用する
(スマートフォン連携) 138

■ 音声認識

音声認識で目的地を検索する 140

その他 P.142

■ その他の機能

ecoドライブ機能を使う 144

メンテナンス情報を設定する 145

地図更新について 146

バージョンアップする 148

■ 別売品

VTR入力の映像を見る 148

HDMI入力の映像を見る 149

後席用のモニターで本機の映像を見る... 150

ヘッドアップディスプレイ連携 150

カメラと組み合わせる 151

ETC車載器/ETC2.0車載器
と組み合わせる 152

ナビ連動ドライブレコーダーと
組み合わせる 154

■ 設定

利用に応じた設定に変える 167

■ 困ったとき

故障かな!? 174

■ 必要なとき

文字入力のしかた 191

テレビ・ラジオの受信について 192

ディスクについて 193

お手入れ 195

SDメモリーカード・
USBメモリーについて 196

データ作成時の留意点 197

BLUETOOTHについて 201

DVD言語コード一覧表 202

ナビゲーションシステムとは 203

VICSについて 206

地図ソフトについて 208

ジャンル一覧 212

さくいん 214

商標・ライセンスなど 218

ソフトウェア、および
オープンソースソフトウェアについて... 220

仕様 222

保証とアフターサービス 225

ステアリングスイッチの操作について... 226

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき



警告



本機はDC12Vアース車専用です

DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す

外せずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする

アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する

安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするとき

 **警告****作業後は、車の電装品*の動作確認をする**

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど

**視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**

交通事故やけがの原因となります。

*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品

が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

**分解や改造をしない**

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

分解禁止

 **注意****必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

取り付けや配線をするとき

注意



しっかり確実に取り付ける

走行中の脱着や破損などで、交通事故やけがの原因となります。
取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。
取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する

火災や発煙、発火、故障の原因となります。

*最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが $4\ \Omega\sim 8\ \Omega$

外部機器*は、運転やエアバッグの動作などに支障がないように使用する
ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの動作を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。（配線の処理や機器の固定など）交通事故の原因になることがあります。

*本機に接続する iPod などの音楽プレーヤー、USB メモリー、スマートフォン、ビデオカメラなど

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

ナビ連動ドライブレコーダー（別売品）は、本体の温度を確認してから microSD メモリーカードを抜き差しする

高温環境での放置（直射日光が長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。その場合、温度が低下するまで使用を控えるようにしてください。

ご使用になるとき

 **警告**

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない
エンジンをかけたまま、換気の悪い場所（周囲が囲まれた車庫や屋内など）で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない
特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。
水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない
落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

 **注意**

本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
特に、ディスプレイの開閉や角度調整の際にご注意ください。
けがをするおそれがあります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

開いたディスプレイの上に物を置かない
液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

ご使用上の注意事項など

走行中の操作制限・視聴制限について

- 安全のため、走行中は一部の操作ができませんようになっていきます。また、走行中は映像（TV、DVDなどの動画）を見ることができませんようになっていきます。操作、および映像を視聴するときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

車のエンジン停止中／アイドリング中のご使用について

- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。なお、アイドリングが禁止されている地域もありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所（周囲が囲まれた車庫など）で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

車から本機やバッテリーを取り外した場合は

- 画質調整・音量調整などの設定が出荷時の状態に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。
- 次回起動時にセキュリティコードの入力が必要になります。(P.23)

車内で本機に接続する外部機器*について

- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの動作を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。(配線の処理や機器の固定など)
- 温度が高くなる場所（直射日光や暖房機器の温風があたり続けるところなど）に放置しないでください。

* iPod などの音楽プレーヤー、USB メモリー、スマートフォン、ビデオカメラなど

液晶パネルについて

- 先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。また、たたいたり、強く押さないでください。傷や破損、誤動作の原因となります。
- 車から離れたとき（本機を使用しないとき）は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露（水滴）で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 液晶パネルの画素は、99.99%の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶保護シートを使用しないでください。視認性や操作性が損なわれる場合があります。（暗くなる、タッチパネルの反応が悪くなるなど）

本機を廃棄／譲渡するときは

- 本機に記録された情報（登録地や登録ルート、走行軌跡などの履歴、電話番号などの個人情報やお客様が録音した楽曲など）を必ず消去し、出荷時の状態に戻してください。(P.173)
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

その他

- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、法令により許された場合を除き、本機を日本国外に持ち出しはいけません。

免責事項について

- 本機は、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではありません。また、本機のソフト（収録されている地図データや安全支援機能など）が完全・正確であることを、保証するものではありません。
- 本機に接続する外部機器については、すべての動作を保証するものではありません。（iPod などの音楽プレーヤー、USB メモリー、スマートフォン、ビデオカメラなど）
- 車の運転は、必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、それらを優先してください。交通事故や交通違反の罰則などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 火災や地震または気象による自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の使用中にメディアや接続している機器のデータが変化・消失した場合の補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機に記録された個人情報（登録地や登録ルート、走行軌跡などの履歴、電話番号など）は、お客様の責任において管理（消去など）してください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- 次の場合、補償はできません。
大切な情報（登録地など）は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。
 - 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に記録されていた情報が変化・消失した場合
 - 本機の地図データ更新で、道路や地形に変化のあった地域に関連するルートや地点のデータが消失した場合
 - 本機のソフトウェアをバージョンアップする際に、記録されていた情報が変化・消失した場合

著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- お客さまが録音・録画したものは、個人として楽しむ場合を除き、著作権法上権利者に無断で使用できません。また、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

各部のなまえとはたらき

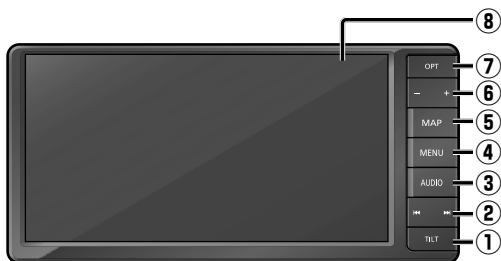
CN-RZ866

CN-RZ865



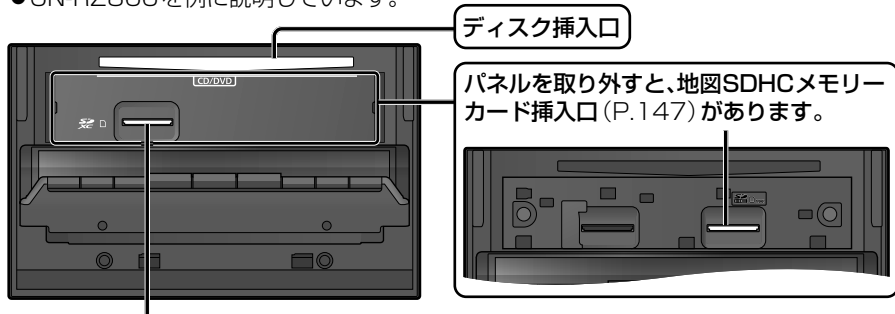
CN-RZ766W

CN-RZ765W



<ディスプレイ開>

- CN-RZ866を例に説明しています。



SDメモリーカード挿入口

- SDメモリーカード (P.108、196) を挿入する。

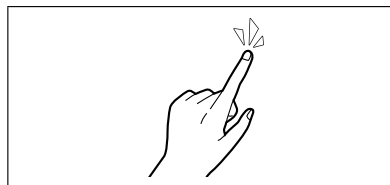
①	チルト TILT	●OPEN/EJECT画面の表示/消去 ●ディスプレイを閉じる
②	◀▶▶▶ DVD CD MEMORY MUSIC USB	●頭出し ●早送り・早戻し(押し続ける)
	SD BLUETOOTH Audio iPod	●選局する ●シーク選局(1秒以上押す)
	FM AM	●選局する ●連続選局(押し続ける)
③	オーディオ AUDIO	●オーディオ画面に切換 ●オーディオメニューを表示 ●オーディオOFF/ON(2秒以上押す)
	メニュー MENU	●ツートップメニューを表示 ●音声認識*1を起動(1秒以上押す)
④		●タッチキーを表示 (タッチキーを表示していないときに押す)
	DVD	●ツートップメニューを表示 (タッチキー表示中に押す)
⑤	マップ MAP	●自車位置(現在地)を表示 ●画質調整画面を表示(2秒以上押す)
⑥	音量ボタン(- +)	●オーディオ/ハンズフリーの音量調整
⑦	オプション OPT	●セレクトビューバックアイカメラ、または全方位モニター接続時
	セレクトビューバックアイカメラ、および全方位モニター非接続時	●オーディオの音声を一時的に消音
⑧	画面(表示部)、タッチパネル	●タッチ操作時に使用

*1 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ

タッチパネルの操作について

本機のタッチパネルは、必ず指で触れて操作してください。
先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）で操作したり、たたく、強く押すなどして液晶ディスプレイに負担がかかると、傷や破損、および誤動作の原因となります。

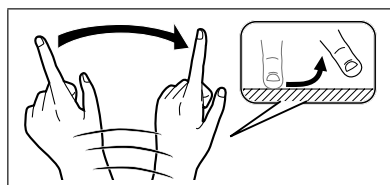
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■タッチ

指で画面に軽く触れる。

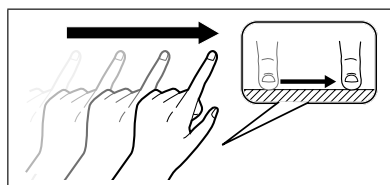
- 本書で「〇〇を選ぶ」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「〇秒以上タッチする」「タッチし続ける」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■フリック

指で画面をはらう。

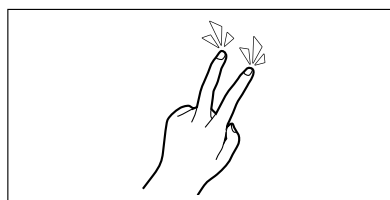
- メニュー画面をフリックした方向に切り換える。
- リストの項目をフリックした方向に移動させる。
- 地図画面をフリックした方向にスクロールする。



■ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

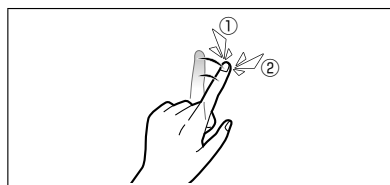
- メニュー画面をドラッグした方向に切り換える。
- リストの項目をドラッグした方向に移動させる。
- 地図画面をドラッグした方向にスクロールする。



■2点タッチ (同時に2カ所をタッチ)

同時に2カ所をタッチする。

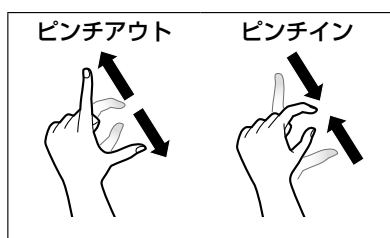
- 地図の縮尺を「広域」に切り換える。



■ダブルタップ (連続して2回タッチ)

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り換える。



■ピンチ

2本の指で、間隔を広げる／狭めるようになぞる。

- **ピンチアウト (広げる)**
地図の縮尺を「詳細」に切り換える。
・指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。
- **ピンチイン (狭める)**
地図の縮尺を「広域」に切り換える。

基本操作・準備(確認・調整)

初めてナビゲーションを起動したときは(利用開始)

初めてナビゲーションを起動したときは、利用開始確認画面が表示されます。下記操作を行い、利用開始してください。

- 利用開始日は、無料地図更新サービスの有効期限を算出するのに使用します。(P.146)
- GPSを受信しないと、**利用開始**を選べません。

1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)

- 本機の電源が入り、利用開始確認画面が表示されます。

2 見晴らしの良い場所に車両を移動し、GPS衛星からの信号を受信させる

- 受信すると、**利用開始**を選べるようになります。

3 **利用開始**を選ぶ

4 **はい**を選ぶ

5 **OK**を選ぶ

- 利用開始日が設定され、ナビゲーションの利用を開始します。



電源を入れる

1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)

- 本機の電源が入り、ボタン照明が点灯します。
- セキュリティコード入力画面が表示されたら→P.23

2 警告画面の注意事項を確認して、**確認**を選ぶ

- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、**MAP**を押すとナビゲーション画面(現在地)に切り換わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- ETC車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- BLUETOOTH対応機器を本機に接続しているときは、本機の電源を入れるとBLUETOOTH対応機器との接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- メンテナンス情報の設定をすると、本機の電源を入れたときに、メンテナンス情報の案内画面が設定された条件で表示されます。(P.145)

電源を切るには

車のエンジンを止める(ACCをOFFにする)

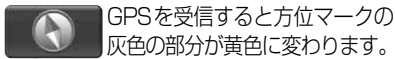
- 本機の電源が切れます。
- ETC車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。(P.171)
- iPodを接続している場合は、iPod抜き忘れ案内をお知らせします。(P.172)
- 盗難多発地点でエンジンを止めた場合は、盗難多発地点音声案内をお知らせします。(P.172)

基本操作・準備(確認・調整)

自転車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自転車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自転車位置付近の地図(現在地画面)が表示されます。見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSを受信していることを確認する



GPSを受信すると方位マークの灰色の部分が黄色に変わります。



GPSを受信すると、現在時刻が表示されます。

2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する(60分以上)

- 地図画面上の自転車マークの位置と実際の自転車位置との誤差が補正されます。

お知らせ

- しばらくたっても自転車位置が表示されないときは、GPS情報(右記)から受信状態を確認してください。

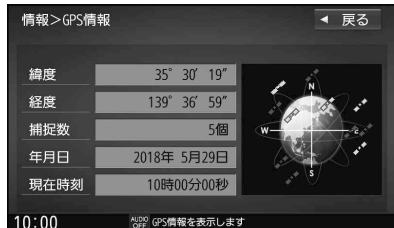
GPS 情報を確認する

1 ツートップメニュー(P.24)から「情報・設定」を選ぶ

2 情報・設定メニューから「情報」を選ぶ

3 情報メニューから「GPS情報」を選ぶ

4 GPS 情報を確認する



- 緯 度: 現在位置の緯度を表示
- 経 度: 現在位置の経度を表示
- 捕 捉 数: 測位に使用している衛星の数を表示
- 年 月 日: 現在の日付を表示
- 現在時刻: 現在時刻を表示

自転車位置を変更する

通常は、この操作は必要ありません。

- 1 ツートップメニュー (P.24) から **情報・設定** を選ぶ

- 2 情報・設定メニューから **ナビ設定** を選ぶ

- 3 ナビ設定メニューから **表示** を選ぶ




- 4 自転車位置の **修正する** を選ぶ

- 5 位置を調整し、**セット** を選ぶ



- **微調整**：位置の微調整ができます。

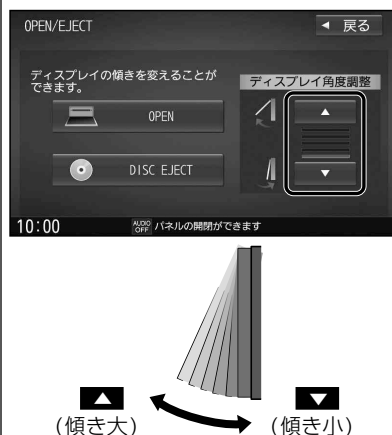
- 6  で自転車マークを進行方向に合わせ、**セット** を選ぶ



ディスプレイの角度を調整する (TILT)

- 1 **TILT** を押す

- 2 角度を調整する (5段階)



- 3 **TILT** を押す

お願い

- 周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。
- 手で動かすなど、無理な力を加えないでください。
- 可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。

お知らせ

- 車のエンジンを切ると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。(P.124)
- 車両の振動や衝撃などによって、調整した角度から傾きが変わってしまう(閉まる)場合があります。

画面を一時的に消す

- 情報・設定メニュー (P.25) から **画面OFF** を選ぶ

画面を再表示するには

- AUDIO** **MENU** **MAP** **TILT**
のいずれかを押すか、画面をタッチする

基本操作・準備(確認・調整)

ナビゲーションの音量を調整する

1 ナビ設定メニュー(P.17)から
ナビ案内音量を選ぶ

2 ナビ案内音量画面から
ナビゲーションの音量を調整する



- **[-]/+**: 音量を調整する(15段階)
[お買い上げ時の設定: 5]

本体のボタンで音量を調整するには

ナビ案内音量画面(上記)から**する**を選ぶ



- ナビゲーションの音声案内出力中に本体ボタン **[-]/+** で音量を調整できます。
[お買い上げ時の設定: しない]

ナビゲーションの音声を 一時的に消音する(ミュート)

ナビ案内音量画面(上記)から**消音**を選ぶ



- 選ぶごとにON/OFFが切り替わります。
[お買い上げ時の設定: OFF(消音しない)]

お知らせ

- 音声案内の詳細な項目(出力するスピーカー、高速走行時の音量など)の設定は→P.170
- 音声案内および操作音は、リアスピーカーからは出力されません。

オーディオの音量を調整する

オーディオの音声出力中に
[-]/+を押す(64段階)

お知らせ

- 音量は、オーディオごとに記憶されます。

オーディオの音声を 一時的に消音する(ミュート)

ランチャーメニューから操作する

準備

- ランチャーメニューに **消音** が表示されるように設定してください。(P.38)

1 現在地画面で **LAUNCHER** を選ぶ

2 ランチャーメニューから **消音** を選ぶ



- 再度選ぶと、解除されます。

ステアリングスイッチで操作する

「タイプA」または「タイプB」に設定している場合に操作できます。(P.172)

ステアリングスイッチの

👉 または **👈** を押す

- 再度押すと、解除されます。

本機の本体ボタンで操作する

セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。

[OPT]を押す

- 再度押すと、解除されます。

お知らせ

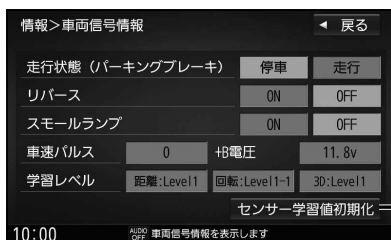
- ミュート時は、「消音」と表示されます。
- ナビゲーションの音声案内、音声認識のトークバック、ハンズフリーの音声(通話音・発着信音)などはミュートされません。
- オーディオをOFFにするには→P.81
- ステアリングスイッチ設定が「タイプC」の場合は、ミュートできません。
- ステアリングスイッチ設定が「タイプB」の場合は、ハンズフリー画面で **👈** を押すと、電話に出る/電話を切る操作ができます。(P.134)

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

1 情報メニュー(P.25)から**車両信号情報**を選ぶ

2 車両信号情報を確認する(下記)



センサー学習値初期化

車速パルスと学習レベルを初期化します。初期化後は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。

項目	確認内容
走行状態 (パーキングブレーキ)	パーキングブレーキをかけると、「停車」に、解除すると「走行」に変わりますか？
リバース	シフトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？
車速パルス	走行後、数字が変化していますか？
+B電圧	バッテリーの電圧が表示されます。 12V(11V～16V)になっていますか？
学習レベル	走行後、数字が変化していますか？ ● 距離:Level 1～Level 5 ● 回転:Level 1-1～Level 5-5 ● 3D:Level 1～Level 5

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
 - ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す
 - ・右左折が多い
 - ・右左折が極端に少ない
 - ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号コードの接続を確認してください。
- 速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 正常な状態にならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付け・配線の確認

拡張ユニット情報を確認する

1 情報メニュー(P.25)から**拡張ユニット情報**を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する(下記)



項目	確認内容
iPod* ¹	iPodを接続している場合、ON表示になっていますか？
USB* ¹	USBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか？
ETC2.0ユニット* ²	ETC2.0車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
ETCユニット* ²	ETC車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
ドライブレコーダー	ナビ連動ドライブレコーダーを接続している場合、ON表示になっていますか？

* 1 * 2 同時には接続できません。

初期設定をする

車種を設定する

車両にあわせて設定されていますので、この操作は必要ありません。

車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

- 1 情報・設定メニュー(P.25)から **システム設定** を選ぶ

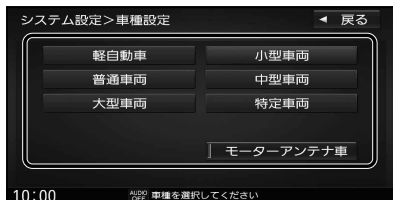
- 2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ



- 3 **車種設定** を選ぶ



- 4 車種を選ぶ



- **軽自動車**
- **小型車両** [お買い上げ時の設定]
- **普通車両**
- **中型車両**
- **大型車両**
- **特定車両**
- **モーターアンテナ車** を選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。[お買い上げ時の設定: OFF]
 - **モーターアンテナ車の場合***1
ONに設定する。(インジケーター点灯)
 - オーディオのON/OFFに連動して、アンテナが伸縮します。
 - **モーターアンテナ車以外の場合**
OFFに設定する。(インジケーター消灯)

* 1 モーターアンテナ車の留意点

- オーディオをOFFにするとアンテナが収納されるため、FM-VICS情報が受信できなくなります。
- モーターアンテナ車の設定をOFFにすると、アンテナが伸びたままになりますので、立体駐車場など天井の低い場所に入るときはご注意ください。

ユーザー名を設定する

- 1 システム設定画面(左記)から **ユーザーカスタマイズ** を選ぶ

- 2 ユーザーカスタマイズ画面から **編集** を選ぶ



- **ユーザー切替**
[お買い上げ時の設定: ユーザー 1]
- **ユーザー名表示**
[お買い上げ時の設定: する]

- 3 ユーザー名を入力し、**決定** を選ぶ

- 全角4文字(半角8文字)まで
- 文字入力のしかた→P.191

ユーザーを切り換える

ユーザーカスタマイズ画面(上記)から **1** / **2** を選び、**はい** を選ぶ

- 選んだユーザーに切り換わります。
- ユーザー名表示 **する** に設定すると、地図画面にユーザーカスタマイズタッチキーが表示されます。(P.34)
- ユーザーごとに、下記の項目を記憶させることができます。
 - ・表示設定(昼夜切替は記憶されません)
 - ・探索設定(到着予想は記憶されません)
 - ・案内設定
 - ・ランチャー設定
 - ・ナビ案内音量
 - ・履歴
 - ・ハンズフリー通話設定
 - ・登録地編集
 - ・キー操作音
 - ・音認システム発話音量*2
 - ・ストラダチューン
(ガイダンスの事故多発地点案内の設定は記憶されません)

* 2 (CN-RZ866) (CN-RZ766W) のみ

はじめに

取り付け・配線の確認 / 初期設定をする

初期設定をする

自宅を登録する

目的地メニューから登録する

- 1 自宅が登録されていない状態で、目的地メニュー(P.25)から**自宅**を選ぶ
- 2 **はい**を選ぶ
- 3 **自宅の場所を検索する**
 - 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.52～55)
- 4 **自宅登録**を選ぶ
 - カーソルの地点が、自宅として登録されます。
 - 引き続き、自宅へのルートを探索できます。
 - 自宅に出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。**はい**を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。

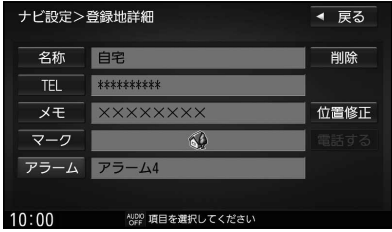
登録地編集画面から登録する

- 1 自宅が登録されていない状態で、ナビ設定メニュー(P.17)から**登録地編集**を選ぶ
- 2 **自宅編集<登録されていません>**を選ぶ
- 3 **自宅の場所を検索する**
 - 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.52～55)
- 4 **自宅登録**を選ぶ
 - カーソルの地点が、自宅として登録されます。
 - 出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。**はい**を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。

お知らせ

- 登録した自宅を呼び出すには→P.54
- 自宅を別の地点に変更するときは、自宅を削除(右記)してから、再登録してください。

自宅を編集するには

- 1 ナビ設定メニュー(P.17)から**登録地編集**を選ぶ
 - 自宅の登録地詳細画面が表示されます。
- 2 **自宅編集**を選ぶ
- 3 **自宅の登録地詳細画面から自宅を編集する**
 - 編集のしかたは、「登録地を編集する」と同じです。(P.72～73)

自宅を削除するには

- 1 自宅の登録地詳細画面(上記)から**削除**を選ぶ
- 2 **はい**を選ぶ
 - 自宅が削除されます。

セキュリティコードの設定をする

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報情報の漏洩を防ぐことができます。

セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
セキュリティコード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

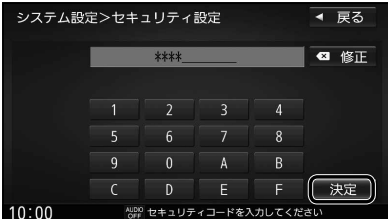
セキュリティコードを設定する

設定したセキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

- 1 情報・設定メニュー(P.25)から **システム設定** を選ぶ
- 2 システム設定画面から **セキュリティ** を選ぶ
- 3 セキュリティ画面から **セキュリティ設定する** を選ぶ
- 4 (初めて設定する場合のみ)
下記操作を行う
 - 1 **OK** を選ぶ
 - 2 初期パスワード「9876」を入力し、**決定** を選ぶ
 - 3 **はい** を選ぶ

- 5 **OK** を選ぶ

- 6 セキュリティコードを入力し、**決定** を選ぶ



- **修正**：1文字削除
- 文字種：数字・A～Fの大文字
- 文字数：3文字～12文字

※第三者から推測されやすい文字列(例：生年月日、0000のような同じ文字の繰り返し、わかりやすい並びの文字など)を避けて設定してください。

- 7 **はい** を選ぶ

- セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

バッテリー交換時など、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動した場合のみ、セキュリティコード入力画面(下記)が表示されます。
セキュリティコードを入力してください。

セキュリティコードを入力し、**決定** を選ぶ



- ロックが解除されます。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

- 1 セキュリティ画面(左記)から **セキュリティ設定しない** を選ぶ
- 2 **OK** を選ぶ
- 3 セキュリティコードを入力し、**決定** を選ぶ
 - セキュリティ設定が解除されます。

お知らせ

- その他のセキュリティに関する項目の設定は、P.172をご覧ください。

はじめに

初期設定をする / セキュリティコードの設定をする

メニュー画面の操作

ツートップメニューを表示する

MENU を押す

- ツートップメニューが表示されます。

オーディオメニュー

カスタマイズ
(P.26)



- FM/AM..... P.89
- SD * 1 P.110
- iPod..... P.116
- TV P.82
- USB * 1 P.110
- BLUETOOTH Audio..... P.97
- MEMORY MUSIC * 2 P.100
- DISC (DVD/CD) * 4 P.92~96
- HDMI® * 3 * 5 P.149
- VTR * 3 P.148
- 交通情報 * 3 P.90

* 1 パソコンなどで保存したデータ(音楽/静止画/動画)の再生

* 2 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生

* 3 オーディオショートカットへの登録はできません。

* 4 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

* 5 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ

ツートップメニュー

オーディオ
ショートカット

音声認識*5
(P.140)

目的地
ショートカット



- AUDIO ON(OFF).... P.81
- ハンズフリー.....P.135
- 情報・設定 P.25
- ルート P.57

お知らせ

- 目的地ショートカットおよびオーディオショートカットの項目を変更できます。(P.26)
- メニューの背景色を変更できます。(P.27)

フリック/ドラッグ操作での切り換えかた

ツートップメニュー/目的地メニュー/オーディオメニューは、左右にフリック/ドラッグして切り換えることもできます。

フリック



ドラッグ



●DVD画面では、タッチキーが表示されていない状態で **[MENU]**を押すとタッチキーが表示されます。
タッチキーが表示された状態で再度**[MENU]**を押すと、ツートップメニューが表示されます。

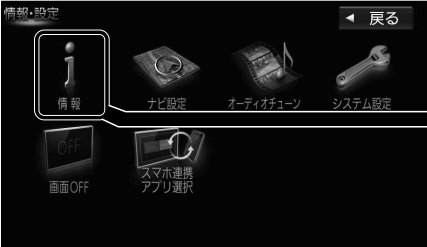
目的地メニュー

カスタマイズ
(P.26)



- 名称..... P.52
 - 電話番号..... P.52
 - 周辺施設..... P.53
 - 住所..... P.53
 - 登録地..... P.54
 - 自宅..... P.54
 - ジャンル..... P.54
 - 履歴..... P.52
 - マップコード*7..... P.55
 - 緯度・経度*7..... P.55
 - 郵便番号*7..... P.55
- *7 目的地ショートカットへの登録はできません。

情報・設定メニュー



- 情報..... 右記
- ナビ設定..... P.167
- オーディオチューン..... P.118
- システム設定..... P.172
- 画面OFF..... P.17
- スマホ連携アプリ選択*5..... P.131

情報メニュー




- 渋滞情報..... P.75
- ecoドライブ..... P.144
- システム情報:
ナビID、地図更新ID、製造番号を表示
- バージョン情報:
ソフトのバージョン/
無料Web部分地図更新期限を表示
- GPS情報..... P.16
- ETC情報..... P.153
- ドライブレコーダー..... P.158
- 車両信号情報..... P.19
- 拡張ユニット情報..... P.20

メニュー画面の操作

ツートップメニューに表示させる項目を変更する

オーディオメニューの並びを変更する

- 1 オーディオメニュー (P.24) から
 (カスタマイズ) を選ぶ
- 2 カスタマイズ画面から
入れ換えたい項目を選ぶ
例:
「TV」のかわりに「FM/AM」をツートップ
メニューに表示するには
① **TV** を選ぶ
② **FM/AM** を選ぶ




- **AUDIO初期化**
オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- **全初期化**
目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

- 選んだ項目が入れ換わります。



オーディオショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

目的地メニューの並びを変更する

- 1 目的地メニュー (P.25) から
 (カスタマイズ) を選ぶ
- 2 カスタマイズ画面から
入れ換えたい項目を選ぶ
例:
「名称」のかわりに「履歴」をツートップ
メニューに表示するには
① **名称** を選ぶ
② **履歴** を選ぶ



- **目的地初期化**
目的地メニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- **全初期化**
目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

- 選んだ項目が入れ換わります。



目的地ショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

メニューの背景色を変更する

1 カスタマイズ画面 (P.26) から 背景を選ぶ



2 背景色を選ぶ



- 選んだ背景色に設定されます。
[お買い上げ時の設定: 白]

地図の紹介	30	地図の操作	42
市街地図.....	30	地図を動かす(スクロール).....	42
広域地図.....	30	縮尺を切り換える.....	43
標高地図.....	30	向きを切り換える	
案内図表示.....	31	(ノースアップ/ヘディングアップ/3D).....	44
拡大図表示.....	32	3Dの地図を操作する.....	44
地図の見かた	34	右画面を表示する(2画面).....	45
地図画面.....	34	走行軌跡を表示する.....	46
現在地画面.....	36	表示するランドマークを選ぶ.....	47
地図モード画面.....	36	ランドマークを表示する.....	47
ルート案内中の画面.....	37	地点メニューから操作する.....	47
安心運転サポート情報.....	37	地図上に表示されるVICS情報(レベル3).....	48
ランチャーメニューで操作する	38	行き先までのルートを作るには	50
ランチャーメニューの項目を変更する.....	38	ルート案内を中止する.....	51
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする (ストラダチューン).....	40	ルートを削除する.....	51
ルート.....	40	行き先を探す	52
ガイダンス.....	40	施設の名称で探す.....	52
マップ.....	41	電話番号で探す.....	52
VICS WIDE.....	41	目的地・経由地の履歴から探す.....	52
		周辺の施設から探す.....	53
		住所で探す.....	53
		ジャンルから探す.....	54
		登録地から探す.....	54
		自宅へ帰る.....	54
		マップコードで探す.....	55
		緯度経度で探す.....	55
		郵便番号で探す.....	55
		施設の出入口・提携駐車場を探す.....	55

ナビゲーション

ルートを探索する.....	56	ルート案内について.....	64
目的地に設定する.....	56	一般道路走行中の音声案内.....	64
経由地に設定する.....	56	高速道路・有料道路走行中の音声案内.....	64
全ルート図から設定・確認する.....	57	トンネルに入ると.....	64
手動で全ルート図を表示させる.....	57	前方が渋滞していたら(VICS案内).....	65
5つの条件のルートから選ぶ.....	57	経由地・目的地の音声案内.....	65
ルートの詳細情報を見る.....	58	ルート案内中の曜日時間規制探索.....	65
ルートをシミュレーションする.....	58	ルート案内中のVICS自動再探索 (スイテルート案内).....	65
ルートを編集する.....	59	新しいルートと前のルートを比較する (新旧ルート比較).....	65
経由地・目的地を追加する.....	59	ルートから外れたときの自動再探索.....	66
区間ごとの探索条件を変更する.....	59	休憩メッセージ案内.....	66
出発地・経由地・目的地を変更する.....	60	次の交差点などの音声案内を聞く.....	66
迂回するルートに設定する.....	60	もう一度ルートを探索する.....	66
出発地・経由地・目的地を削除する.....	60	走行中の道路を誤って認識したとき (道路切換).....	66
経由地・目的地を並べ換える.....	60	安心運転サポート情報.....	67
ルートを保存する.....	61	逆走注意アラーム・逆走検知警告.....	68
ルートを保存する.....	61	地点を登録する(登録地).....	69
保存したルート呼び出す.....	61	登録地について.....	69
保存したルートを削除する.....	61	カーソルの地点を登録する.....	69
ルート探索について.....	62	現在地を登録する.....	69
探索条件について.....	62	登録地をフォルダで管理する.....	69
ルート学習について.....	62	お気に入り地点を登録する.....	70
細街路探索について.....	62	登録地の情報を見る.....	71
曜日時間規制探索について.....	63	登録地を編集する.....	72
VICS考慮について.....	63	VICS情報を見る.....	74
スマートICを通るルートについて.....	63	VICSとは.....	74
		VICS情報を受信するFM放送局を 設定する.....	75
		文字表示型(レベル1)・図形表示型(レベル2) のVICS情報を受信すると.....	76
		画像・音声情報のVICS情報を受信すると (ETC2.0).....	76
		地図表示型(レベル3)のVICS情報を 受信すると.....	77
		事象・規制マークの内容を確認する.....	77
		VICS情報を確認する.....	77
		緊急情報(特別警報)を受信すると.....	78

地図の紹介

市街地図

- 縮尺
- 5 m
- 12 m
- 25 m



建物の形まで、詳細に表示されます。



3D表示に切り換える(P.44)と、建物が立体的に表示されます。

広域地図

- 縮尺
- 50 m
- ...
- 250 km



道路を線で表した、シンプルな地図が表示されます。

- 道幅が5.5 m以上の道路を走行中は、細街路は表示されません。
- 走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。
- 標高地図を表示「する」に設定されている場合は、縮尺を5 km～100 kmに切り換えると標高地図が表示されます。

標高地図

- 縮尺
- 5 km
- ...
- 100 km



案内図表示



■ 方面看板

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印が表示されます。

- 常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます。(P.169)



■ ルート情報

ルート案内時、道路名・交差点の名称、進むべき方向、距離などが表示されます。

高速道路走行中は、自動的にハイウェイマップに切り換わります。

- : スクロール
- : 現在区間: 現在の区間に戻る
- : 表示する/しないの設定 → P.169



■ ハイウェイマップ

都市高速、都市間高速道路、一部の有料道路を走行すると自動的に表示されます。

SA・PA・IC・JCT・料金所の名称、自転車からの距離、高速レーン情報*1、SA・PAの施設がわかりやすく表示されます。

- : スクロール
- : 現在区間: 現在の区間に戻る
- : SA・PAのみを表示
- : SA・PA・料金所の詳細な情報を表示
- ルート情報の表示が「しない」に設定された状態で、ハイウェイモードの表示を「しない」に設定すると、ハイウェイマップは表示されません。(P.169)

SA・PAの施設情報が表示されます。



*1 CN-RZ866 CN-RZ766W のみ

地図の紹介

拡大図表示

- ルート案内中に自動的に表示されます。
- 地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合があります。

一般道路では



■ 交差点拡大図

交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向が表示されます。

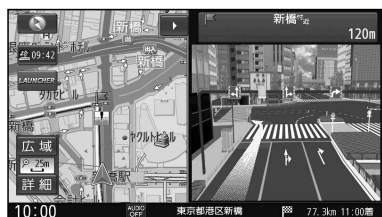
- 約300 m手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 表示する/しないの設定→P.169



■ 側道拡大図

側道のある分岐点で表示されます。

- 約300 m手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 交差点拡大図の表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.169)



■ リアル3D表示

複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向が表示されます。

- 約300 m手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 表示する/しないの設定→P.169



■ ハイウェイ入口案内

都市高速の入口付近で表示されます。

- 約300 m手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- リアル3D表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.169)

補助地図

- 地図スクロール(P.42)と向きの切り換えができます。(P.44)

高速道路では



■ ジャンクションビュー

高速道路や主要有料道路を走行中に、ジャンクションまでの距離、方面案内、分岐方向が表示されます。

- 約2 km手前から
- 直進でも表示される場合があります。
- 表示する/しないの設定→P.169



■ SA・PA入口案内

SA・PAが経由地または目的地に設定されている場合は、高速道路や主要有料道路を走行中に、SA・PAまでの距離と進入方向が表示されます。

- 約2 km手前から
- JCTビューの表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り替わります。(P.169)



■ ETCレーン案内

料金手前でレーン拡大図が表示されます。

- 約2 km手前から
- 表示する/しないの設定→P.169

※表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。必ず、実際の状況に従って運転してください。

拡大図を消去・再表示するには



■ 消去するには

補助地図 (P.32) から **▶** を選ぶ

- 拡大図が消去されます。

■ 再表示するには

現在地画面 (P.36) から **◀** を選ぶ

- 拡大図が表示されます。

地図の見かた

地図画面

方位マーク (地図の向きを表示)
タッチするごとに、地図の向きが切り換わる

- ノースアップ
(北が上/2D)
- ↓
- ヘディングアップ
(進行方向が上/2D)
- ↓
- 3D
(進行方向が上/3D)

GPS受信状態

現在地の測位の状態を方位マークの色で表示

- 黄色：測位完了
- 灰色：測位未完了(測位計算中)

VICS タイムスタンプ



VICSの情報が提供された時刻を表示(P.48)
ルート案内中にタッチすると、渋滞/規制の地点の地図に切り換わる

ユーザーカスタマイズ



本機の設定を2ユーザー分登録し、切り換える(P.21)

(地図画面の種類によっては、表示されない画面があります。)

縮尺表示

地図の縮尺が切り換わる(P.43)



広域 現在の縮尺を表示
詳細

吹き出し表示

交差点・高速出入口などを吹き出しで表示
●表示する/しないの設定→P.167

ハンズフリー状態

BLUETOOTH接続状態を表示(P.129)



自転車マーク

自転車位置と進行方向を表示
●種類と色を変更するには→P.41

事故多発地点

●表示する/しないの設定→P.40

冠水注意ポイント

●表示する/しないの設定→P.168

盗難多発地点

●表示する/しないの設定→P.172

ランドマーク



目印となる施設などを地図上にマークで表示(縮尺5m~200mで表示)

●表示させるランドマークを選ぶには→P.47

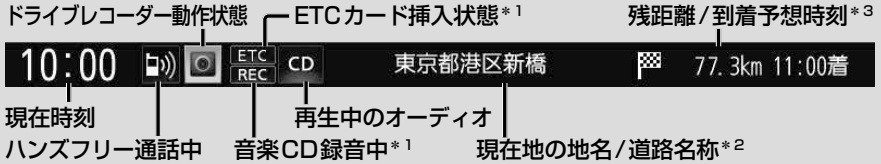
立体ランドマーク



全国の有名施設を地図上に立体ランドマークで表示(縮尺50m~100mで表示)

情報バー

● 情報バーに表示させる項目の設定→P.168



* 1 どちらか一方のみが有効な場合は、ETC または REC が表示されます。

* 2 地図モード画面 (P.36) では、カーソル付近の地名 / 道路名称が表示されます。
AUDIO 情報を表示「する」(P.168) に設定した場合は、オーディオの情報が表示されます。

VICS の緊急情報を受信した場合は、緊急情報タッチキーが表示されます。(P.78)

* 3 地図モード画面 (P.36) では、マップコードが表示されます。

凡例

表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容
	都道府県庁舎		ホテル・旅館・宿泊施設		交差点		展望タワー
	市役所・特別区庁舎		史跡・旧跡、観光名所		サービスエリア		動物園
	町村役場・政令指定 都市区役所庁舎		神社		パーキングエリア		植物園
	官公署・市町村役場 支所 (出張所)		寺院 (仏閣、地藏)		インターチェンジ		水族館
	消防署 (含む: 分署・ 支署、出張所)		教会		スマートIC (本線直結型)*1		ゴルフ場
	自衛隊		城跡		ジャンクション		温泉
	学校		美術館		料金所		スキー場
	病院		博物館		ランプ (出入口)		遊園地・テーマパーク
	警察署・交番・駐在所		郵便局		ランプ (出口専用)		キャンプ場
	図書館		バス停		運動施設		スタジアム
	海水浴場・ (湖水、池) 水泳場		飛行場・空港		サッカースタジアム		公園
	デパート・スーパー・ ショッピング施設		港		墓地		マリナー
	スーパーマーケット・ その他ショップ		フェリーターミナル		冬季通行止め		事故多発地点
			山頂		その他目標施設		冠水注意ポイント
			工場		ウインズ		盗難多発地点 (赤色、黄色、青色)
			一方通行記号				

* 1 SA・PA 接続型のスマートIC は表示されません。

- 地図データの整備上、すべての施設等を表示していません。
- 改善のため予告なく変更することがあります。

お知らせ

- 道路表示の色の意味は、以下のとおりです。
 - 青色：高速道路、有料道路
 - 赤色：国道
 - 緑色：主要地方道、県道
 - 灰色：一般道、細街路 (道幅 5.5 m 未満の道路)
 - 青色 (破線)：フェリー航路

地図の見かた

現在地画面

MAP を押すと、現在地画面が表示されます。

LAUNCHER



ランチャーメニューを表示 (P.38)
(地図画面の種類によっては、表示されない画面があります。)



交差点情報表示

交差点名称、レーン、踏切などの情報を表示

- 常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます。(P.169)

地図モード画面

現在地からスクロール (P.42) すると地図モード画面になります。

現在地の方向を赤い直線で表示



微調整

微調整 カーソルの位置を微調整 (P.42)

+

地図の中心にカーソルを表示

緯度・経度

- 表示する/しないの設定→P.168

設定

設定 地点メニューを表示 (P.47)

マップコード→P.205

- 表示する/しないの設定→P.168

施設名

カーソルの地点に施設名の情報がある場合に表示

ルート案内中の画面

案内ルート
目的地までの案内ルートを表示

通過交差点マーク
通過する交差点を表示

目的地マーク
目的地 (P.56) に設定した場所を表示

交差点情報表示
交差点の通るべき車線を黄色で表示
● 常時表示 / ルート案内中のみ表示 / 常時非表示を選べます。(P.169)

分岐交差点マーク
次に曲がる交差点を表示

経路地マーク
経路地 (P.56) に設定した場所を表示

出発地マーク
出発地を表示

目的地方向直線表示
現在地から目的地の方向を赤い直線で表示
経路地を設定している場合は、次の経路地の方向を表示
● 表示する / しないの設定ができます。(P.169)

3.0km 10:05着 残距離 / 到着時刻表示
目的地または経路地までの距離と、到着する予想時刻を表示
● 残距離 / 到着時刻を、目的地までにするか経路地までにするかを選べます。(P.168)

お知らせ
● 高速道路や有料道路は青色、一般道路は黄色またはピンク色で表示されます。

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。(P.67)

地図画面での割り込み表示



拡大図表示中の割り込み表示



ハイウェイマップでの割り込み表示



お知らせ

- 音声では案内されない情報もあります。
- 案内についての設定 → P.40

ランチャーメニューで操作する

現在地画面で**LAUNCHER**を選ぶと、ランチャーメニューが表示されます。



- ランチャーメニューによく使う機能を登録しておく、ランチャーメニューから直接その機能呼び出すことができます。
- ランチャーメニューの項目は、変更できます。(右記)

ランチャーメニューの項目を変更する

1 ランチャーメニューから

設定を選ぶ



2 LAUNCHERメニュー配置から

項目を変更したいタッチキーを選ぶ



- **TUNE** は変更できません。
- **解除** : 選んだ項目を解除
- **全解除** : すべての項目を解除

3 メニュー候補 (P.39) から

変更する項目を選ぶ



- 複数の項目を変更する場合は、手順**2**～**3**を繰り返してください。

お買い上げ時の設定に戻すには

初期化を選ぶ

■ ランチャーメニュー機能一覧

[太字: お買い上げ時の設定]

変更できる項目	
項目	機能
自宅	●未登録: 自宅を登録する (P.22) ●登録済: 自宅へ帰る (P.54)
お気に入り地点	●未登録: お気に入り地点を登録する (P.70) ●登録済: お気に入り地点を目的地にしてルート探索する (P.70)
登録地	登録地から行き先を探索する (P.54)
周辺施設	周辺施設検索をする (P.53)
地点を登録	現在地を登録地として登録する (P.69)
登録・履歴消去	登録地・目的地履歴・走行軌跡・登録ルートを削除する
右画面表示	右画面に表示する項目を設定する (P.45)
再探索	再探索を開始する (P.66)
案内スタート/ストップ	ルート案内を開始/中止する (P.51)
ルート編集	ルート編集画面を表示する (P.59)
ルートの全表示	全ルート図を表示する (P.57)
ナビ案内音量	ナビ案内音量を設定する (P.18)
渋滞地点	渋滞している地点を表示する
VICS文字情報	VICS文字情報を表示する (P.76)
VICS図形情報	VICS図形情報を表示する (P.76)
ETC2.0受信情報	ETC2.0受信情報を表示する (P.76)
ETC情報	ETC情報画面を表示する (P.153)
走行軌跡	走行軌跡の設定をする (P.46)
ランドマーク表示/消去	ランドマークを表示/消去する (P.47)
ランドマーク	ランドマークの設定画面を表示する (P.47)
道路切換	自車位置を別の道路に切り換える (P.66)
リダイヤル	リダイヤルする (P.135)
携帯電話登録一覧	ハンズフリーの携帯電話登録一覧を表示する (P.130)
ユーザー切換	ユーザー1/ユーザー2を切り換える (P.21)
消音	オーディオの音声をミュートする (P.18)
画面OFF	画面を一時的に消す (P.17)
音声認識*1	音声認識を起動する (P.140)
ドライブレコーダー動画録画	ナビ連動ドライブレコーダーで動画の録画を開始する/終了する (P.163)
ドライブレコーダー静止画撮影	ナビ連動ドライブレコーダーで静止画を撮影する (P.163)
スマホ連携アプリ選択*1	スマホ連携アプリを選択する (P.131)
変更できない項目	
項目	機能
TUNE	ストラダチューンを行う (P.40)

*1 (CN-RZ866) (CN-RZ766W) のみ

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする

1 ランチャーメニュー (P.38) から **TUNE** を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

ルート

ルートを選び、
ルート探索条件を設定する



- **有料道路優先***1 [低~中~高]
少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合い
- **道幅優先***2 [低~中~高]
できるだけ距離優先*3にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合い
- **渋滞回避** [低~中~高]
VICSの渋滞情報を考慮する度合い
- **ルート学習** [しない/する/アクティブ]
本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次回の探索に反映させる度合い*4
・**アクティブ**: より学習しやすくなります。
- **VICS考慮** [しない/する/ETC2.0広域]
VICS情報を考慮する/しない
・**ETC2.0広域**:
自車位置周辺の道路と前方の高速道路の情報を利用して探索します。*5
- **スマートIC考慮** [ON/OFF]
スマートICを考慮する(ON)/しない(OFF)
- **季節規制考慮** [ON/OFF]
季節規制区間を回避する(ON)/しない(OFF)

ガイダンス

ガイダンスを選び、
案内について設定する



- **分岐案内頻度** [低/中/高]
IC・JCT・交差点・踏切・料金所・目的地付近などでの案内の頻度

安心運転サポート情報 (P.67) の案内

- **標識拡大表示** [ON/OFF]



拡大する (ON)



拡大しない (OFF)

しない/ルート案内中のみする/常時する

- **一時停止案内***6 [しない/案内中/常時]
- **合流案内** [しない/案内中/常時]
- **踏切案内** [しない/案内中/常時]
- **制限速度案内***6 [しない/案内中/常時]

する (ON) / しない (OFF)

- **指定方向外禁止案内***6 [ON/OFF]
- **ライト点灯案内** [ON/OFF]
- **高速レーン減少案内***6 [ON/OFF]
- **カーブ案内** [ON/OFF]
- **事故多発地点案内** [ON/OFF]
- **有料道速度超過警告***6 [ON/OFF]
- **一般道速度超過警告***6 [ON/OFF]

(ストラーダチューン)

- * 1 探索条件が「有料優先」(P.62) のときは考慮されません。
- * 2 探索条件が「距離優先」(P.62) のときは考慮されません。
- * 3 狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。
- * 4 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。
- * 5 ETC2.0車載器接続時のみ
- * 6 CN-RZ866 CN-RZ766W のみ

マップ

マップを選び、
地図表示について設定する



- 地図色
昼画面・夜画面の地図の色

ノーマル



(通常の地図)

道路メイン



(道路が見やすい)

ポップ



(地域を色分け)

ハイコントラスト



(夕暮れや夜間など、
暗い車内でも見やすい
白基調の地図)

- 文字サイズ [小/標準]
地図の文字サイズ

- 自車マーク [赤矢印(大)]
自車マークの種類と色

VICS WIDE

VICS WIDEを選び、
VICS情報の表示について設定する



- 情報点滅 [ON/OFF]
VICS情報を点滅する(ON)/しない(OFF)
- 有料道 [ON/OFF]
有料道のVICS情報を表示する(ON)/しない(OFF)
- 一般道 [ON/OFF]
一般道のVICS情報を表示する(ON)/しない(OFF)

駐車場、規制情報、渋滞情報の表示

表示する(ON)/しない(OFF)

- 駐車場 [ON/OFF]
- 規制 [ON/OFF]
- 範囲 (範囲情報のある規制) [ON/OFF]
- 渋滞混雑 [ON/OFF]
- 渋滞なし (渋滞のない道路の情報) [ON/OFF]
- 統計情報 [ON/OFF]

地図の操作

地図を動かす(スクロール)

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。(タッチパネルの操作→P.14)

タッチでスクロールする

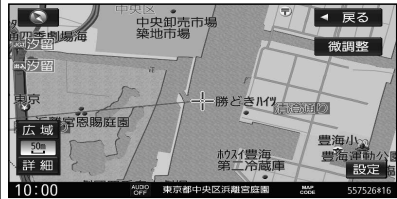
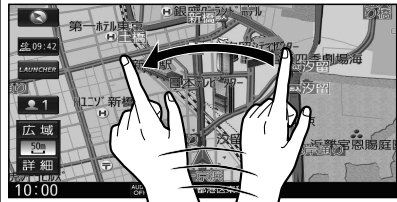
地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。
- タッチし続けると、タッチしている方向にスクロールし続けます。

フリックでスクロールする

スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

位置を微調整する

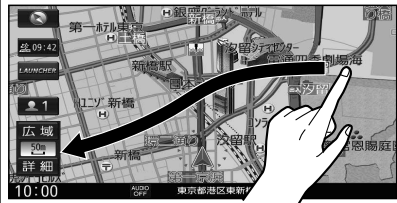
1 地図をスクロールさせ、**微調整**を選ぶ

2 位置を微調整し、**調整終了**を選ぶ



ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り換えても、現在地画面に戻ると、もとの設定に戻ります。
- 走行中はスクロールできません。市街地図(P.30)、3D地図(P.44)以外では、走行中もタッチ操作によるスクロールができます。(フリック/ドラッグでは操作できません。)
- スクロールさせた3Dの地図は、回転させることができます。(P.44)
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

縮尺を切り換える

タッチ、2点タッチ/ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り換えられます。
(タッチパネルの操作→P.14)

- 縮尺の範囲: 5 m~250 km

タッチキーで縮尺を切り換える

詳細 / 広域を選ぶ



- タッチし続けると、ズームアウト/ズームインのイメージで縮尺が切り換わります。
- 縮尺バーにタッチすると、タッチした縮尺に切り換わります。



2点タッチ/ダブルタップで縮尺を切り換える

● 広域に切り換えるには 2点タッチする

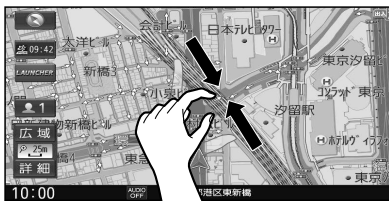


● 詳細に切り換えるには ダブルタップする



ピンチで縮尺を切り換える

● 広域に切り換えるには ピンチインする



● 詳細に切り換えるには ピンチアウトする



- 指の間をぴったりにつけずに、指1本分くらいの間隔をあけてください。

お知らせ

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り換えることはできません。

地図の操作

向きを切り換える (ノースアップ/ヘディングアップ/3D)

方位マークにタッチすると、地図の向きを切り換えられます。

方位マーク (P.34) にタッチする

- タッチすることにより、地図の向きが切り換わります。

ノースアップ (北が上/2D)



ヘディングアップ (進行方向が上/2D)



3D (進行方向が上/3D)



お知らせ

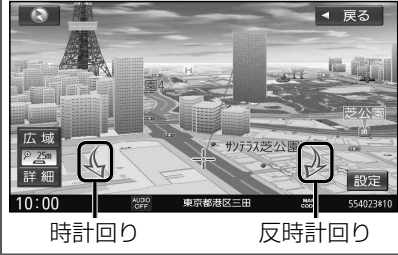
- 3Dの地図の傾きを調整できます。(右記)

3Dの地図を操作する

地図を回転させる

3Dの地図をスクロールさせると、回転させることができます。

をタッチする



お知らせ

- 3Dの地図を回転させた状態でヘディングアップに切り換えると、3Dの地図の奥行方向が上向きの2D地図に切り換わります。

傾きを調整する

メイン画面(1画面・左画面)、右画面(P.45)で、異なる傾きを設定できます。(10段階)

1 ナビ設定メニュー (P.17) から 表示 を選ぶ

2 ■ メイン画面の傾きを調整する メイン画面用地図設定の 3D視角調整の をタッチする



■ 右画面の傾きを調整する 右画面用地図設定の 3D視角調整の をタッチする



右画面を表示する(2画面)

- 1 現在地画面 (P.36) で
LAUNCHERを選ぶ
- 2 ランチャーメニューから
右画面表示を選ぶ
- 3 右画面表示設定画面から
右画面に表示させる画面を選ぶ



- **地図** : 地図を表示



・右画面は縮尺と向きを切り換えられます。

- **ルート情報** : ルート情報を表示 (P.31)
- **デュアルウィンドウ** : オーディオを表示 (P.125)
- **ハイウェイモード** : ハイウェイマップを表示 (P.31)

1画面に戻すには

右画面表示設定画面(上記)から
OFF ▶ **OK**を選ぶ

- 1画面の地図に戻ります。

お知らせ

- ナビ設定から右画面を表示させることもできます。
 - ・右画面に地図表示→P.167
 - ・ルート情報の表示→P.169
 - ・デュアルウィンドウを表示→P.168
 - ・ハイウェイマップを表示→P.169

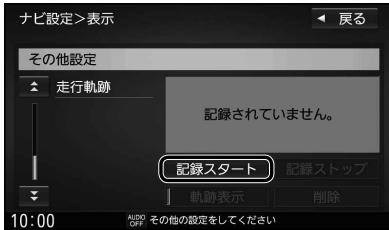
地図の操作

走行軌跡を表示する

走行軌跡の記録を開始するには

- 1 ナビ設定画面 (P.17) から
表示を選ぶ

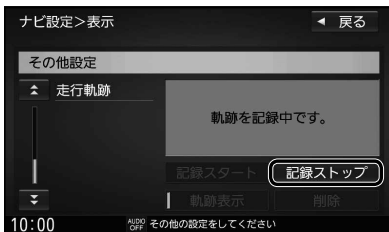
- 2 その他設定画面から
走行軌跡の**記録スタート**を選ぶ



- 走行軌跡の記録を開始します。
- 走行軌跡が表示されます。

走行軌跡の記録を停止するには

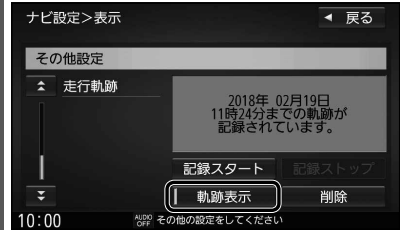
その他設定画面 (上記) から走行軌跡の**記録ストップ**を選ぶ



- 走行軌跡の記録を停止します。

走行軌跡の表示/非表示を切り換える

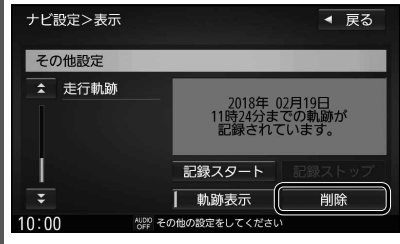
走行軌跡の記録が停止した状態で、
その他設定画面 (左記) から走行軌跡の
軌跡表示を選ぶ



- 選ぶごとに表示/非表示が切り換わります。

走行軌跡の記録を削除するには

- 1 走行軌跡の記録が停止した状態で、
その他設定画面 (左記) から走行軌跡の
削除を選ぶ



- 2 **はい**を選ぶ

 - 走行軌跡の記録が削除されます。

お知らせ

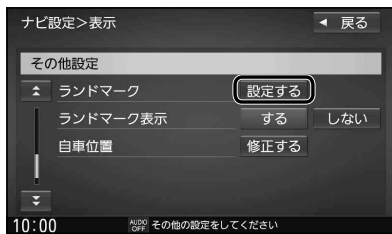
- 走行軌跡が記録されていないときは、**軌跡表示**を選ばません。そのときは、走行軌跡の記録を開始してください。
- 走行軌跡は500 kmまで記録できます (約200 mおき)。500 kmを超えると、古いものから削除されます。
- 走行軌跡を非表示にしても、走行軌跡の記録は残ります。走行軌跡の記録を削除するには、その他設定画面から走行軌跡の**削除**を選んでください。
- 走行軌跡の記録中は非表示にしたり、記録を削除できません。非表示にしたり削除する際には、走行軌跡の記録を停止してください。

表示するランドマークを選ぶ

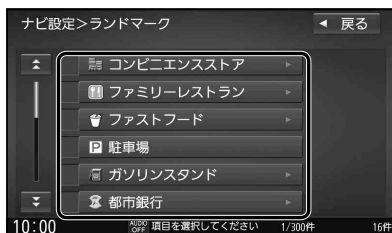
最大300件選択できます。

1 ナビ設定メニュー(P.17)から 表示を選ぶ

2 その他設定画面から ランドマークの「設定する」を選ぶ



3 表示したいランドマークを選ぶ



- リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- **全解除**: 選択をすべて解除
- **全選択**: すべての項目を選択

ランドマークを表示する

その他設定画面(上記)から ランドマーク表示「する」を選ぶ

- ランドマークが表示されます。
【お買い上げ時の設定: する】

ランドマークを消去するには

その他設定画面(上記)から ランドマーク表示「しない」を選ぶ

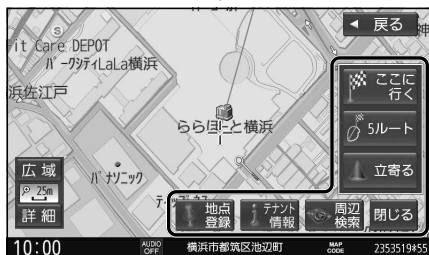
- ランドマークが消去されます。

地点メニューから操作する

地点メニューから、目的地・経由地・出発地・登録地などを設定したり、施設の詳細情報を見ることができます。

地図モード画面(P.36)から 設定を選ぶ

- 地点メニューが表示されます。



- **ここに行く**
カーソルの地点を目的地に設定して、ルート探索を開始する
- **5ルート**
カーソルの地点を目的地に設定して、異なる条件で5ルートを探る
- **立寄る**(ルート案内中のみ)
カーソルの位置を経由地に設定して、ルート探索を開始する
- **地点登録**
カーソルの地点を登録地として登録する
- **地点編集**
(カーソルの地点が登録地の場合のみ)
登録地詳細画面を表示する
- **施設詳細**
施設の詳細情報が表示される
(情報がある場合のみ)
- **テナント情報**
施設のテナント情報が表示される
(市街地図でテナント情報のある地点にカーソルを合わせて地点メニューを表示させた場合のみ)
- **周辺検索**
カーソルの周辺の施設を検索する
周辺検索のしかた→P.53
- **閉じる**
地図モード画面を表示する

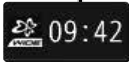
お知らせ

- 表示されるタッチキーは、状況によって異なります。

地図の操作

地図上に表示されるVICS情報(レベル3)

VICS タイムスタンプ



情報が提供された時刻を表示

- 受信した時刻ではありません。
- ルート案内中にVICS タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点の地図を表示します。

お知らせ

- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。

ハイウェイマップ/ルート情報表示中は

●規制情報:

区間ごとにマークを表示(2件まで)



- 渋滞・混雑区間:
道路を色分けして表示

車線ごとの渋滞情報表示

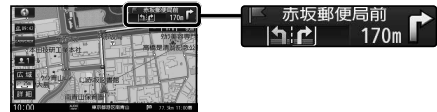
車線ごとの渋滞情報が、色分けして本数で地図上に表示されます。

(該当の情報が配信されているエリアのみ)

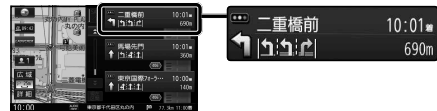
配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	 (三本線)	渋滞
橙	 (二本線)	混雑
緑	 (一本線)	渋滞なし

●市街地図/広域地図表示中は



●ルート情報表示中は



気象・災害情報表示

気象(1時間あたり50 mm以上の大雨など)の情報を受信すると、地図にVICS タイムスタンプが表示され、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。



お知らせ

- 表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。

渋滞情報

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	従来の渋滞情報	リアルプローブ情報		
赤				渋滞
橙			=====	混雑
緑				渋滞なし

- 表示のしかたを設定できます。(P.41)
- 従来の渋滞情報(リアルタイム情報)
道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報
- リアルプローブ情報(リアルタイム情報)
タクシーなどから収集した現在の情報
- 統計プローブ情報(統計情報)
タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

※プローブ情報とは
走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

駐車場マーク・SA/PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青				空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤				閉鎖

- 表示する/しないを設定できます。(P.41)

VICS情報マーク(例)

道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
	事故		チェーン規制
	故障車		凍結
	路上障害		速度規制
	工事		徐行
	作業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒情報
	火災		特別警報

- マークの内容を確認できます。(P.77)
- 表示する/しないを設定できます。(P.41)

行き先までのルートを作るには

1 行き先を探す

ツートップメニュー

目的地メニュー

● 名 称	P.52
● 電話番号	P.52
● 周辺施設	P.53
● 住 所	P.53
● 登 録 地	P.54
● 自 宅	P.54

● ジャンル	P.54
● 履 歴	P.52
● マップコード	P.55
● 緯度・経度	P.55
● 郵便番号	P.55

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。

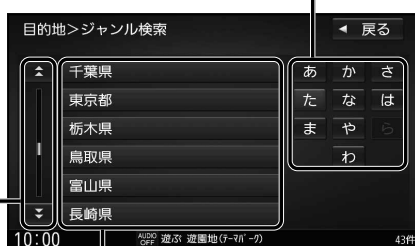
あかさたなタッチキー

50音順に並んだリストで表示されます。

- [あ][か][さ][た][な][は][ま][や][ら][わ] の行ごとにリストを切り換えます。
- 同じタッチキーを連続して選ぶと、選ぶごとに、段(あ→い→う→え→お)が切り換わります。

スクロールタッチキー

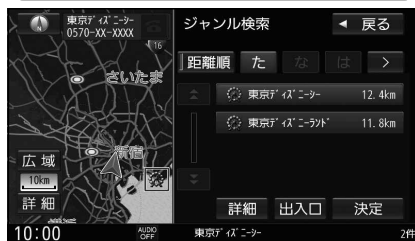
- リストをスクロールします。
- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(枠内でフリック/ドラッグしてください。)



リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- **距離順**：現在地から近い順に並び換え
- **50音順**：50音順に並び換え
- **絞り込み**：地域・ジャンルで絞り込み
- **詳細**：施設の詳細情報を表示
- **☎**：施設に電話をかける
- **出入口**：施設の出入口の情報がある場合、出入口を表示

検索結果画面



- 検索した施設に提携駐車場や複数の出入口の情報がある場合はメッセージが表示されます。**はい**を選ぶと出入口のリストが表示されます。(P.55)

2 行き先に設定する

地点メニューから**ここに行く**を選ぶ

- ルート探索を開始します。
- 地点メニューの操作→P.47



ルート探索が完了し、全ルート図が表示されたら、**案内スタート**を選ぶ

- 案内を開始します。
- 全ルート図→P.57～58
- 車を発進させても案内を開始します。
- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます(P.169)。ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。



ナビゲーション
行き先までのルートを作るには

ルート案内を中止する

1 ツートップメニュー(P.24)から
ルートを選ぶ

2 ルートメニューから**案内ストップ**を選ぶ



ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。

- ルートそのものは削除されません。

ルート案内を再開するには

ルートメニューから**案内スタート**を選ぶ



ルート案内が再開されます。

ルートを削除する

1 ルートメニュー(上記)から
ルート削除を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

ルートそのものが削除されます。

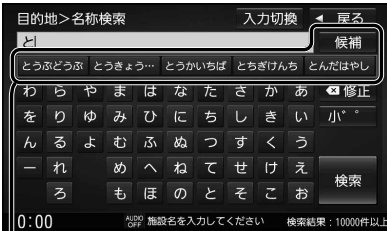
行き先を探す

施設の名称で探す

1 目的地メニュー (P.25) から
名称を選ぶ

2 名称を入力し、**検索**を選ぶ

- **修正**: 1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 文字入力のしかた→P.191
- 候補が10,000件を超える場合、現在地から近い順に10,000件まで表示されます。
並び換えや絞り込みは、表示された10,000件を対象に行います。



- 入力した履歴から、候補が5件まで表示されます。表示された候補から選ぶか、**候補**を選んでリストから候補を選ぶと、その名称が入力欄に表示されます。

3 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- **戻る**: 入力した名称を修正

施設を絞り込む

■ 地域で絞り込むには

1 **絞り込み** ▶ **地域**を選ぶ

2 都道府県 ▶ 市区町村を選ぶ

- **全国**: 地域絞り込みを解除

■ ジャンルで絞り込むには

1 **絞り込み** ▶ **ジャンル**を選ぶ

2 絞り込むジャンルを選ぶ

- **全ジャンル**: ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.56)

電話番号で探す

1 目的地メニュー (P.25) から
電話番号を選ぶ

2 電話番号を市外局番から入力し、**検索**を選ぶ

- **修正**: 1文字削除
- 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。
- 市内局番までしかわからない場合は、市内局番までを入力して **検索** を選びます。
- 11桁の電話番号の場合は、10桁まで入力すると、該当する電話番号のリストが表示されます。(10件まで) リストから施設を選んでください。

3 (個人宅の電話番号を検索したときのみ)
名字を入力し、**検索**を選ぶ

- **修正**: 1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 文字入力のしかた→P.191

地図が表示されます。(P.56)

目的地・経由地の履歴から探す

1 目的地メニュー (P.25) から
履歴を選ぶ

- 以前、目的地・経由地に設定した場所のリストが新しい順に100件まで表示されます。

2 リストから履歴を選び、**決定**を選ぶ

- **削除**: 選んだ履歴を削除
- **全削除**: すべての履歴を削除

地図が表示されます。(P.56)

お知らせ

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に削除されます。

周辺の施設から探す

現在地、目的地周辺や、ルート沿いの施設を検索できます。(最大100件)

●ジャンル一覧→P.212

1 目的地メニュー(P.25)から 周辺施設を選ぶ

2 検索方法を選ぶ

- **地図周辺** : 地図の中心周辺の施設
- **ルート沿い** : ルート沿いの施設*1*2
- **目的地周辺** : 目的地周辺の施設*2

*1 現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 km以内を検索

*2 ルート案内中のみ

3 ジャンルを選ぶ

リストから選ぶ

リストから
ジャンル▶中分類▶小分類を選び、
検索を選ぶ

- 中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。選んだ項目には、チェックマーク(✓)が付きます。
- リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- 全選択** : すべての項目を選択する
- 全解除** : すべての項目を解除する

ジャンル名を入力して選ぶ

1 ジャンル名入力を選ぶ

2 ジャンル名を入力し、**検索**を選ぶ

- 修正** : 1文字削除
- 文字入力のしかた→P.191

3 リストから項目を選ぶ

4 リストから施設を選び、 **決定**を選ぶ

地図が表示されます。(P.56)

住所で探す

リストから検索する

1 目的地メニュー(P.25)から **住所**を選ぶ

2 都道府県▶市区町村▶町名▶丁目を選ぶ

- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしかわからないときは、**代表地点**を選ぶと、その地域の地図を表示します。

3 数字キーで番地・号を入力し、 **検索**を選ぶ

- 番地・号は、「-」で区切ってください。
- 修正** : 1文字削除
- リストから番地・号を選ぶこともできます。

地図が表示されます。(P.56)

住所を入力して検索する

住所の一部を入力しても検索できます。

1 目的地メニュー(P.25)から **住所**を選ぶ

2 **地名部分入力**を選ぶ

3 地名を入力し、**検索**を選ぶ

- 修正** : 1文字削除
- 文字入力のしかた→P.191

4 リストから地名を選ぶ

5 以下の住所を選び、**検索**を選ぶ

地図が表示されます。(P.56)

行き先を探す

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。
(最大100件)

●ジャンル一覧→P.212

1 目的地メニュー (P.25) から
ジャンル を選ぶ

2 ジャンルを選ぶ

リストから選ぶ

リストから

ジャンル▶中分類▶小分類を選ぶ

●リストに▶が表示された項目は、
さらに詳細に選ぶことができます。

ジャンル名を入力して選ぶ

1 **ジャンル名入力** を選ぶ

2 ジャンル名を入力し、**検索** を選ぶ
●修正：1文字削除

3 リストから項目を選ぶ

●リストに▶が表示された項目は、
さらに詳細に選ぶことができます。

3 検索する範囲の中心となる地点を
選ぶ

- **地図周辺**：地図の中心周辺の施設
- **目的地周辺**：目的地周辺の施設*1
- **ルート周辺**：ルート周辺の施設*1*2
- **都道府県**：選んだ都道府県の施設
- **地域/路線**：選んだ地域/路線の施設*3

*1 ルート案内中のみ

*2 現在地からルート沿いに左右約100m、
進行方向に約10km以内を検索

*3 **交通機関**▶高速・都市高速・有料道路施設
▶IC/SA/PA 選択時のみ

4 リストから施設を選び、
決定 を選ぶ

地図が表示されます。(P.56)

登録地から探す

準備

●地点を登録してください。(P.69)

1 目的地メニュー (P.25) から
登録地 を選ぶ

2 リストから登録地を選び、
決定 を選ぶ

- **登録順**：登録された順で表示
- **マーク順**：マーク (P.72) 順で表示

フォルダのリストから選ぶ

1 **フォルダ** を選ぶ

●フォルダ→P.69

2 **メインフォルダ**、
フォルダ01～フォルダ20 を選ぶ

- 選んだフォルダの登録地のリスト
が表示されます。
- フォルダ名は変更できます。(P.69)
- 全表示**：すべてのフォルダの
登録地のリストを表示

3 リストから登録地を選び、
決定 を選ぶ

地図が表示されます。(P.56)

自宅へ帰る

目的地メニュー (P.25) から
自宅 を選ぶ

現在地から自宅までのルートが探索され、
全ルート図が表示されます。(P.57)

お知らせ

●自宅を登録していない場合は、自宅を
登録する画面が表示されますので、**はい** を
選んで登録してください。(P.22)

マップコードで探す

マップコードとは→P.205

- 1 目的地メニュー (P.25) から
マップコードを選ぶ

- 2 マップコードを入力し、**検索**を選ぶ
 - **修正**: 1文字削除

地図が表示されます。(P.56)

お知らせ

- 本機は高分解能マップコードにも対応しています。(マップコードHR)

緯度経度で探す

- 1 目的地メニュー (P.25) から
緯度・経度を選ぶ

- 2 緯度経度を入力し、**検索**を選ぶ
 - **修正**: 1文字削除

地図が表示されます。(P.56)

お知らせ

- 本機は日本測地系の緯度・経度に対応しています。

郵便番号で探す

- 1 目的地メニュー (P.25) から
郵便番号を選ぶ

- 2 郵便番号を入力し、**検索**を選ぶ
 - **修正**: 1文字削除

地図が表示されます。(P.56)

お知らせ

- 4桁以上入力してください。
- 入力の途中で **検索** を選ぶと、該当する郵便番号のリストが表示されます。リストから郵便番号を選ぶと、周辺の地図が表示されます。

施設の出入口・提携駐車場を探す

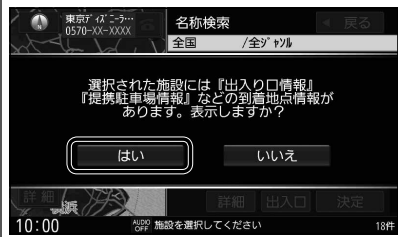
検索した施設に出入口の情報が1つある場合は、自動的に出入口へのルートを探します。

検索した施設に提携駐車場や複数の出入口の情報があある場合は、メッセージが表示されます。下記の手順で出入口・提携駐車場などを選択してください。

- 1 施設を検索する

- 検索のしかた→P.52～55

- 2 メッセージが表示されたら、**はい**を選ぶ



- 3 リストから出入口・提携駐車場などを
選び、**決定**を選ぶ



地図が表示されます。(P.56)

お知らせ

- 検索結果画面から **出入口** を選んでも、出入口のリストが表示されます。

ルートを探索する

目的地に設定する

1 地点を検索する

- 検索のしかた→P.52～55

2 地点メニューから 「ここに行く」を選ぶ



- カーソルの地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。
- 検索した施設に出入口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路、盗難多発地点がある場合は、メッセージで案内されます。

3 案内スタートを選ぶ



- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、約1分間何も操作しないと、ルート案内を開始します。
- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます(P.169)。ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。

お知らせ

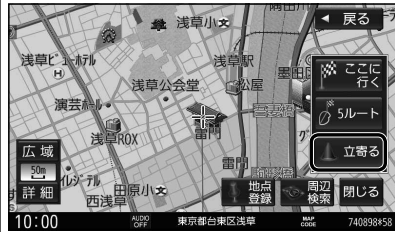
- ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。

経由地に設定する

1 地点を検索する

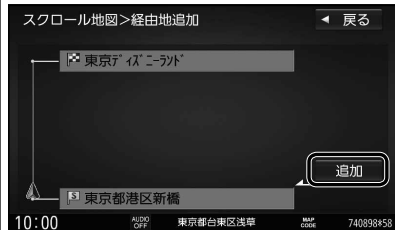
- 検索のしかた→P.52～55

2 地点メニューから 「立寄る」を選ぶ



- カーソルの地点を次の経由地に設定し、ルート探索を開始します。
- 検索した施設に出入口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路がある場合は、メッセージで案内されます。

3 経由地を追加する区間の、「追加」を選ぶ



- ルート探索を開始します。

4 案内スタートを選ぶ



- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 経由地の順番を入れ換えるには→P.60

全ルート図から設定・確認する

ルート探索が完了すると、全ルート図が表示されます。

- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます(P.169)。ルートの全表示「しない」に設定した場合は、手動で全ルート図を表示させてください。(下記)

全ルート図



- 別ルート 右記
- 詳細情報 P.58
- シミュレーション P.58

手動で全ルート図を表示させる

1 ツートップメニュー(P.24)から
ルートを選ぶ

2 ルートメニューから
ルートの全表示を選ぶ



- 全ルート図が表示されます。

5つの条件のルートから選ぶ

1 全ルート図(左記)から**別ルート**を選ぶ

- 5つのルートが表示されます。
- 同じルートが表示される場合があります。
- 経由地(P.56)を設定したときは、別ルート探索できません。
- ルート編集画面(P.59)から**複数探索**を選んで、別ルート探索できます。

2 ルートを選ぶ

- **おまかせ**: 高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート
- **有料優先**: 高速道路・有料道路を優先して通るルート
- **一般優先**: 一般道路を優先して通るルート
- **eco**: 燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルート
- **距離優先**: 距離が短くなるルート



ルートごとの走行距離、料金、所要時間などを比較できます。

3 案内スタートを選ぶ

- ルート案内を開始します。

お知らせ

- ルートメニュー(左記)から**ルートの全表示**を選んで表示させた全ルート図からは、別ルート探索できません。

全ルート図から設定・確認する

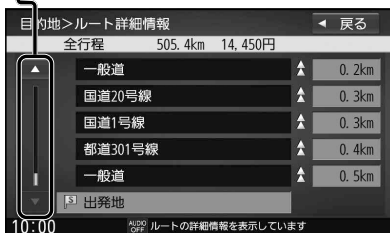
ルートの詳細情報を見る

1 全ルート図 (P.57) から **詳細情報** を選ぶ

- 通過する道路名とその距離が表示されます。

2 ルート詳細情報を確認する

- ▲: 目的地方向に進む
- ▼: 出発地方向に戻る



ルート案内を開始するには

MAP を押す

ルートをシミュレーションする

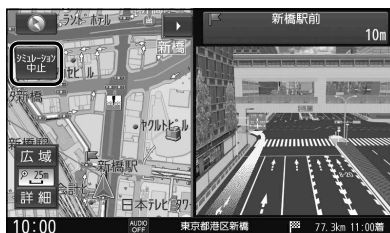
全ルート図 (P.57) から **シミュレーション** を選ぶ

- シミュレーションを開始します。



シミュレーションを終了するには

シミュレーション中に **シミュレーション中止** を選ぶ



- シミュレーションを終了します。
- **MENU** を押してもシミュレーションを中止します。

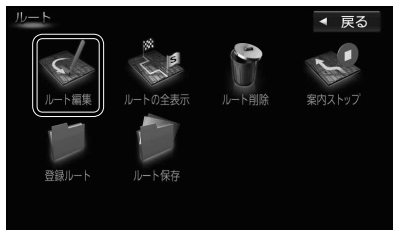
お知らせ

- 長距離のシミュレーションには時間がかかります。

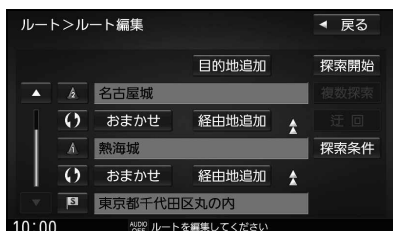
ルートを編集する

- 1 ツートップメニュー(P.24)から
ルートを選ぶ

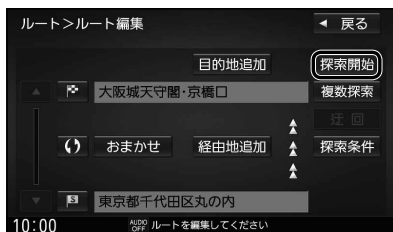
- 2 ルートメニューから
ルート編集を選ぶ



- 3 ルート編集画面から
ルートを編集する→P.59～60



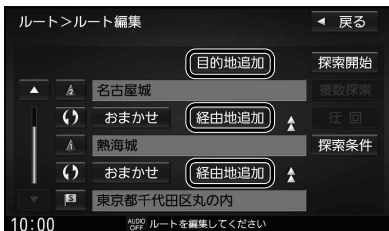
- 4 **探索開始**を選ぶ



- ルート探索を開始し、完了すると全ルート図が表示されます。
- **複数探索**を選ぶと、別ルート探索をします。(P.57)
- **探索条件**を選ぶと、ナビ設定の探索条件を設定できます。(P.170)

経路地・目的地を追加する

- 1 ルート編集画面(左記)から
経路地・目的地を追加したい場所の
経路地追加/**目的地追加**を選ぶ

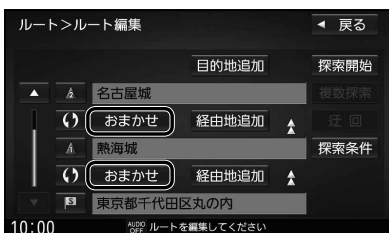


- 2 経路地・目的地にしたい場所を
検索する(P.52～55)

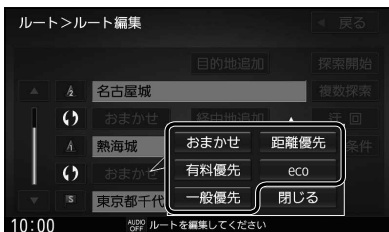
- 検索した地点が、経路地・目的地として追加されます。

区間ごとの探索条件を変更する

- 1 ルート編集画面(左記)から
変更したい探索条件を選ぶ



- 2 探索条件を設定する(P.62)

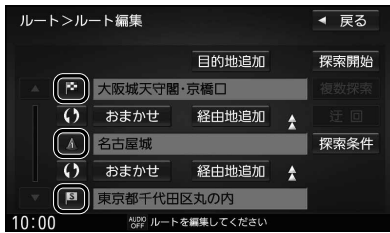


- 探索条件が変更されます。

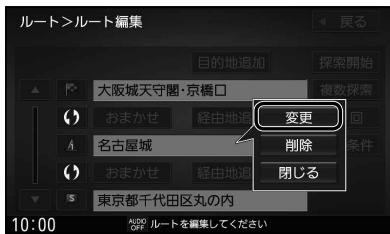
ルートを編集する

出発地・経由地・目的地を変更する

- 1 ルート編集画面 (P.59) から変更したい出発地・経由地・目的地を選ぶ



- 2 変更を選ぶ

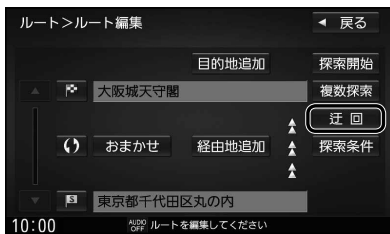


- 3 変更したい場所を検索する (P.52~55)

- 出発地・経由地・目的地の場所が変更されます。

迂回するルートに設定する

- 1 ルート編集画面 (P.59) から迂回を選ぶ



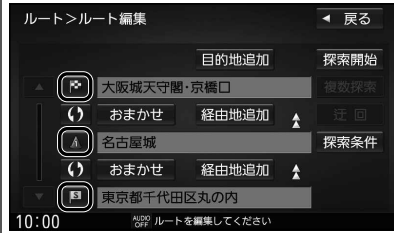
- 2 迂回する距離を選ぶ

- 設定範囲 : 1 km / 2 km / 5 km / 10 km
- 設定された距離を迂回するルートを探します。
- 次の経由地または目的地までの距離が設定した距離より短い場合、設定した距離にかかわらず、次の経由地または目的地までを迂回するルートを探します。

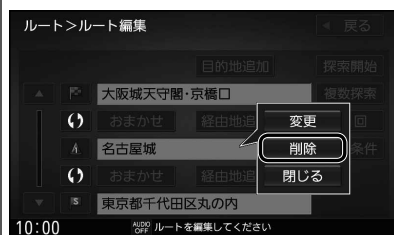
出発地・経由地・目的地を削除する

- 1 ルート編集画面 (P.59) から削除したい出発地・経由地・目的地を選ぶ

- 経由地が設定されている場合は、出発地と目的地が削除できます。




- 2 削除を選ぶ

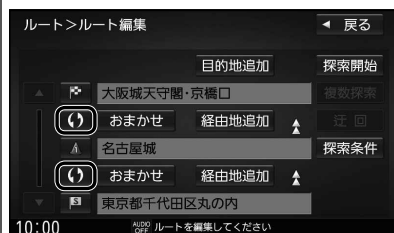


- 3 はいを選ぶ

- 出発地・経由地・目的地が削除されます。

経由地・目的地を並べ換える

- 1 ルート編集画面 (P.59) から並べ換えたい区間の「」を選ぶ



- 選んだ区間で順番が入れ替わります。

ルートを保存する

ルートを保存する

探索したルートを登録しておいて、必要に応じて呼び出せます。(20ルートまで)

1 ツートップメニュー(P.24)から
ルートを選ぶ

2 ルートメニューから
ルート保存を選ぶ



- 現在のルートが保存されます。

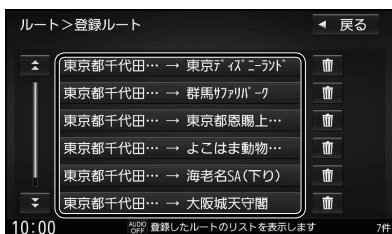
お知らせ

- すでに20ルート登録されている場合は、ルートを保存できません。不要なルートを削除してください。

保存したルートを呼び出す

1 ルートメニュー(上記)から
登録ルートを選ぶ

2 登録ルートのリストから
呼び出したいルートを選ぶ



- 選択したルートが呼び出されます。

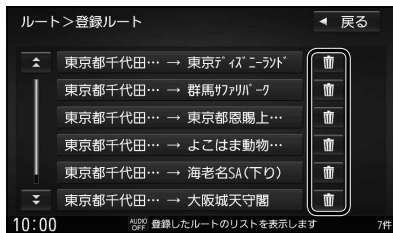
3 (すでにルートがある場合)
はいを選ぶ

- 前のルートが削除され、選択したルートが呼び出されます。

保存したルートを削除する

1 ルートメニュー(左記)から
登録ルートを選ぶ

2 登録ルートのリストから
削除したいルートの**🗑️**を選ぶ



3 **はい**を選ぶ

- 選んだルートが削除されます。

ルート探索について

探索条件について



おまかせ：高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート
(通常はおまかせで探索します。)

有料優先：高速道路・有料道路を優先して通るルート

一般優先：一般道路を優先して通るルート

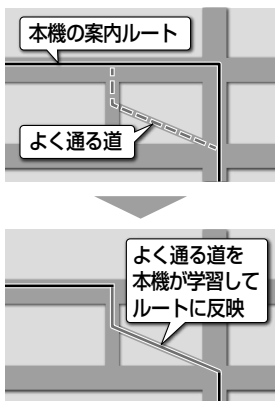
eco：燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート

距離優先：距離が短くなるルート

お知らせ

- 一般優先で探索しても、有料道路を含むルートを探査する場合があります。
- 探索条件を変更するには→P.59、66
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。

ルート学習について

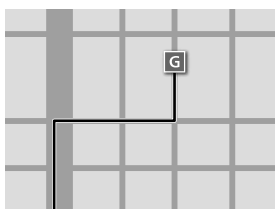


本機は、普段使用している道を学習し、ルート探索に活用します。
● 学習した道をすべて消去するには、「ルート学習結果の初期化」を行ってください。(P.173)

■ 普段使用する道の周辺で意図しないルートが探索されるときは他の効率の良い道よりも、本機が学習した道を優先してルート探索されている場合があります。そのときは、通りたい道を何度か通ると、本機がその道を学習し、優先的に通るルートを探査するようになります。

- 「ルート学習結果の初期化」(P.173)を行っても、学習した道が消去されるため、効率の良い道を優先して通るルートを探査します。

細街路探索について

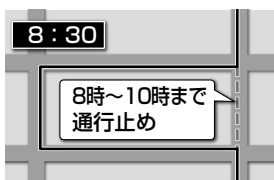


出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探査します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探査する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。

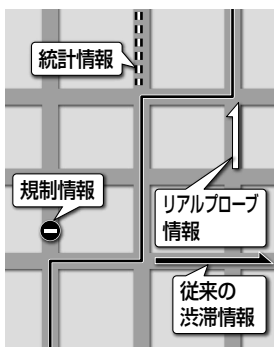
曜日時間規制探索について



月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探します。
規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 時間規制道路を考慮する/しないの設定→P.170

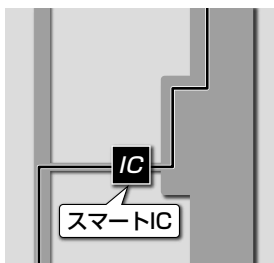
VICS考慮について



FM-VICSの渋滞/規制情報をもとに、渋滞/規制を避けたルートを探します。

- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制の場所を避けたルートを探します。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞/規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。(VICS考慮→P.40)

スマートICを通るルートについて



スマートICの利用を考慮したルートを探します。その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、通行できる車種の情報は考慮されません。また、ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートICを通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートICの状況に従って通行してください。

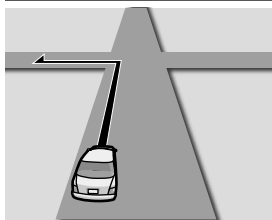
- スマートIC考慮する/しないの設定ができます。(スマートIC考慮→P.40)

お願い

- スマートICは、ETC専用のインターチェンジです。ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両の場合は、スマートIC考慮を「しない」に設定してください。

ルート案内について

一般道路走行中の音声案内



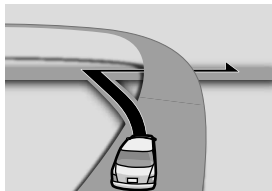
■ 交差点に近づく

およそ**300 m**先、**大手町**を**左方向**です。

- 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。

まもなく**大手町**を**左方向**です。

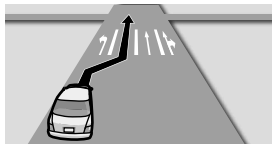
左方向です。



■ 側道では

まもなく、**左方向**、**側道**です。

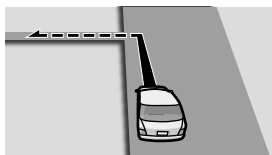
左方向です。



■ レーンのある道路では

およそ**300 m**先、**左折専用車線**に注意してください。

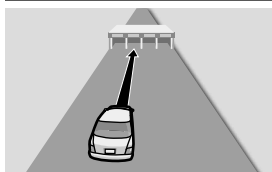
- 専用レーン案内の設定 → P.170



■ 狭い道に入るときは

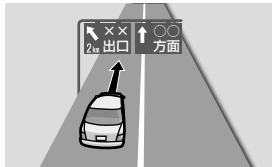
左方向です。
この先、実際の交通規制に従って走行してください。

高速道路・有料道路走行中の音声案内



■ 料金所付近では

まもなく、**料金所**です。

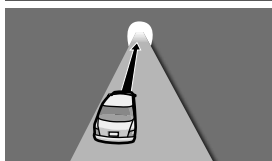


■ 分岐地点に近づく

およそ**2 km**先、**左方向**、**外苑出口**です。

まもなく、**左方向**、**外苑出口**です。

トンネルに入ると



およそ**600 m**先、**トンネル出口**です。

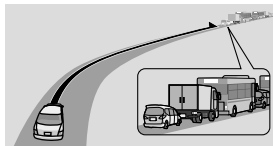
- トンネル出口案内の設定 → P.170

- ルートの有無にかかわらず、音声でトンネル出口案内されます。
- 距離の短いトンネルでは案内されない場合があります。
- 別の案内がある場合、案内されない場合があります。

音声案内の「太字の下線」部は、走行するルートによって案内が異なります。

前方が渋滞していたら (VICS案内)

ルート上の渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。(前方約10 km以内)

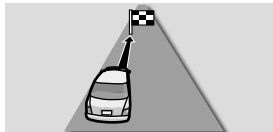


およそ、**3 km**先、渋滞しています。

● VICS案内の設定→P.170

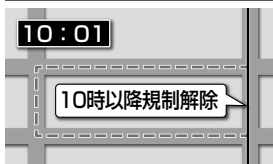
● ルートが設定されていないときは音声によるVICS案内を行わず、VICS表示のみ行います。(VICS情報の表示設定→P.41)

経由地・目的地の音声案内



目的地に到着しました。
ルートガイドを終了します。

ルート案内中の曜日時間規制探索



10:01

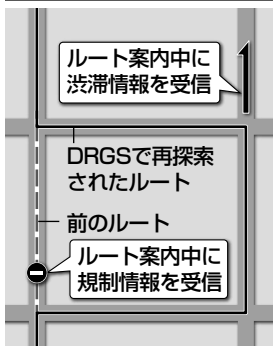
10時以降規制解除

ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

● 時間規制道路を考慮する/しないの設定→P.170

ルート案内中のVICS自動再探索(スイテルート案内)



ルート案内中に
渋滞情報を受信

DRGSで再探索
されたルート

前のルート

ルート案内中に
規制情報を受信

FM-VICSの渋滞/規制情報(P.49)を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更します。(DRGS*1)

● ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探索します。

● 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。

● 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。(VICS考慮→P.40)

● VICS自動再探索の設定→P.170

* 1 DRGS: ダイナミックルートガイダンスシステム

新しいルートと前のルートと比較する(新旧ルート比較)



● 新旧ルート比較をしない場合があります。

● 変更前のルートを通行できないとき(通行止め、規制など)

● 現在地から約30 km以上離れた場所のルートが変更されたとき

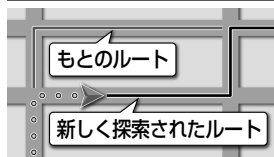
● 新旧ルート比較画面を表示する/しないの設定→P.170

曜日時間規制探索やDRGSで新しいルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行できる場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。(新旧ルート比較)表示が消えるまで何も操作しないと、変更後のルートで案内を開始します。

表示中に「旧ルートに戻す」を選ぶと、変更前のルートで案内します。

ルート案内について

ルートから外れたときの自動再探索



ルートを外れても、自動的に再探索します。

- 自動再探索する/しないの設定 → P.170

休憩メッセージ案内

長時間の運転中、音声で休憩を促します。

例：長時間運転している場合、

そろそろ休憩しませんか。

- 休憩メッセージ案内の設定
→ P.170

次の交差点などの音声案内を聞く

ルート案内中に、**MAP**を押す

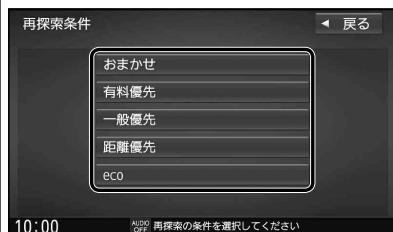
- 次の分岐交差点などが案内されます。

もう一度ルートを探索する

1 ランチャーメニュー (P.38) から **再探索** を選ぶ

- 経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。

2 再探索条件を選ぶ



- 選んだ条件で再探索します。

走行中の道路を誤って認識したとき (道路切換)

高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を誤認することがあります。

(例えば、自車が高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など) このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、正しい位置に修正します。

- ランチャーメニューに **道路切換** が表示されるように設定してください。(P.38)

ランチャーメニュー (P.38) から **道路切換** を選ぶ

- そのまましばらく走行すると、自車位置の道路 (高速道路/一般道路) を切り換えて再探索されます。
- 道路切換は、隣接する並行な道路を対象としています。
- 一般道路同士の切り換えはできません。

安心運転サポート情報

- 音声案内の「太字の下線」部は、走行するルートによって案内が異なります。
- 「★」印の情報は、**CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ案内されます。

状況	表示(設定→P.40)		音声
一般道で一時的停止が必要な地点に近づくとき* ¹ ★(一時停止案内)			一時停止です。
高速道路で注意の必要な合流地点に近づくとき* ² (合流案内)			この先、 左から の合流車両に注意してください。
踏切付近では* ³ (踏切案内)			まもなく、踏切です。
制限速度が変わるとき* ¹ ★(制限速度案内)			なし
一般道の指定方向外進行禁止の交差点では* ¹ * ⁴ * ⁵ ★(指定方向外禁止案内)			なし
ライト点灯が必要になると* ⁶ (ライト点灯案内)			ライトの点灯を確認してください。
レーンのある高速道路では★(高速レーン減少案内)			この先、 左車線 が減少します。
急なカーブに近づくとき* ⁷ (カーブ案内)			この先、カーブです。
一般道の事故多発地点に近づくとき (事故多発地点案内)			この先、事故多発地点です。注意してください。
制限速度を超過して走行しているときは* ¹ * ⁸ ★(速度超過警告)			速度超過です。

- *¹ 情報のある区間・地点のみ
- *² 一部の一般道でも案内される場合があります。
- *³ 踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。
- *⁴ 時間規制や車種規制がある標識や、複雑な形状の標識は案内されません。
- *⁵ ルート案内中は表示されません。
- *⁶ 距離の短いトンネルでは、案内されない場合があります。
- *⁷ カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。
- *⁸ 制限速度を超過していても、案内されない場合があります。

お知らせ

- 複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
- 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
- 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。

必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。

逆走注意アラーム・逆走検知警告

サービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)から走り出したときに逆走しないよう注意を促し、万一、高速道路で逆走を検知した場合は警告をします。

SA/PAから車を発進させると

高速道路・有料道路のSA/PAから車を発進させるときに(駐車して車のエンジンを切ったあと、再びエンジンをかけて発進させると)、逆走しないよう事前に注意を促します。

- 逆走注意アラームの設定 → P.169

お知らせ

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。

高速道路で逆走を検知すると

IC/JCTなどの合流部、SA/PAの入口・出口、高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告します。

※逆走してしまった場合は、安全な場所(路側帯など)に停車し、路側帯に設置された非常電話などから、道路を管轄する管制センターなどに指示をあおいでください。

- 逆走注意アラームの設定に連動して、警告をする/しないの設定が切り換わります。(P.169)
- 逆走検知警告について → P.204

■ 逆走検知警告表示を消去するには

解除 を選ぶ

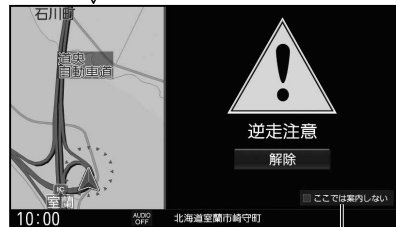
お知らせ

- 逆走検知警告は、都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保証するものではありません。
- 「登録データの初期化」(P.173) / 「出荷状態に戻す」(P.173)の操作を行うと、**ここでは案内しない**の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

“ポーン”
現在、自動車専用道路を走行しています。
逆走にご注意ください。



“ポーン”
逆走のおそれがあります。
進行方向にご注意ください。



- 逆走していない状態で警告が表示された場合は、**ここでは案内しない**をタッチすると、次回からその地点での逆走検知警告は案内されなくなります。

地点を登録する(登録地)

登録地について

1ユーザーにつき最大900件まで登録できます。(自宅、お気に入り地点を含む)

- 登録された地点は、📍マークで表示されます。
- 登録地を表示する/しないの設定→P.168

カーソルの地点を登録する

登録したい場所にカーソルを合わせ、**地点メニュー(P.47)**から**地点登録**を選ぶ



- カーソルの位置(地点)が登録されます。

現在地を登録する

準備

- ランチャーメニューに「地点を登録」が表示されるように設定してください。(P.38)

ランチャーメニュー(P.38)から**地点を登録**を選ぶ



- 現在地が登録地として登録されます。

登録地をフォルダで管理する

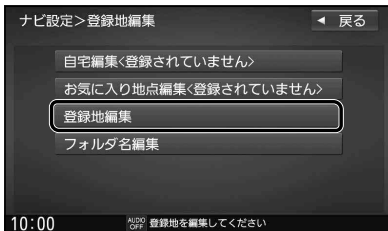
登録地をフォルダごとにまとめて管理できます。(20フォルダ+メインフォルダ)フォルダ名は、変更することもできます。

フォルダを移動する

1 **情報・設定メニュー(P.25)**から**ナビ設定**を選ぶ

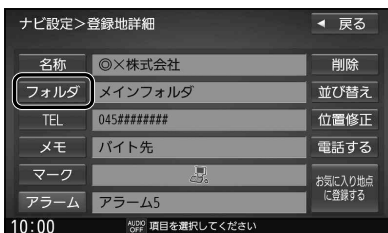
2 **ナビ設定メニュー**から**登録地編集**を選ぶ

3 **登録地編集画面**から**登録地編集**を選ぶ



4 **登録地のリスト**から**登録地**を選ぶ

5 **登録地詳細画面**から**フォルダ**を選ぶ



6 **移動先のフォルダ**を選ぶ

- 選んだフォルダに移動します。

フォルダ名を変更する

1 **登録地編集画面(上記)**から**フォルダ名編集**を選ぶ

2 **名称を編集するフォルダ**を選ぶ

3 **フォルダ名を入力し、決定**を選ぶ

- 全角14文字(半角29文字)まで
- 文字入力のしかた→P.191

地点を登録する(登録地)

お気に入り地点を登録する

よく使う地点をお気に入り地点として登録すると、ランチャーメニューからかんたんに呼び出して、目的地に設定できます。(1件のみ)

お気に入り地点を登録する

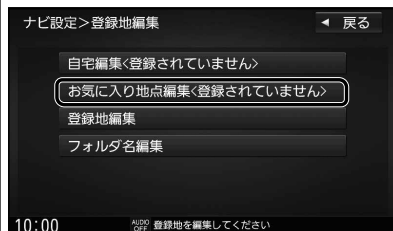
準備

- お気に入り地点にしたい地点を登録地として登録してください。(P.69)

1 情報・設定メニュー(P.25)から ナビ設定を選ぶ

2 ナビ設定メニューから 登録地編集を選ぶ

3 お気に入り地点が登録されていない状態で 登録地編集画面から お気に入り地点編集<登録されていません> を選ぶ



- すでに登録されている場合は、お気に入り地点の登録地詳細画面(P.71)が表示されます。

4 リストからお気に入り地点にしたい 登録地を選ぶ

- お気に入り地点が登録されます。

お知らせ

- 登録地詳細画面(P.71)から「お気に入り地点に登録する」を選んで、お気に入り地点に登録できます。

お気に入り地点を解除するには

1 お気に入り地点が登録された状態で、 登録地編集画面(上記)から お気に入り地点編集を選ぶ

2 お気に入り地点の登録地詳細画面から お気に入り地点を解除するを選ぶ

3 はいを選ぶ

- お気に入り地点が解除されます。

お気に入り地点を呼び出す

準備

- お気に入り地点を登録してください。(左記)
- ランチャーメニューに「お気に入り地点」が表示されるように設定してください。(P.38)

1 ランチャーメニュー(P.38)から お気に入り地点を選ぶ



- お気に入り地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。

2 (ルートが設定されている場合のみ) はいを選ぶ



登録地の情報を見る

地点メニューから情報を見る

- 1 登録地にカーソルを合わせ、**設定**を選ぶ
- 2 地点メニュー(P.47)から**地点編集**を選ぶ



- 登録地詳細画面が表示されます。

登録地詳細画面

ナビ設定>登録地詳細 戻る

名称	◎×株式会社	削除
フォルダ	メインフォルダ	並び替え
TEL	#####	位置修正
メモ	バイト先	電話する
マーク		お気に入りの地点に登録する
アラーム	アラーム5	

10:00 AUDIO OFF 項目を選択してください

- 登録地の情報は編集できます。(P.72)

情報・設定メニューから情報を見る

- 1 情報・設定メニュー(P.25)から**ナビ設定**を選ぶ
- 2 ナビ設定メニューから**登録地編集**を選ぶ
- 3 登録地編集画面から**登録地編集**を選ぶ
- 4 リストから登録地を選ぶ

- 選んだ登録地の登録地詳細画面が表示されます。
- **全削除**：すべての登録地を削除
- **全表示**：すべての登録地をリスト表示
- **フォルダ**：フォルダのリストを表示
- **登録順**：登録された順に並べ換え
- **マーク順**：マーク順に並べ換え

登録地詳細画面

ナビ設定>登録地詳細 戻る

名称	◎×株式会社	削除
フォルダ	メインフォルダ	並び替え
TEL	#####	位置修正
メモ	バイト先	電話する
マーク		お気に入りの地点に登録する
アラーム	アラーム5	

10:00 AUDIO OFF 項目を選択してください

- 登録地の情報は編集できます。(P.72)

地点を登録する(登録地)

登録地を編集する

名称を編集する

1 **名称**を選ぶ

2 名称を入力し、**決定**を選ぶ

- 全角12文字(半角25文字)まで
- 文字入力のみ→P.191

フォルダを移動する→P.69

電話番号を編集する

1 **TEL**を選ぶ

2 電話番号を入力する(携帯電話・PHSの番号も可)

3 **決定**を選ぶ

メモを編集する

1 **メモ**を選ぶ

2 メモを入力する

- 全角16文字(半角32文字)まで
- 文字入力のみ→P.191

3 **決定**を選ぶ

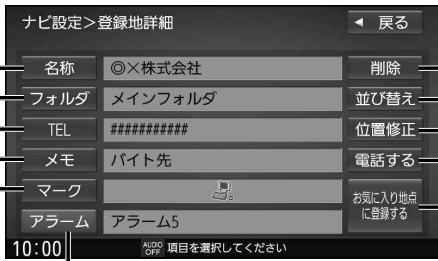
マークを変更する

1 **マーク**を選ぶ

2 リストからマークを選ぶ

3 **戻る**を選ぶ

登録地詳細画面(P.71)

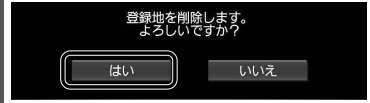


登録地を削除する

一度削除するともとに戻せません。削除は十分確認のうえ行ってください。

1 削除を選ぶ

2 はいを選ぶ



●登録地が削除されます。

リストの並び順を変更する

1 並び替えを選ぶ

2 移動先の挿入を選ぶ

登録地の位置を修正する

1 位置修正を選ぶ

2 変更したい場所にスクロールさせる

3 セットを選ぶ

●微調整: 位置の微調整ができます。

登録地の番号に電話をかける*1

電話するを選ぶ

●登録地の電話番号に電話をかけます。
●通話中の操作について→P.134

*1 BLUETOOTH接続中のみ

お気に入り地点を登録する(P.70)

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくくと、アラームでお知らせします。

1 アラームを選ぶ

2 アラームの種類を選ぶ

[お買い上げ時の設定:OFF(鳴らさない)]

3 アラームでお知らせする距離を選ぶ

●調整範囲: 50 m/100 m/300 m/500 m
[お買い上げ時の設定: 50 m]

4 どの方向から近づくるとアラームでお知らせするかを設定する

[お買い上げ時の設定: OFF(全方位)]

- ① 進入角度を選ぶ
- ② で進入角度を調整し、**セット**を選ぶ

■進入角度をOFFにするには再度**進入角度**を選ぶ

5 戻るを選ぶ

VICS 情報を見る

VICSとは

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System (道路交通情報通信システム)の略です。

- 本機では、FM-VICSを受信できます。
- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。

※本機は電波・光ビーコンに非対応です。
また、ビーコン受信機の接続もできません。

■ ETC2.0とは

これまでITSスポットサービスと呼ばれていたサービスを、「ETC2.0サービス」と呼ぶことになりました。

従来のETC(料金収受)や渋滞回避、安全運転支援などの情報提供サービスに加え、ITSスポットを通して収集される経路情報を活用した新たなサービスが導入される予定です。

交通情報の表示について

文字表示型(レベル1)



図形表示型(レベル2)



●縮尺や表示は切り換えられません。

地図表示型(レベル3)



画像・音声情報(ETC2.0のみ)



(例: 多目的情報)

●受信する情報の内容

優先情報	安全運転支援情報
	緊急メッセージ情報
	注意警戒情報
一般情報	センタ・ネットワーク障害通知
	多目的情報
	広域文字情報
	簡易図形情報
	長文読み上げ情報
	電子標識情報
	障害情報

- ETC2.0の一般情報を割り込み表示する/しないの設定→P.171

お知らせ

- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

VICS情報を受信するFM放送局を設定する

- 1 情報メニュー(P.25)から
渋滞情報を選ぶ

- 2 渋滞情報画面から
周波数設定を選ぶ



- 3 周波数設定画面から
放送局の設定をする(右記)



お知らせ

- GPS信号で現在時刻の情報を受信していないときは、FM-VICSの情報を受信できません。

自車位置に応じて自動で選局する (自動選局:推奨)

周波数設定画面(左記)から **自動選局**を選ぶ

- 選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。
- 自動選局がONのときにエリア選局、手動選局、プリセット選局をすると、自動選局はOFFに切り換わります。

自車位置周辺の放送局から選局する (エリア選局)

- 1 周波数設定画面(左記)から
エリア選局を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。

- 2 リストから放送局を選ぶ

- 選んだ放送局のFM-VICSを受信します。

周波数で選局する(手動選局)

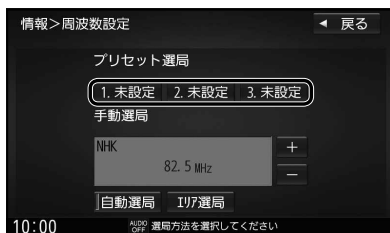
周波数設定画面(左記)から **+/-**で周波数を調整する

よく使う放送局をリストに登録して 選局する(プリセット選局)

登録する

- 1 周波数設定画面(左記)から
登録したい放送局を選局する

- 2 登録したいプリセット番号を
1秒以上タッチする



呼び出す

周波数設定画面(左記)から 呼び出したいプリセット番号を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

VICS 情報を見る

文字表示型(レベル1)・図形表示型(レベル2)のVICS 情報を受信すると

FM多重で受信すると

受信しても、自動的に表示されません。ただし、FM-VICSで緊急情報を受信した際は、自動的に表示されます。

- 受信した情報を見るには→P.77

ETC2.0車載器で受信すると

受信すると、地図画面に自動的に一定時間(7～15秒間)*1 割り込み表示されます。

- ETC2.0の一般情報を割り込み表示する/しないの設定→P.171
- 表示中の画面によって、割り込み表示しない場合があります。

*1 音声情報を含む場合は、それ以上の時間になることがあります。

画像・音声情報のVICS 情報を受信すると(ETC2.0)

地図画面に、自動的に一定時間(7～15秒間) 割り込み表示されます。
音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

[優先情報] (P.74)

- 落下物情報や渋滞末尾情報など注意や警戒を促すための情報が提供されます。災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。

[一般情報] (P.74)

- 広域の所要時間を案内する広域道路情報や静止画による前方状況情報などが提供されます。

割込画面(例)



- **停止** : 音声情報の停止
- **再生** : 音声情報の再生
- **▲ ▼** : ページ切換
- **▶** : 表示の消去
- ETC2.0の設定→P.171

お知らせ

- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割り込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0の一般情報を割り込み表示する/しないの設定→P.171
なお、設定にかかわらず、優先情報は割り込み表示されます。

地図表示型(レベル3)のVICS情報を受信すると

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。



お知らせ

- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。
- VICS表示設定→P.41
- レベル3情報の見かた→P.48～49

事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークにカーソルを合わせる



- 情報が表示されます。

詳細を選ぶと、詳細な情報が表示されます。



VICS情報を確認する

1 渋滞情報画面(P.75)から
見たい情報を選ぶ



2 (FM-VICSの文字情報・図形情報の場合)
見たい情報の番号を選ぶ



- ▲ ▼ : ページ切換
- 目次 : もくじを表示

VICS 情報を見る

緊急情報(特別警報)を受信すると

地図画面を表示中に受信するとただちに表示されます。



終了 を選ぶと、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。

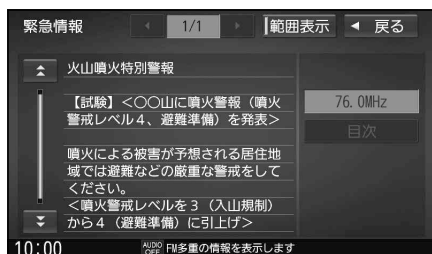


地図画面で情報バーの**緊急情報放送中** を選ぶと、緊急情報画面(詳細情報)が表示されます。

お知らせ

- **緊急情報放送中** は、手動では消去できません。
緊急情報が含まれていないFM-VICSを受信するか、FM-VICSを受信しないまま一定の時間*¹が経過すると、自動的に消去されます。

* 1 時間は、渋滞情報保存時間設定(P.171)の設定によって異なります。



- ◀ ▶ : ページ切換
- ▲ ▼ : 行を戻す/送る
- 渋滞情報画面(P.75)から**緊急情報** を選んでも、緊急情報画面に切り換わりません。
- 走行中は、ページ切換できません。
- 情報自体の提供がない場合は表示されません。

オーディオ

オーディオの基本操作.....	80	本機で録音した音楽データを編集する... 101	
オーディオに切り換える.....	80	お気に入りフォルダで管理する.....	101
オーディオの種類を選ぶ.....	80	編集するアルバム・曲を選ぶ.....	102
オーディオの音声を出力したまま ナビゲーションに切り換える.....	81	アルバムの情報を編集する.....	102
オーディオをOFFにする.....	81	曲の情報を編集する.....	102
テレビを見る.....	82	アルバムにジャケット写真を登録する... 104	
テレビ初期設定を行う.....	82	アルバム・曲を再生する/しないを 設定する.....	104
緊急警報放送(EWS)について.....	83	再生中のアルバム・曲にジャンルを 登録する.....	104
周波数再編(リパック)について.....	83	アルバム・曲を削除する.....	105
テレビの基本操作.....	84	SDメモリーカード内の録音状況を 確認する.....	105
テレビの設定・情報を見る.....	88	録音した音楽データを初期化する.....	105
ラジオを聞く.....	89	パソコンでGracenote®データベースを 更新する(ローカルアップデート).....	106
FM/AMを切り換える.....	89	パソコンでタイトル情報を個別に 更新する(カスタムアップデート).....	107
自転車位置周辺の放送局リストから 選局する(エリア選局).....	89	SDメモリーカード・ USBメモリーを再生する.....	108
周波数で選局する.....	89	SDメモリーカードを挿入する.....	108
受信中の放送局をリストに登録する.....	89	SDメモリーカードを取り出す.....	108
(プリセットメモリー).....	89	USBメモリーを接続する.....	109
リストから選局する (プリセット選局).....	89	音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV) を再生する.....	110
交通情報を聞く.....	90	静止画を再生する.....	112
ディスクを再生する.....	91	動画を再生する.....	113
再生できるディスク.....	91	iPodを再生する.....	114
ディスクを挿入する.....	91	iPodを接続する.....	114
ディスクを取り出す.....	91	音質・音場を調整する (オーディオチューン).....	118
DVD-Video・DVD-VRを再生する.....	92	オーディオチューン画面を表示する.....	118
DVD-Video・DVD-VRの設定を変える... 94	94	オーディオチューンのモードを選ぶ.....	118
音楽CD(CD-DA)を再生する.....	95	音響効果「音の匠」を設定する.....	119
MP3/WMAを再生する.....	96	音場「DSP」を設定する.....	120
BLUETOOTH Audioを再生する.....	97	音源を補完して、より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張).....	120
SDメモリーカードに 音楽CDを録音する.....	98	FADE/BALANCEを調整する.....	121
録音に関する設定をする.....	98	車速連動音量を補正する.....	121
録音する.....	98	Gracenote®をアップデートする.....	121
音楽CDの録音について.....	99	イコライザーの設定をする.....	122
本機で録音した音楽データを再生する... 100	100	「R(リバース)」時に音量を下げる.....	122
		スピーカーの設定をする.....	123
		映像を調整する.....	124
		画質を調整する.....	124
		映像の画面表示サイズを切り換える.....	124
		現在地画面にオーディオ映像を表示する... 125	125

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、DVD、SD動画、USB動画、VTR、HDMI*1*2の映像は表示されません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。後席用のモニターに出力される映像について→P.150

オーディオに切り換える

AUDIOを押す

- オーディオ画面に切り換わります。
- オーディオOFFの状態ではAUDIOを押すと、オーディオメニューが表示されます。

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューから

切り換えたいオーディオを選ぶ

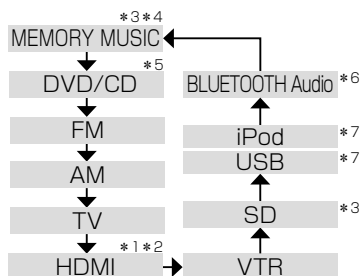


- 選んだオーディオに切り換わります。

ステアリングスイッチで

MODEを押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。



- オーディオOFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報時は、TVに切り換わります。
- ステアリングスイッチで交通情報に切り換えることはできません。

お知らせ

- オーディオの音量を調整するには→P.18
- 地図画面やメニュー画面を表示中にオーディオを操作すると、情報バーに動作状態が約10秒間表示されます。表示例：

003	HIGHWAY	○☆バンド
-----	---------	-------

- *1 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ
- *2 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** 後席用のモニターには出力できません。
- *3 SDメモリーカード挿入時のみ
- *4 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
- *5 ディスク(DVD/CD)挿入時のみ
- *6 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ
- *7 USBメモリー、iPod接続時のみ(同時には接続できません。)

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に

MAP を押す

- オーディオ画面に戻るには、**AUDIO** を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。(右記)

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.125)

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

AUDIO を2秒以上押す

- オーディオをONにするにはオーディオOFFの状態で、**AUDIO** を2秒以上押す

ツートップメニューから

AUDIO OFF を選ぶ



- オーディオの音声・映像が消去されます。(オーディオOFF)

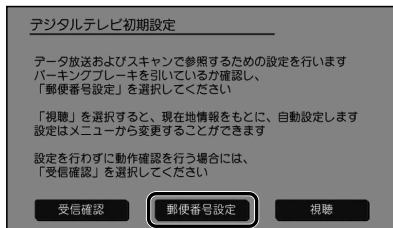
- オーディオをONにするにはツートップメニューから**AUDIO ON** を選ぶ

テレビを見る

テレビ初期設定を行う

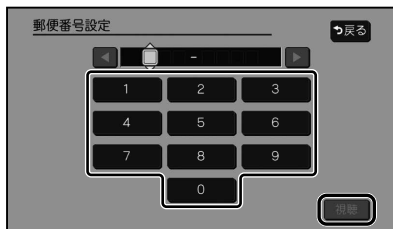
初めてテレビに切り換えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。
地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。

1 郵便番号設定を選ぶ



- **視聴** を選ぶと、自車マーク周辺の地域が自動的に登録されます。
- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、**受信確認** を選んでください。
 - ・受信確認中は、**◀▶** で物理チャンネルを変更できます。

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**視聴** を選ぶ



- テレビ初期設定完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。

テレビ初期設定を変更する

テレビ初期設定画面(上記)は、一度設定すると、出荷状態に戻す(P.173)またはTVの初期化(P.173)をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、テレビ初期設定の項目を変更したい場合に行ってください。

1 設定画面(P.88)から**ユーザー情報設定**を選ぶ

2 **修正** を選ぶ

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**次へ** を選ぶ

4 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島地域を設定するには

■ 伊豆、小笠原諸島地域

1 **沖縄・その他の島部** を選ぶ

2 **東京都島部** を選ぶ

■ 南西諸島鹿児島地域

1 **沖縄・その他の島部** を選ぶ

2 **鹿児島県島部** を選ぶ

5 地域を選んで、**完了** を選ぶ

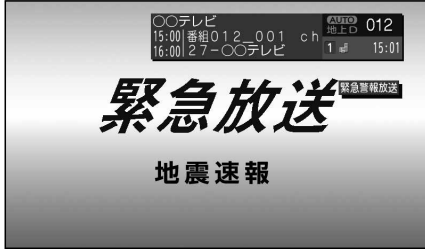
6 **終了** を選ぶ

緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS) とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム (Emergency Warning System) の略です。

緊急警報放送 (EWS) を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。



(イメージ)

- テレビ以外のオーディオを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り換わる場合があります。「EWS (緊急警報) の割込み」→P.169
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。

周波数再編 (リパック) について

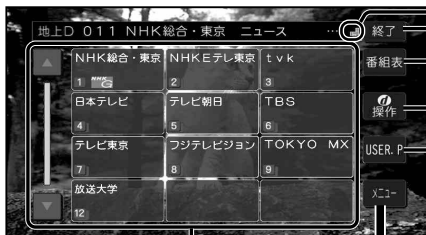
周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネル設定をユーザープリセットに切り換え、「スキャン」を行ってください。(P.84、85)

テレビを見る

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)が表示されます。

- 約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。



チャンネルリスト

選局する

チャンネルリストから選ぶ

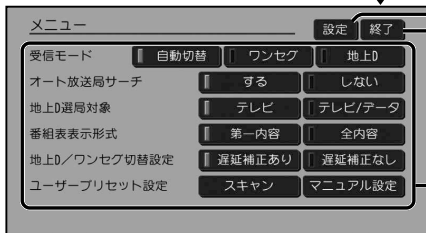
- 選んだチャンネルに切り換わります。

または

◀▶を押す

- 1チャンネルずつ切り換わります。
- 押し続けると連続してチャンネルが切り換わります。

テレビメニュー画面



📶(エリアプリセット)/ 👤(ユーザープリセット)

選局パネルを消去

番組表を表示 (P.86)

カーソルパネルを表示 (下記)

チャンネル設定を切り換える

- 選ぶごとに、**USER.P**/**AREA.P**が切り換わります。
- AREA.P**: エリアプリセット
自車位置に応じてチャンネルリストが自動的に切り換わります。(自動で現在地周辺の放送局がチャンネル設定されます。)
- USER.P**: ユーザープリセット
自車位置にかかわらず、ユーザープリセットに記憶させたチャンネルリストになります。

■初めてユーザープリセットに切り換えたときはメッセージが表示されるので、**はい▶終了**を選んでスキャンを開始してください。

- 完了するとチャンネル設定画面が表示されます。(P.85)

■更新するときは

- ユーザープリセット設定→P.85

テレビの設定・情報を見る (P.88)

テレビの視聴画面に戻る

テレビメニューを設定 (P.85)

カーソルパネルの操作

選局パネル(上記)から**操作**を選ぶと、カーソルパネル(下記)が表示されます。



項目を選択

データ放送を見る

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度**決定**を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。
- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

カーソルパネルを移動

数字パネルに切換

◀▶▲▼: 項目の選択/

決定: 選んだ項目に決定

カーソルパネルを消去



テレビメニューを設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見ることができます。	「 自動切替 」: 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切替 「ワンセグ」: 受信状態にかかわらずワンセグを受信 「地上D」: 受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信 ● 受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。	「 する 」: オート放送局サーチする 「 しない 」: オート放送局サーチしない ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、選局パネルから手動で選局してください。 ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
地上D選局対象*1 テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。	「 テレビ 」: テレビサービスのみ選局する*2 「 テレビ/データ 」: テレビサービスと独立データサービスを選局する *1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 *2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。
番組表表示形式 番組表の表示のしかたを設定します。	「 第一内容 」: 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ● 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 「 全内容 」: 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する
地上D/ワンセグ切替設定 地上デジタル放送/ワンセグが切り換わるときのズレを、補正する/しないを設定します。	「 遅延補正あり 」: 映像・音声のズレを補正する 「 遅延補正なし 」: 映像・音声のズレを補正しない ● 受信モード(上記)が「自動切替」のときに、設定が有効となります。 ● 地上デジタル放送を十分に受信してからでないとう効果が表れない場合があります。
ユーザープリセット設定 ユーザープリセットのチャンネル設定をします。 ● エリアプリセットモードでは設定できません。ユーザープリセットモードに切り換えてください。(P.84)	「 スキャン 」を選ぶ ● 設定したチャンネルを修正するには、「 マニュアル設定 」を選びます。 ● スキャンが完了すると、チャンネル設定画面が表示されます。(右記)

各チャンネル番号の放送局を確認して、「**終了**」を選ぶ



チャンネル設定画面

同じ放送局で受信できるチャンネル
 ・複数表示される場合があります。
 ・ワンセグは青色で表示されます。

◀▶: チャンネル番号を選択

◀▶: 放送局を変更

テレビを見る

テレビの基本操作(続き)

番組表を見る

選局パネル(P.84)で**番組表**を選ぶと、番組表(下記)が表示されます。

別の日の番組表を見る チャンネルを選ぶ

選局パネルに戻る

視聴中の番組の
番組内容を見る
(下記)

時間帯を選ぶ

番組表の拡大/縮小



番組表を消去

選んだチャンネルに
切り換える

緑線部分:
放送時間の短い番組
があります。選ぶと
番組が表示されます。

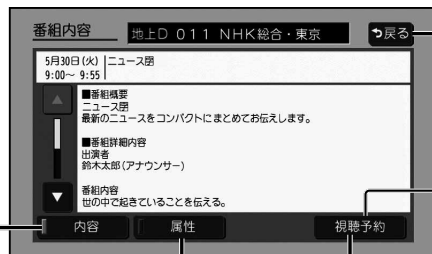
選んだ番組の番組内容を見る(下記)

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 番組表表示形式を設定できます。(P.85)

番組内容を見る

番組表(上記)で**番組内容**を選ぶと、番組内容(下記)が表示されます。

番組内容画面を見る



番組表に戻る

放送中の番組の場合は
今すぐ見る タッチキー
が表示されます。
タッチすると、選んだ
番組に切り換わります。

属性画面(詳細な情報)を見る

視聴予約をする(P.87)

視聴予約をする

視聴予約したい番組の番組内容画面(P.86)から、**視聴予約**を選ぶ

- 選んだ番組の視聴予約がセットされます。
- 予約した時間になると、自動的にテレビに切り換わり、予約した番組が表示されます。
- 受信モードが自動切換になっていない場合、視聴予約した番組に切り換えられない場合があります。
- 同じ時間に開始する番組を複数予約することはできません。
- 放送開始時刻が変更になっても、予約時刻は自動では変更されません。
- 視聴予約した番組が終了しても、もとのオーディオ、チャンネルには戻りません。
- 緊急警報放送中は、視聴予約が実行されません。
- 予約した番組(チャンネル)が受信できない場合は、自動的に中継局や系列局をサーチして、受信できた局に切り換わります。
- 視聴予約を確認するには→下記

視聴予約を確認・編集する

設定画面(P.88)から、**視聴予約確認/編集**を選ぶ

- 視聴予約確認/編集画面が表示されます。



■ 視聴予約を取り消すには

1 視聴予約確認/編集画面(上記)から、取り消したい視聴予約にチェック(✓)する

2 **取消**を選ぶ

3 **はい**を選ぶ

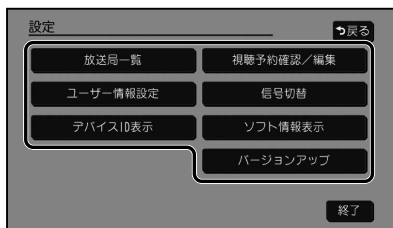
- 選んだ視聴予約が取り消されます。

テレビを見る

テレビの設定・情報を見る

1 テレビメニュー画面 (P.84) から**設定**を選ぶ

2 設定画面から各項目を設定・確認する (下記)



- **終了**: テレビの視聴画面に戻る

項目	設定内容
放送局一覧	放送局一覧を確認します。 <ul style="list-style-type: none">● 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。● ワンセグは青色で表示されます。
視聴予約確認/編集	視聴予約を確認/取り消します。(P.87)
ユーザー情報設定	テレビ初期設定を変更します。(P.82)
信号切替	各項目を設定します。 「マルチビュー」: マルチビュー放送のときに選択できます。 <ul style="list-style-type: none">● マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 「映像」: 映像が複数あるときに選択できます。 「音声」: 音声複数あるときに選択できます。 「二重音声」: 二重音声の音声を選択できます。 「字幕」: 字幕の言語を選択できます。 「文字スーパー」: 文字スーパーの言語を選択できます。 <ul style="list-style-type: none">● 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。
デバイスID表示	通常は、この操作は必要ありません。 <ul style="list-style-type: none">● 受信機(本機)の情報が表示されます。● お問い合わせの際に必要な場合があります。
ソフト情報表示	ソフト情報を確認します。
バージョンアップ	テレビチューナーの内部ソフトウェアバージョンアップの際に使用します。

ラジオを聞く

[FM/AM]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面



オーディオチューン
(P.118～123)

受信中の放送局をリストに登録する (プリセットメモリー)

- 1 登録したい放送局を選ぶ
 - エリア選局、シーク選局→右記
- 2 プリセットのリスト(P1/P2)を選ぶ
- 3 登録したい枠を2秒以上タッチする
 - 受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。
 - P1/P2それぞれ6局まで登録できます。

リストから選局する (プリセット選局)

- 1 プリセットのリスト(P1/P2)を選ぶ
- 2 リストから放送局を選ぶ
 - 選んだ放送局に切り換わります。

お知らせ

- AMステレオには対応していません。
- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。
- 本機は、ワイドFM (AM放送局の放送区域において、災害や電波障害に強いFM放送の周波数でAMラジオの番組を提供する放送) に対応しています。
AM放送が聞き取りにくい地域でも、FM放送でAMラジオの番組を聞くことができます。

FM/AMを切り換える

FM/AMを選ぶ

自車位置周辺の放送局リストから 選局する(エリア選局)

- 1 **エリア**を選び、エリアモードに切り換える
 - 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。(18局まで)
- 2 リストから放送局を選ぶ
 - 選んだ放送局に切り換わります。

自車位置周辺の放送局リストを 更新するには

エリアモードで**エリア更新**を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストに更新されます。

周波数で選局する

◀▶を押す

- 1秒以上押し続けて離すと選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

交通情報を聞く

[交通情報]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

交通情報画面



オーディオを交通情報に切り換えると、
交通情報を聞くことができます。

[お買い上げ時の設定: 1 620 kHz]

周波数を選ぶ

お知らせ

- オーディオを交通情報に切り換えると、ビット・周波数拡張の設定 (P.120) がONの場合、設定はOFFになります。他のオーディオを選ぶと、設定はONに戻ります。

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。
「ディスクについて」(P.193)も併せてご覧ください。

フォーマット ディスク	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3*3	WMA*3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW*1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW*2	—	—	○	○	○
操作のしかた	P.92～94		P.95	P.96	

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

ディスクを挿入する

1 [TILT] を押す

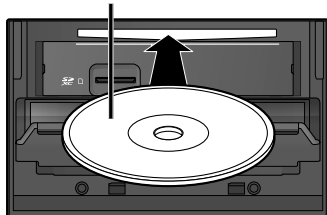
2 OPEN/EJECT 画面から [OPEN] を選ぶ



- ディスプレイが開きます。

3 ディスクを挿入する

ラベル面を上



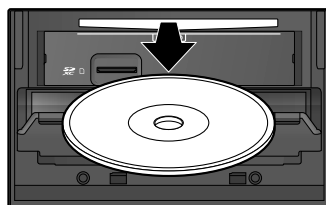
- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- [TILT] を押して、手でディスプレイを閉じることもできます。

ディスクを取り出す

1 OPEN/EJECT 画面(左記)から [DISC EJECT] を選ぶ

- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- 録音中などは、ディスクの排出までに時間がかかる場合があります。

2 ディスクを取り出す



- [TILT] を押して、ディスプレイを閉じてください。

ディスクを再生する

DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて
→P.91、193

ディスク再生画面(DVD)



本編再生中に[MENU]を押すと、
基本操作タッチキーが表示されます。
基本操作タッチキー画面1



タッチキーを消去

タイトルメニューを表示する [DVD-Video]

タイトル を選ぶ

トップメニューを表示する [DVD-Video]

メニュー を選ぶ

タイトルリストを表示する [DVD-VR]

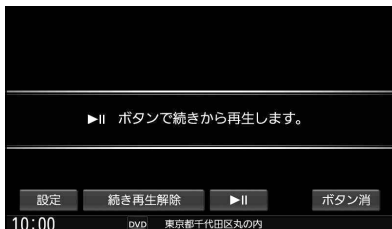
タイトル を選ぶ

プレイリストを表示する [DVD-VR]

メニュー を選ぶ

停止

再生中に **□** を選ぶ



● **一時停止** を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)

- **続き再生解除** : リジューム再生開始位置の情報を解除(右記)

一時停止

再生中に **一時停止** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声が切り換わります。

字幕の切り換え/消去

■ **字幕** を切り換える [DVD-Video]

字幕 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕が切り換わります。

■ **字幕** を消去する [DVD-VR]

字幕 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

アングルを切り換える [DVD-Video]

アングル を選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニュー
からもとの再生に戻る(リジューム)

[DVD-Video]

リジューム を選ぶ

お知らせ

- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、**⊗**が表示されます。

- [DVD]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.91

基本操作タッチキー画面2



設定を変える
(P.94)

タッチキーを
消去

再生時間を表示する

タイムを選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター
←表示なし←

メニューなどをカーソルで操作する

1 操作を選ぶ

2 ▲▼◀▶でカーソルを移動し、 実行を選ぶ



- ボタン移動：タッチキーを左右に移動
- ボタン消：タッチキー消去
- DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1つ前の画面に戻る

リターンを選ぶ

早送り・早戻し

◀◀ ▶▶を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中 (P.92) に

◀◀ ▶▶を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- ◀◀：[DVD-Video]のみ

チャプターの頭出し

◀◀ ▶▶を押す

項目を番号で選ぶ

1 10キーを選ぶ

2 10キーで番号を入力する



- ボタン移動：タッチキーを上下に移動
- ボタン消：タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ (サーチ)

1 サーチを選ぶ

2 切換で、サーチの対象を選ぶ

- 選ぶごとに、タイトル/チャプターが切り換わります。

3 番号を入力し、実行を選ぶ

- 入力したタイトル/チャプターの先頭から再生を開始します。

項目を決定する

エンターを選ぶ

ディスクを再生する

DVD-Video・DVD-VRの設定を変える

1 基本操作タッチキー画面2 (P.93) から **設定** を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容 / 操作
言語を設定する <ul style="list-style-type: none"> ● 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。 ● 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。 ● 言語コード一覧表 → P.202 	言語設定 を選び、設定する [お買い上げ時の設定: 日本語]  <ul style="list-style-type: none"> ● ディスクで優先されている言語に切換 ● 字幕表示しない ● すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す 言語コードを入力して 決定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 選んだ言語がタッチキーに表示されます。 ● オリジナル、OFF を選んだ場合は、タッチキーに 言語を選択 と表示されます。 ● クリア: 全文字削除
音声ダイナミックレンジを圧縮する *1 <ul style="list-style-type: none"> ● ドルビー®デジタル再生時のみ設定できます。 	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● [O N]: 圧縮する ● [OFF]: 圧縮しない
ワイドサイズの映像を後席用のモニターに画面サイズに合わせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 本設定は本機の表示にも反映されます。設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。 </div>	モニター設定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 「ワイド」(16:9) ● 「レターボックス」(4:3) ● 「パン&スキャン」(4:3) 通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。
再生できるDVDを制限する 設定範囲: (強) 1~8 (弱)、制限なし <ul style="list-style-type: none"> ● 視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。 	視聴制限レベル を選ぶ 視聴制限レベルを選び、パスワードを入力して 決定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 設定範囲: (強) 1~8 (弱) 制限なし (制限解除) ● パスワード*2: 4桁の数字 [お買い上げ時の設定: 0000] ● クリア: 全文字削除
パスワードを変更する	パスワード変更 を選ぶ 「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、決定 を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● パスワード*2: 4桁の数字 [お買い上げ時の設定: 0000] ● クリア: 全文字削除

*1 ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。

*2 パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。

もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。

- [CD]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.91

音楽CD (CD-DA) を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。

- 本機で再生できるディスクについて→P.91、193

ディスク再生画面 (CD-DA)



録音を開始する/停止する (P.98)

録音設定 (P.98)

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャンを選ぶ

- 全曲を約10秒ずつ再生します。

オーディオチューン
(P.118～123)

表示内容を切り換える

: 再生中の曲の情報 (上図) を表示

: 曲のリストを表示

- 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

を押す

お知らせ

- 録音中は、リストからの選曲、再生モード切換、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。
- タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

音楽CDのタイトル表示について

タイトル情報は、本機に収録されているGracenote音楽認識サービスのデータベースを使って表示しています。Gracenoteデータベースは更新できます(→P.106～107)

- CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
- CD-TEXT情報がなく本機のデータベースにも一致しない場合は、タイトル情報は表示されません。
- すべてのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。実際と異なって表示される場合があります。

ディスクを再生する

- [CD]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.91

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。

- 本機で再生できるディスクについて→P.91、193
- 再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P.197

ディスク再生画面 (MP3/WMA)



オーディオチューン
(P.118～123)

表示内容を切り換える

: 再生中の曲の情報 (上図) を表示

: 曲のリストを表示

- 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

再生モード切替(リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
リピートトラック→リピートフォルダ

← 通常再生 →

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

フォルダを選ぶ

フォルダ⊖ / フォルダ⊕ を選ぶ

- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

準備 ●BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.128)

BLUETOOTH Audio再生画面



オーディオチューン
(P.118~123)

表示内容を切り換える

- 🎵: 再生中の曲の情報(上図)を表示
- ☰: 選曲モード(右記)で選択された選曲方法で、曲のリストを表示
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。



早送り・早戻し

- ⏮ ⏭ を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

- ⏮ ⏭ を押す

お知らせ

- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)
- 接続機器の仕様や設定、音楽再生アプリなどによっては、下記のような場合があります。
 - ・音声出力や画面表示に時間がかかる
 - ・音楽プレーヤーを起動する必要がある
 - ・音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない
 - ・画面表示が更新されない
 - ・タイトル、Artist、Albumが表示されない
 - ・音質が低下する
 - ・ナビゲーションから操作できない(その場合は、接続機器で操作してください。)
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかつたり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状態によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例: iPhoneにて、ケーブル接続している場合)

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

リストを絞って選曲することができます。

- 1 選曲モードを選ぶ**
- 2 選曲するリストを選ぶ**
 - リスト(例:「アルバム」「ジャンル」などは、接続する機器によって異なります。)
 - 「曲」を選んだ場合→手順4
- 3 リストからフォルダを選ぶ**
- 4 リストから曲を選ぶ**
 - 選んだ曲を再生します。
 - 再生中画面: BLUETOOTH Audio 再生画面に戻る

再生モード切替(リピート/ランダム)

- 1 再生モードを選ぶ**
 - 2 再生モードを切り換える**
 - 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
 - 再度選ぶと、解除されます。
- 繰り返し再生(リピート)**
- リピート**を選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 順不同に再生(ランダム)**
- ランダム**を選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止

- 再生中に⏸を選ぶ**
- ⏸を選ぶと、再生を開始します。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。

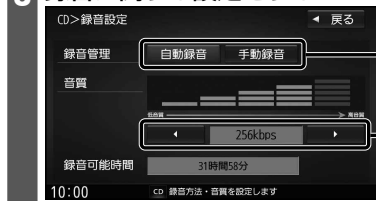
- 本機で録音したSDメモリーカードは、本機のMEMORY MUSICでのみ再生できます。(P.100)
- 本機で録音したデータは本機でのみ再生可能なデータのため、他の機器(パソコンなど)では再生できません。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー(P.24)から、**CD**を選ぶ

2 **録音設定**を選ぶ

3 録音に関する設定をする



録音管理

- 自動録音**: 録音していないCDを、自動的にすべて録音[お買い上げ時の設定]
- 手動録音**: 曲を選んで録音

音質

◀/▶で音質を選ぶ

[お買い上げ時の設定: 256 kbps]

- 録音曲数の目安*1
 - ・320 kbps: 約1 748曲
 - ・256 kbps: 約2 185曲
 - ・192 kbps: 約2 913曲
 - ・128 kbps: 約4 369曲
 - ・96 kbps: 約5 825曲

4 **戻る**を選ぶ

* 1 空き容量が16 GBのSDHCメモリーカードに、4分程度の曲を録音した場合。(ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。)

録音する

準備

- 音楽CDの録音に関する設定→上記
- 本機で初期化したSDメモリーカードを挿入してください。(P.108、173)

1 音楽CDを挿入する(P.91)

2 録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



録音中に表示されます

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 **録音 ▶ 全曲録音** を選ぶ

2 **録音開始** を選ぶ

- 未録音の曲をすべて録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 **録音 ▶ 選択曲録音** を選ぶ

2 リストから曲を選び、**決定** を選ぶ

- 選んだ項目には、チェックマーク(✓)が付きます。
なお、すでに録音済みの曲にはチェックマーク(✓)が付いていません。

3 **録音開始** を選ぶ

録音を停止するには

録音中画面から、**録音中止** を選ぶ

音楽CDの録音について

本機の故障、誤動作または不具合による録音データの破損や消失、メモリーカードの破損については補償できません。

- 本機で再生できる市販の音楽CDのみ、録音できます。(MP3/WMAファイルのあるCDは録音できません。)
- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.98)を行ってください。
- 録音中にCD以外のオーディオやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、**本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(4倍速～8倍速)**
- CD以外のオーディオに切り換えられた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- 音楽CDの状態(記録面のキズ、汚れなど)や記録内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、タイトルを手動で編集(P.102)、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得(P.107)できます。
- 本機はギャップレス録音(曲と曲の間の無音部分が無いCDを再生しても音が途切れないよう録音する機能)に対応しています。ギャップレス録音するには、音楽CDの全曲を一度にまとめて録音してください。複数回に分けて録音すると、ギャップレス録音できません。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

お願い

- 録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 録音中に車のエンジンスイッチ(電源ポジション)を切り換えたり、本機に振動や衝撃を与えたりすると、録音データやSDメモリーカードが破損する原因となります。
- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。「自動録音」に設定している場合は、次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
- 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。^{*1}
 - ・ 頭出し
 - ・ 再生モード切替(リピート/ランダム/スキャン)
 - ・ 早送り/早戻し
 - ・ タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
 - ・ 録音設定
- 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

*1 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム/スキャン)の切替などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

[MEMORY MUSIC]に切り換えるには
→P.80「オーディオの種類を選ぶ」

準備 ●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.98)

MEMORY MUSIC再生画面



オーディオチューン
(P.118～123)

表示内容を切り換える

: 再生中の曲の情報(上図)を表示

: 曲のリストを表示
●曲を選ぶと、再生を開始します。



: アルバムのリストを表示
●表示されるリストは、選曲モードの設定によって異なります。
●リストから項目をタッチして、曲を選ぶことができます。



お知らせ

●タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

早送り・早戻し

を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

を押す

アルバムを切り換える

アルバム \ominus /アルバム \oplus を選ぶ

●選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

リストを絞って選曲することができます。

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲するリストを選ぶ

- **全曲**: 全曲を表示(リストを絞らない)
- **アルバム**: アルバムのリストを表示
- **アーティスト**: アーティストのリストを表示
- **ジャンル**: ジャンルのリストを表示
- **お気に入り**: お気に入りフォルダのリストを表示

3 項目を選んでリストを絞る

- **名前順**: 50音順に並べ換え
- **登録順**: 録音日の新しい順に並べ換え

4 リストから曲を選ぶ

- **選んだ曲**: 再生します。
- **再生中画面**: MEMORY MUSIC再生画面に戻る

再生モード切替(リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

お願い

●SD再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

本機で録音した音楽データを編集する

お気に入りフォルダで管理する

お気に入りのアルバムや曲を、お気に入りフォルダにまとめておいて、選曲モードから呼び出すことができます。(P.100)

- お気に入りアルバム ・1フォルダあたり200アルバムまで
・お買い上げ時のフォルダ名：**お気に入りアルバム1**～**お気に入りアルバム4**
- お気に入りトラック ・1フォルダあたり200曲まで
・お買い上げ時のフォルダ名：**お気に入りトラック1**～**お気に入りトラック4**

再生中のアルバム・曲をお気に入りに登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.100) から**登録**を選ぶ

2 **お気に入り** ▶ **はい**を選ぶ

3 アルバム・曲を登録するお気に入りフォルダを選ぶ

- 選んだお気に入りフォルダに、アルバム・曲が登録されます。

アルバム・曲を選んでお気に入りに登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.100) から**編集**を選ぶ

2 **曲管理** ▶ **はい**を選ぶ

- アルバムのリストが表示された曲管理画面に切り換わります。

3 曲管理画面から、お気に入りに登録したいアルバム・曲を選び、**お気に入り登録**を選ぶ

4 登録するお気に入りフォルダを選ぶ

- 選んだお気に入りフォルダに、アルバム・曲が登録されます。

お気に入りフォルダを編集する

1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.100) から**編集**を選ぶ

2 **お気に入り管理** ▶ **はい**を選ぶ

3 お気に入りを編集する

項目	操作		
お気に入りフォルダの名称を編集する ● 全角32文字(半角64文字)まで	名称を変更したいお気に入りフォルダを選ぶ	フォルダ名編集 を選ぶ	名称を入力し、 決定 を選ぶ
お気に入りに登録したアルバム・曲を削除する	個別に削除する	削除したいアルバム・曲のあるお気に入りフォルダを選び、 フォルダ内表示 を選ぶ	はい を選ぶ
	フォルダ内のアルバム・曲をすべて削除する	すべてのアルバム・曲を削除したいお気に入りフォルダを選び、 削除 を選ぶ	はい を選ぶ

お知らせ

- お気に入りフォルダから削除されたアルバム・曲は、通常のアルバム・曲として残ります。(SDメモリーカード内のアルバム・曲は削除されません。)

本機で録音した音楽データを編集する

- タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、パソコンを使用してGracenoteデータベースを更新すると、正しい情報が付与される場合があります。(P.106～107)
- それでも正しい情報が付与されない場合は、下記の手順から手動で編集することもできます。

編集するアルバム・曲を選ぶ

- 1 MEMORY MUSIC再生画面(P.100)から**編集**を選ぶ
- 2 編集メニューから、**曲管理 ▶ はい**を選ぶ
 - **現在のアルバム** : 再生中のアルバムのアルバム編集画面を表示
 - **現在の曲** : 再生中の曲の情報編集画面を表示

3 曲管理画面から編集したいアルバム・曲を選ぶ

- 曲管理画面(アルバム)



リストからアルバムを選ぶ

- 曲管理画面(トラック)



リストから曲を選ぶ

お知らせ

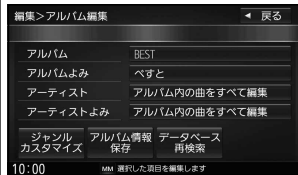
- 録音中は編集できません。

アルバムの情報を編集する

- 1 曲管理画面(アルバム)から編集したいアルバムを選び、**アルバム編集**を選ぶ



- 2 アルバム編集画面からアルバムの情報を編集する(P.103)

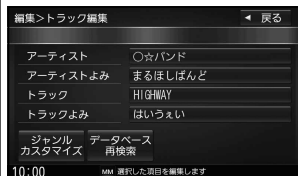


曲の情報を編集する

- 1 曲管理画面(トラック)から編集したい曲を選び、**トラック編集**を選ぶ



- 2 トラック編集画面から曲の情報を編集する(P.103)



お知らせ

- データベース再検索を行うと、手動で編集したタイトルは、録音時に自動で付与されたタイトルに戻ります。
- タイトル情報を編集しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。そのため、SDメモリーカードに録音したアルバム・曲情報は更新されますが、CD再生時は編集されていない情報が表示されます。
- パソコンなどを使って、本機でSDメモリーカードに録音したアルバム・曲の情報を編集しても、MEMORY MUSICには反映されません。
- 文字入力のしかた→P.191

項目	操作		
アルバム名を編集する	アルバム名にタッチする	アルバム名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定 を選ぶ
アルバムのよみを編集する	アルバムのよみにタッチする	アルバムのよみを入力する ● 全角32文字まで	
アーティスト名を編集する	アーティストの アルバム内の曲をすべて編集 を選ぶ	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで ※編集結果は再生画面で確認してください。	
アーティストのよみを編集する	アーティストよみの アルバム内の曲をすべて編集 を選ぶ	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで ※編集結果は再生画面で確認してください。	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
アルバムの情報を保存する	アルバム情報保存 ● カスタムアップデートを行う際に使用します。(P.107)		
アルバムの情報を更新する	データベース再検索 ● ローカルアップデート、およびカスタムアップデートを行う際に使用します。(P.106~107)		

項目	操作		
アーティスト名を編集する	アーティスト名にタッチする	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定 を選ぶ
アーティストのよみを編集する	アーティストのよみにタッチする	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
曲名を編集する	曲名にタッチする	曲名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	
曲のよみを編集する	曲のよみにタッチする	曲のよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
曲の情報を更新する	データベース再検索 ● ローカルアップデート、およびカスタムアップデートを行う際に使用します。(P.106~107)		

本機で録音した音楽データを編集する

アルバムにジャケット写真を登録する

最大1 024×1 024ピクセルのJPEG形式の画像を登録できます。

- 1 曲管理画面 (P.102) から、ジャケット写真を登録するアルバムを選ぶ
- 2 **ジャケット写真** を選ぶ
- 3 ジャケット写真が保存されたメディア (**SDカード / USB**) を選び、**ジャケット写真を選択する** を選ぶ
- 4 フォルダを選ぶ
- 5 画像を選ぶ
 - 選んだ画像がアルバムのジャケット写真として登録されます。
 - すでにジャケット写真が登録されている場合は、**はい** を選んでジャケット写真を変更してください。



アルバム・曲を再生する/しないを設定する

- 1 曲管理画面 (P.102) から **再生選択** を選ぶ
- 2 再生しないアルバム・曲を選んでチェック (✓) を外し、**決定** を選ぶ
 - チェックを外したアルバム・曲が再生されなくなります。
 - チェックを入れると、再度再生されるようになります。
 - **全選択** : すべてのアルバム・曲にチェックを入れる
 - **全解除** : すべてのアルバム・曲のチェックを外す

再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.100) から **登録** を選ぶ
- 2 **ジャンル ▶ はい** を選ぶ
- 3 再生中のアルバムを設定する場合 **アルバム単位** を選ぶ
再生中の曲を設定する場合 **トラック単位** を選ぶ
- 4 ジャンルを選ぶ

アルバム・曲を削除する

- 1 曲管理画面 (P.102) から、削除するアルバム・曲を選ぶ
- 2 **削除**を選ぶ
- 3 **はい**を選ぶ
 - 選んだアルバム・曲が削除されます。

SDメモリーカード内の録音状況を確認する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.100) から **情報** を選ぶ
- 2 **SDカード情報** ▶ **はい** を選ぶ
 - SDメモリーカードの使用済み割合・空き容量・録音可能時間・設定中の録音音質が表示されます。

録音した音楽データを初期化する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.100) から **情報** を選ぶ
- 2 **録音データ初期化** ▶ **はい** を選ぶ
- 3 **はい** ▶ **はい** ▶ **はい** を選ぶ
 - 録音した音楽データがすべて削除されます。

本機で録音した音楽データを編集する

パソコンでGracenote® データベースを更新する(ローカルアップデート)

Webサイトから更新データをダウンロードして、本機のGracenoteデータベースを更新できます。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

お知らせ

- Gracenote 音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンに挿入する

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーの直下に「NVDATA」フォルダを作り、WebサイトからGracenoteデータベースの更新データをダウンロードして保存する

3 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する



4 Gracenote データベースを更新する

- ① オーディオチューン画面 (P.118) から **gracenote** を選ぶ
- ② **ローカルアップデート(定期更新)** を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC 再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ④ 更新データを保存したメディア (**SDカード** / **USB**) を選び、**更新開始** を選ぶ
 - 更新履歴: ローカルアップデートの更新履歴を表示
- ⑤ **はい** を選ぶ
 - 本機のGracenoteデータベースが更新されます。
- ⑥ **OK ▶ OK** を選ぶ

5 タイトル情報を更新する

- ① 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面 / 曲編集画面から **データベース再検索** を選ぶ (P.103)
 - 複数の候補がある場合は、リストからアルバム名 / 曲名を選んでください。
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

パソコンでタイトル情報を個別に更新する(カスタムアップデート)

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備(初回のみ)

- 専用アプリ「Title Finder」をWebサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーにアルバム情報を書き出す

- ① 情報を取得したいアルバムのアルバム編集画面(P.102)から、**アルバム情報保存**を選ぶ
 - タイトル情報が付与されていないアルバム(新譜など)の場合、この操作は必要ありません。手順②から操作してください。
 - 複数ある場合は、この手順を繰り返し、アルバム情報を保存してください。
- ② オーディオチューン画面(P.118)から**gracenote**を選ぶ
- ③ **カスタムアップデート(個別更新)**を選ぶ
- ④ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい**を選ぶ
- ⑤ アルバム情報を書き出すメディア(**SDカード**/**USB**)を選び**書き出し**を選ぶ
- ⑥ **はい**を選ぶ
 - アルバム情報ファイル「export.dat」が、SDメモリーカード/USBメモリーの「NVDATA」フォルダに出力されます。
 - 手順①で保存されたアルバム情報が、すべて書き出されます。
- ⑦ **OK**を選ぶ

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機から取り出し、パソコンに挿入する

3 Title Finderを起動しGracenote音楽認識サービスからタイトル情報をダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する



4 タイトル情報取得が完了したら、SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

5 タイトル情報を更新する

- ① オーディオチューン画面(P.118)から**gracenote**を選ぶ
- ② **カスタムアップデート(個別更新)**を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい**を選ぶ
- ④ タイトル情報を取り込むメディア(**SDカード**/**USB**)を選び**取り込み**を選ぶ
- ⑤ **はい**を選ぶ
- ⑥ **OK**を選ぶ
- ⑦ 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から**データベース再検索**を選ぶ(P.103)
 - 複数の候補がある場合は、リストからアルバム名/曲名を選んでください。
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、パソコンなどで保存した音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC*¹/WAV*¹)、静止画(JPEG)、動画(MPEG4)の再生ができます。
- 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データを再生するときは、P.100をご覧ください。
- 本機で使用できるSDメモリーカード・USBメモリーについては、P.196をご覧ください。
- データ作成時の留意点については、P.197～200をご覧ください。

*1 CN-RZ866 CN-RZ766W のみ

SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 TILT を押す

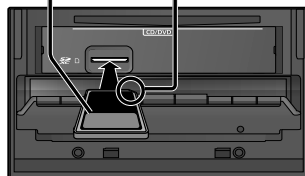
2 OPEN/EJECT画面(P.91)から、**OPEN**を選ぶ

- ディスプレイが開きます。

3 SDメモリーカードを、奥までまっすぐに挿入する

- カチッと音がするまで差し込みます。
- 自動的にディスプレイが閉まります。
- ディスプレイが閉まらない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。

ラベル面
を上
角がカットされた側
を右に



SDメモリーカードを取り出す

1 OPEN/EJECT画面(P.91)から
OPENを選ぶ

- ディスプレイが開きます。

2 SDメモリーカードを取り出す

- TILTを押して、ディスプレイを閉じてください。

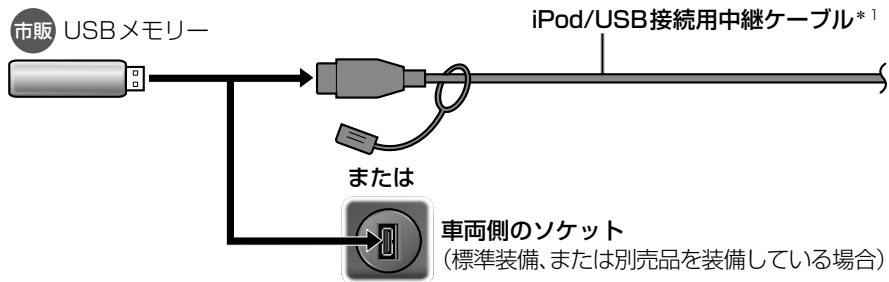


お願い

- 再生中にSDメモリーカード・USBメモリーを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを接続する

- コネクターの向きに注意して確実に差し込んでください。
- 正常に動作しないときはUSBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再接続してください。



* 1 グローブボックス等から出ている付属のiPod/USB接続用中継ケーブルを引き出して接続してください。(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- USBメモリーの接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため、接続しないでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

お知らせ

- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーやケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC*1/WAV*1)を再生する

準備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.109)

ジャケット写真

ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると、ジャケット写真が表示されます。

- ジャケット写真未設定の場合、右記のマークが表示されます。



音楽再生画面(例:SD)



オーディオチューン
(P.118~123)

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

リストを絞って選曲することができます。

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲するリストを選ぶ

- **全曲**: 全曲を表示(リストを絞らない)
- **フォルダ**: フォルダのリストを表示

3 (「フォルダ」の場合のみ)

リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- **再生中画面**: 音楽再生画面に戻る

再生モード切替(リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒再生します。

フォルダを切り換える

フォルダ⊖/フォルダ⊕を選ぶ

- 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始します。

- [SD][USB]に切り換えるには→P.80「オーディオの種類を選ぶ」
- 本機では、SD-Audio規格準拠の音楽データは再生できません。

音楽再生画面(例:SD)



ギャップレス再生(FLAC、WAVのみ)*1

ギャップレスを選ぶ

- 曲間の無音部分をスキップして継ぎ目なく再生します。
- 同形式ファイルの音楽を再生中に有効です。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイルを選ぶ

表示内容を切り換える

- 🎵 : 再生中の曲の情報(左図)を表示
- 📁 : 再生中フォルダの曲のリストを表示
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。



- 📁 : フォルダのリストを表示
 - フォルダを選ぶと、選んだフォルダの1曲目から再生を開始します。



お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

*1 (CN-RZ866) (CN-RZ766W) のみ

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

静止画を再生する

準備

- 画像が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、画像が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.108、109)

画像操作画面(例:SD)



画像を全画面で表示する

画像操作画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- 再度画面をタッチすると、画像操作画面が表示されます。
- 画像操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

次/前の画像に切り換える

全画面表示中に、左右にフリックする

- 次/前の画像に切り換わります。
- ◀▶ を押しても切り換わります。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換 を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイル を選ぶ

画像をスライドショーで再生する

スライドショー を選ぶ

- 画像をスライドショーで表示します。

スライドショーを停止するには スライドショーの画面をタッチする 停止中の画面



- **再生間隔**: 再生間隔を設定
3秒/10秒/30秒/1分
[お買い上げ時の設定:3秒]
- **開始**: スライドショーを開始
- **終了**: スライドショーを終了

画像を回転させる

回転 を選ぶ

- 画像を右方向に90度回転します。

リストから選ぶ

1 リスト を選ぶ

2 フォルダ を選ぶ

- サムネイル画面が表示されます。

3 サムネイルから画像を選ぶ



動画を再生する

準備

- 動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.108、109)

再生画面にタッチすると、
動画操作画面が表示されます。

動画操作画面(例:SD)



動画を全画面で表示する

動画操作画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- 再度画面をタッチすると、動画操作画面が表示されます。
- 動画操作画面で約15秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

早送り・早戻し

⏪ ⏩ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

動画の頭出し

⏪ ⏩ を押す

一時停止

⏸ を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を再開します。

リストから選ぶ

1 再生リスト を選ぶ

2 リストからファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。

再生中のフォルダ以外から選ぶには

1 再生リスト を選ぶ

2 リスト変更 を選ぶ

3 選択する方法を選ぶ

- 全ファイル: 全フォルダの全ファイルから選ぶ
- フォルダ: 選んだフォルダから選ぶ

4 (「フォルダ」の場合のみ) リストからフォルダを選ぶ

5 リストからファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。
- 再生中画面: 動画再生画面に戻る

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切替 を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイル を選ぶ

iPodを再生する

本機で接続確認済みのiPod (2020年4月現在)

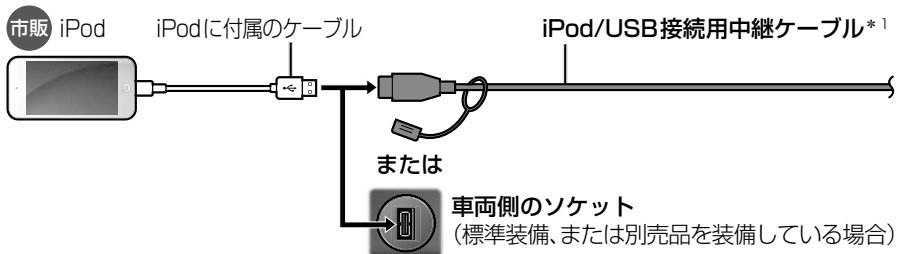
iPhone 11 Pro Max	iPhone 7	iPhone 5s
iPhone 11 Pro	iPhone 7 Plus	iPhone 5c
iPhone 11	iPhone SE	iPhone 5
iPhone XS Max	iPhone 6s	iPod touch 第6世代
iPhone XS	iPhone 6s Plus	iPod touch 第5世代
iPhone XR	iPhone 6	iPod nano 第7世代
iPhone X	iPhone 6 Plus	
iPhone 8		
iPhone 8 Plus		

最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

iPodを接続する

必ず付属のiPod/USB接続用中継ケーブルで接続してください。他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。

- コネクタの向きに注意して確実に差し込んでください。
- 正常に動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再接続してください。



- *1 グローブボックス等から出ている付属のiPod/USB接続用中継ケーブルに接続してください。
(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

お願い

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- iPodのコネクターが、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続しないでください。
- 取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる（音飛びする）原因となります。
- iPodの説明書もよくお読みください。

お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをP.114のとおり接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「NaviCon®」、「Drive T@lker」*1を利用することはできません。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。
- iPodビデオ再生には対応していません。

*1 CN-RZ866 CN-RZ766W のみ

iPodを再生する

アルバムアートワーク

表示サイズは、iPodの仕様により異なります。

- 下記の場合は表示されません。



- ・アルバムアートワークがない
- ・アルバムアートワーク取得中
- ・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

※画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

iPod再生画面



オーディオチューン(P.118～123)

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

一時停止

⏸ を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

再生モード切換(リピート/シャッフル)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

🔁 を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。

リピートオール*1 → リピートトラック
← 通常再生 →

- * 1 リピートのしかたは、選曲方法(P.117)によって異なります。

順不同に再生(シャッフル)

🔀 を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。

シャッフルトラック*2 → シャッフルアルバム*3
← 通常再生 →

- * 2 リストの内容は、選曲方法(P.117)によって異なります。

- * 3 接続される機器により、シャッフルアルバムには切り換わらない場合があります。

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)
リストを絞って選曲することができます。

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲するリストを選ぶ

- ミュージック ● iTunesU
- ポッドキャスト ● Radio
- オーディオブック ● プレイリスト

※接続される機器により、表示内容が異なる場合があります。

3 項目を選んでリストを絞る

- **すべて** : 表示している全項目の下の階層を表示

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- **再生中画面** : iPod再生画面に戻る

表示内容を切り換える

- ☰ : 曲のリスト(左図)を表示*4
 - 曲を選ぶと、再生を開始します。
 - *4表示されるリストは、選曲方法(上記)によって異なります。
- 🎵 : 再生中の曲の情報を表示

iPod再生画面



ジャンル・アーティスト・アルバムのリストは、iPod再生画面からかんたんに表示させることができます。

- 🎵 : ジャンルのリストを表示
- 👤 : アーティストのリストを表示
- 📀 : アルバムのリストを表示



音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューン画面を表示する

情報・設定メニュー(P.25)から
オーディオチューンを選ぶ

オーディオチューン画面



お知らせ

- [FM/AM]、[CD]、[BLUETOOTH Audio]、[MEMORY MUSIC]、[SD(音楽)]、[USB(音楽)]、iPod から **Sound** を選んでも、オーディオチューン画面を表示します。

オーディオチューンのモードを選ぶ

CN-RZ866 **CN-RZ766W** のみ
用途に応じて、オーディオチューンのモード
を選んでください。

オーディオチューン画面(左記)から モードを選ぶ



- **高音質モード**[お買い上げ時の設定]
高音質でオーディオを楽しむのに
適したモードです。ハイレゾ音源
(FLAC、WAV) は、192 kHzの高音
質で再生されます。また、通常の音質
の音源も、補完してより自然な音で
再生できます。
(ビット・周波数拡張→P.120)
- **エフェクトモード**
様々な音響効果を楽しむのに適した
モードです。ハイレゾ音源(FLAC、
WAV)も、通常の音質(48 kHz)に
変換されて再生されます。

お知らせ

- オーディオチューンの設定は、高音質
モード・エフェクトモードで別に記憶され
ます。(FADE/BALANCE/イコライザー、
スピーカー設定を除く)

音響効果「音の匠」を設定する

レコーディングエンジニア集団 **MIXER'S LAB** が監修した音質で音楽を楽しめます。

1 オーディオチューン画面 (P.118) から、◀ ▶ で「音の匠」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
- **OFF** を選ぶと、設定が解除されます。

CN-RZ866

CN-RZ766W

高音質モード の場合

音の匠 ↔ OFF

エフェクトモード の場合

音の匠 ↔ DSP ↔ OFF

CN-RZ865

CN-RZ765W

音の匠 ↔ DSP ↔ OFF

2 ◀ ▶ でサラウンドを選ぶ

[お買い上げ時の設定: 匠 TAKUMI マスターサウンド]



● 「匠 TAKUMI マスターサウンド」

レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。(2 wayスピーカー向き)

● 「極 KIWAMI 高域強調」

音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード (フルレンジスピーカー向き)

● 「和 NAGOMI 会話重視」

人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

音場「DSP」を設定する

CN-RZ866 **CN-RZ766W** は、**エフェクトモード** で設定できます。疑似再現したい音場を設定してください。

1 オーディオチューン画面(P.118)から ◀▶で「DSP」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
音の匠 ↔ DSP ↔ OFF

2 ◀▶で音場を選ぶ

[お買い上げ時の設定：HALL]



- H A L L：コンサートホール風の音場
- STADIUM：スタジアム風の音場
- CHURCH：教会風の音場
- L I V E：ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

音源を補完して、より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)

CN-RZ866 **CN-RZ766W** のみ、**高音質モード** で設定できます。

オーディオチューン画面(P.118)から ビット・周波数拡張ONを選ぶ



- ビット・周波数拡張がONになります。
- OFFを選ぶと、設定が解除されます。
[お買い上げ時の設定：OFF]

お知らせ

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源(FLAC、WAV)を再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

FADE/BALANCEを調整する

- オーディオチューン画面(P.118)からFADE/BALANCEの状態表示部をタッチする



- ▲▼◀▶で出力レベルを調整する
[お買い上げ時の設定: センター(0)]



- 車室内のイメージを直接タッチして調整することもできます。
- **センター**を選べると、値が0になります。

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

- オーディオチューン画面(P.118)から車速連動VOL補正の程度を選ぶ
[お買い上げ時の設定: MID]



- **HIGH** **MID** **LOW** **OFF**
(補正大) (補正中) (補正小) (補正なし)

Gracenote®をアップデートする

- オーディオチューン画面(P.118)からgracenoteを選ぶ



- Gracenoteをアップデートする

- **定期更新**→P.106
ローカルアップデート(定期更新)を選ぶ
- **個別更新**→P.107
カスタムアップデート(個別更新)を選ぶ
- **データベースの初期化**
初期化▶はい▶はいを選ぶ

- ローカルアップデート・カスタムアップデートの内容がすべて削除されます。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

イコライザーの設定をする

イコライザープリセットを切り換える

あらかじめ設定されている内容呼び出して、かんたんにイコライザーを調整できます。

オーディオチューン画面(P.118)から、呼び出したいイコライザープリセットを選ぶ



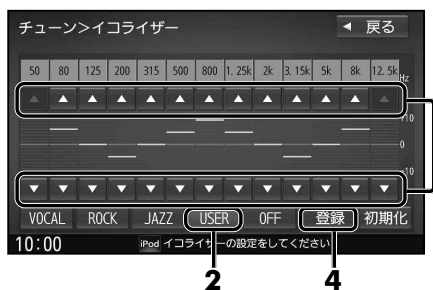
- **VOCAL**: 中音域から高音域にかけて強調した音質
- **ROCK**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- **JAZZ**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- **USER**: お好みで調整した音質(下記)
- **OFF**: ±0のフラットな音質

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

イコライザーを詳細に設定する

イコライザーを、お好みの数値に設定することができます。



1 オーディオチューン画面(P.118)からイコライザープリセットの**詳細**を選ぶ

2 **USER**を選ぶ

- **初期化**: 選んだイコライザーの設定をお買い上げ時の状態に戻す
- **VOCAL** **ROCK** **JAZZ**を選ぶと、選んだ項目の詳細設定ができます。(OFFは詳細設定できません。)

3 各周波数の値を▲ ▼で設定する

4 **登録**を選ぶ

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

「R(リバース)」時に音量を下げる

カメラ接続時のみ設定できます。

カメラを接続している車両のシフトレバーを「R(リバース)」にしたときに、車両からの注意喚起の音などを聞こえやすくするため、オーディオの音量を下げます。

1 オーディオチューン画面(P.118)から**詳細設定**を選ぶ



2 リバース時のAudio音量**ダウン**するを選ぶ

- **しない**を選ぶと、設定が解除されます。
[お買い上げ時の設定: する]



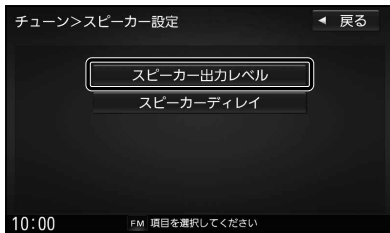
スピーカーの設定をする

スピーカー出力レベルの調整をする

- 1 オーディオをFMまたはAMに切り換える
- 2 放送局がない周波数に合わせる
 - ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。
- 3 オーディオチューン画面(P.118)から**スピーカー設定**を選ぶ



- 4 スピーカー設定画面から**スピーカー出力レベル**を選ぶ



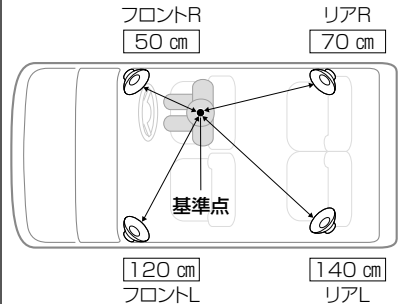
- 5 ◀▶で各スピーカーの出力レベルを調整する

- 調整範囲: $-12\text{ dB} \sim \pm 0\text{ dB} \sim +12\text{ dB}$
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。

[太字:お買い上げ時の設定]

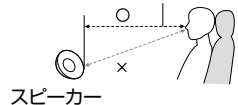
スピーカーディレイを設定する

- 1 スピーカー設定画面(左記)から**スピーカーディレイ**を選ぶ
- 2 ◀▶で各スピーカーの距離を調整する
 - 調整範囲: $0\text{ cm} \sim 100\text{ cm} \sim 500\text{ cm}$ (2 cm刻み)
 - 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出カタイミングを遅らせます。(10 cmあたり約0.3 ms)



- 視聴位置を基準点としてください。
- 距離は、水平に計測してください。

この距離を測定する 基準点



映像を調整する

画質を調整する

1 画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、**[MAP]** を2秒以上押す

2 **[TV]** **[DVD]** **[SD(動画)]** **[USB(動画)]** **[VTR]** **[HDMI*1]** の場合のみ

画面調整画面から**画質調整**を選ぶ



3 画質調整画面から画質を調整する



- 明るさ
 - : 明るくなる
 - : 暗くなる
- コントラスト
 - : 明暗の差が大きくなる
 - : 明暗の差が小さくなる
- 色の濃さ*2
 - : 濃くなる
 - : 薄くなる
- 色合い*2
 - : 緑みが強くなる
 - : 赤みが強くなる

お買い上げ時の設定に戻すには

初期値を選ぶ

お知らせ

- もとの映像によっては、明るい部分の諧調表現がつぶれる場合があります。

*1 **[CN-RZ866]** **[CN-RZ766W]** のみ

*2 ナビゲーション画面では調整・設定できません。

映像の画面表示サイズを切り換える

画面調整画面(上記)から画面表示サイズを選ぶ

[お買い上げ時の設定: フル]

- ノーマル** 4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)
 - 16:9の映像は、横方向に圧縮されます。
- フル** 映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面(どの位置も伸ばす比率は同じ)
- ワイド** 16:9(横:縦)の画面(左右が少し黒くなる)
 - 4:3の映像は、横方向に引き伸ばされます。

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、**TV** **DVD** **SD(動画)** **USB(動画)** **VTR** **HDMI***の映像を表示できます。

* 1 **CN-RZ866** **CN-RZ766W**のみ

1 現在地画面で

LAUNCHERを選ぶ

2 ランチャーメニューから

右画面表示を選ぶ

3 右画面表示設定画面から

デュアルウィンドウ▶**OK**を選ぶ

- 現在地画面にオーディオ映像が表示されます。



- 右画面(オーディオ画面)をタッチすると、オーディオが全画面表示されます。

お知らせ

- ナビ設定からも、デュアルウィンドウの設定ができます。(P.168)

デュアルウィンドウを解除するには

1 現在地画面で

LAUNCHERを選ぶ

2 ランチャーメニューから

右画面表示を選ぶ

3 右画面表示設定画面から

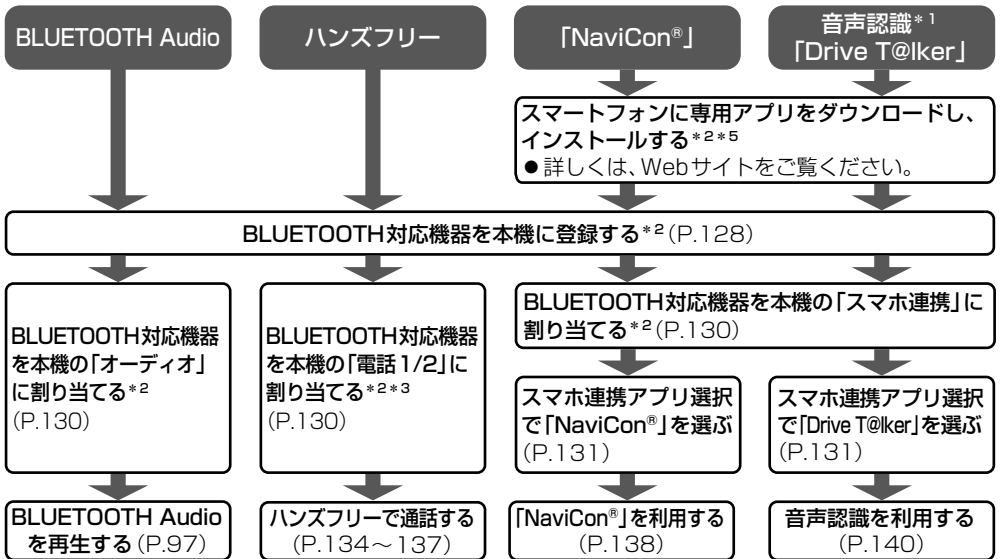
OFF▶**OK**を選ぶ

- デュアルウィンドウが解除されます。

お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は非表示になります。
地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 下記の画面を表示中は、オーディオ映像は表示されません。
 - ・拡大図(P.32)表示中
 - ・地図モード画面(P.36)
 - ・渋滞・規制情報の割り込み表示中(P.76、77)
- 現在地画面のオーディオ映像は、表示位置の変更ができません。

ご利用の流れ



- BLUETOOTH対応機器は5台まで登録可能です。接続台数は右記のとおりです。
- すでに最大数登録しているときは、不要な登録データを削除してください。(P.129)

機器	接続台数
ハンズフリー用携帯電話	2台*4
BLUETOOTH Audio機器	1台
スマートフォン連携機器	1台

- 適合機種については、Webサイト (<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>) をご覧ください。
- 操作方法は対応機器によって異なります。詳しくは、BLUETOOTH対応機器の説明書をご覧ください。

本機で利用できるプロフィールについて

サービス	プロフィール	
ハンズフリー	ハンズフリー通話	Hands-Free Profile (HFP)
	電話帳転送	Object Push Profile (OPP) Phone Book Access Profile (PBAP)
BLUETOOTH Audio*6	Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)	
[NaviCon®]*5	Serial Port Profile (SPP)	
音声認識 [Drive T@lker]*1*5	Serial Port Profile (SPP) Hands-Free Profile (HFP)	

*1 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ

*2 初回利用時のみ

*3 携帯電話は、2台まで自動で「電話1」または「電話2」に割り当てられます。

すでに2台割り当てられている場合は、手動で「電話1」または「電話2」を選んで割り当ててください。

*4 2台同時に通話することはできません。

*5 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

*6 本機は、SBC、AACのオーディオコーデックに対応しています。

BLUETOOTH®

BLUETOOTH通信を利用して、BLUETOOTH Audio (P.97)、ハンズフリー通話 (P.134)、NaviCon® (P.138)、音声認識*¹ (P.140)の機能を利用できます。

登録・接続

BLUETOOTH対応機器を 本機に登録する	128
BLUETOOTH対応機器の 登録データを削除する	129
地図画面のハンズフリー状態表示	129
BLUETOOTH対応機器を 本機に割り当てる	130
BLUETOOTHの接続設定をする	131
スマートフォン連携で使用する アプリを選択する	131
BLUETOOTH対応機器の 詳細情報を見る	132
本機の本体情報を見る	133
本機のデバイス名とパスキーを 変更する	133

ハンズフリー

ハンズフリーで通話する	134
電話がかかってきたら	134
通話中の操作	134
電話番号を入力して電話をかける	135
リダイヤルする	135
発着信履歴から電話をかける	135
アドレス帳に登録する	136
アドレス帳から電話する	136
アドレス帳を削除する	137
ハンズフリー通話の設定をする	137

スマートフォン

NaviCon®を利用する (スマートフォン連携)	138
「NaviCon®」とは	138
「NaviCon®」を利用する	138

音声認識

音声認識で目的地を検索する	140
「Drive T@lker」とは	140
「Drive T@lker」を利用する	140
いろいろな音声認識 (例)	141
検索結果画面の操作のしかた	141

BLUETOOTH対応機器を 本機に登録する

初回利用時のみ必要な設定です。

本機での操作

1 情報・設定メニュー(P.25)から
システム設定を選ぶ

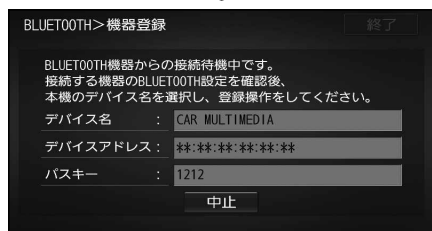
2 システム設定画面から
BLUETOOTHを選ぶ

3 BLUETOOTH設定画面から
機器登録を選ぶ



4 (すでにBLUETOOTH対応機器が本機にBLUETOOTH接続されている場合)
はいを選ぶ

- 端末登録設定画面が表示されます。
- BLUETOOTH対応機器と本機とのBLUETOOTH接続がすべて切断され、機器登録後に再度接続されます。



BLUETOOTH対応機器での操作

5 周辺のBLUETOOTH対応機器
(本機)を探す

- 周辺のBLUETOOTH対応機器が検索され、登録機器リストが表示されます。

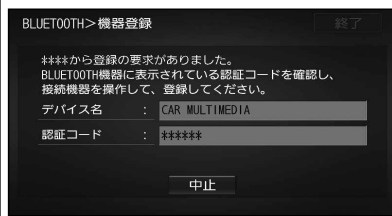
6 本機のデバイス名を選ぶ

- お買い上げ時の設定:
CAR MULTIMEDIA

7 (パスキー入力画面が表示された場合のみ)
本機のパスキー(P.133)を
BLUETOOTH対応機器に入力する

- お買い上げ時の設定
・パスキー: **1212**
BLUETOOTH対応機器によっては、この操作は必要ありません。

以下の画面が表示された場合は、
認証コードを確認し、接続機器を操作
して、登録してください。



BLUETOOTH対応機器が本機に登録されます。

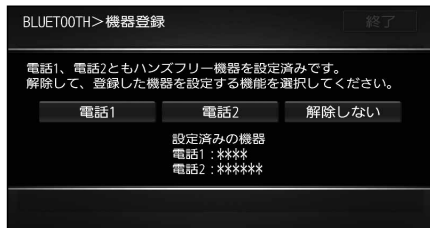
- 携帯電話を登録した場合は、自動的に「電話1」または「電話2」に割り当てられます。

お知らせ

- BLUETOOTH設定画面は、下記の方法でも表示できます。
 - ・ ツートップメニューから **ハンズフリー** ▶ **設定** を選ぶ
 - ・ BLUETOOTH Audio 機器が登録されていない状態で、BLUETOOTH Audio 画面から **設定** を選ぶ

■すでにハンズフリー用携帯電話が設定されている場合

「電話1」「電話2」ともに携帯電話が割り当てられている場合は、以下の画面が表示されます。



電話1または電話2を選ぶ

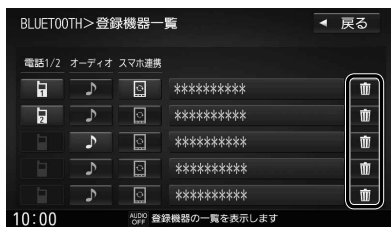
- すでに登録されている携帯電話の割り当てを解除して、新たに登録した携帯電話を登録します。解除しても携帯電話の登録は残ります。
- 解除しないを選ぶと、すでに登録されている携帯電話の割り当ては解除せず、新たな携帯電話の登録のみを行います。

BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する

一度削除するともとに戻せません。
(再登録が必要になります。)
削除は十分確認のうえ行ってください。

1 BLUETOOTH設定画面 (P.128) から登録機器一覧を選ぶ

2 登録機器一覧画面から削除したい機器の [ゴミ] を選ぶ



3 はいを選ぶ

- 削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- 再登録する場合には、BLUETOOTH対応機器側の登録も解除してください。

地図画面のハンズフリー状態表示

BLUETOOTHの接続設定 (P.131) が「する」に設定されていると、ハンズフリー接続中の携帯電話 (電話1/電話2) の状態が地図画面に表示されます。

- 「電話1」の状態
- 「電話2」の状態

BLUETOOTH接続状態

- ・接続中 — [アイコン]
- ・非接続中 — [アイコン]

電波状態*1*2

電波状態のレベルを表示

電池残量*1*3

電池残量 (目安) を表示

- *1 携帯電話の表示とは異なる場合があります。
- *2 サービスエリア外、電波の届かない場所、機内モードに設定時などの場合は表示されません。
- *3 機種によっては表示されない場合があります。

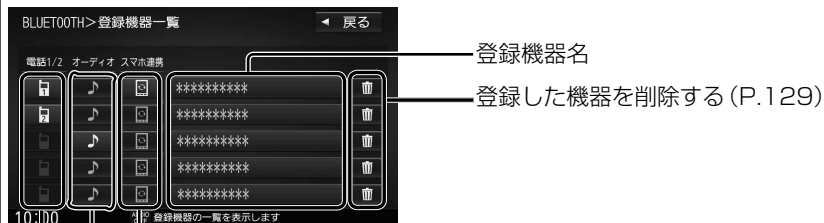
BLUETOOTH対応機器を 本機に割り当てる

準備

- スマート連携用のスマートフォンを割り当てる場合は、あらかじめ専用アプリケーション(無料)の「NaviCon®」(P.138) / 「Drive T@lker」(P.140)をインストールして、起動してください。

1 BLUETOOTH設定画面(P.128)から **登録機器一覧**を選ぶ

2 登録機器一覧から割り当てたい機器のアイコンを選ぶ



ハンズフリー用の携帯電話 2台まで割り当てられます。 BLUETOOTH Audio機器 1台まで割り当てられます。 スマホ連携機器*¹ 1台まで割り当てられます。

- 選んだ機器が割り当てられます。
- 割り当てが完了するまで、約20秒かかります。
- すでに機器が割り当てられているところに、別の機器を割り当てると、前の機器は解除されます。

解除するには

登録機器一覧(上記)から割り当て中の機器を選ぶ

- 解除されます。

接続確認案内の設定をするには

本機の電源がONになったとき、割り当てられた携帯電話に接続できなかった場合に、「携帯電話が接続されていません。携帯電話を忘れていませんか?」と案内されます。案内されるまでの時間は、割り当てた携帯電話の台数により異なります。

1 BLUETOOTH設定画面(P.128)から **接続設定**を選ぶ

2 接続設定画面から、接続確認案内の **する / しない**を選ぶ

* 1 スマートフォン連携で使用可能なアプリは以下のとおりです。

CN-RZ866 **CN-RZ766W** : 「NaviCon®」 / 「Drive T@lker」

※使用するアプリを選択してください。(P.131)

CN-RZ865 **CN-RZ765W** : 「NaviCon®」のみ

※使用するアプリを選択する必要はありません。

BLUETOOTHの接続設定をする

1 BLUETOOTH設定画面 (P.128) から **接続設定** を選ぶ

2 接続設定画面から、**BLUETOOTHの**する**** を選ぶ

- お買い上げ時の設定：する
- **しない** を選ぶと、BLUETOOTH接続を解除します。



お知らせ

- 接続を解除しても、登録機器からは削除されません。

スマートフォン連携で使用する **アプリを選択する**

CN-RZ866 **CN-RZ766W** のみ

1 情報・設定メニュー (P.25) から **スマホ連携アプリ選択** を選ぶ

2 設定したいスマホ連携アプリを選ぶ



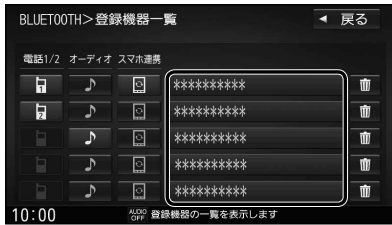
お知らせ

- BLUETOOTH設定画面 (P.128) から、**スマホ連携アプリ選択** を選べます。

BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る

1 BLUETOOTH設定画面 (P.128) から登録機器一覧を選ぶ

2 情報を見たい機器を選ぶ



● 詳細情報を表示

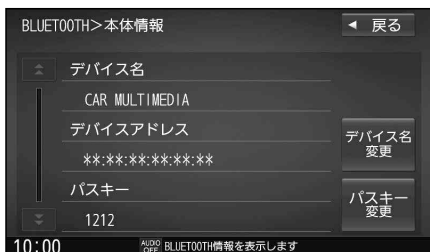


項目	内容
デバイス名	BLUETOOTH対応機器の名称を表示
デバイスアドレス	BLUETOOTH対応機器の固有のデバイスアドレス(12桁の英数字)を表示
対応サービス	本機が対応しているBLUETOOTH対応機器サービスを表示 <ul style="list-style-type: none"> ● プロファイルについては、P.126も併せてご覧ください。
自局番号	BLUETOOTH対応機器の自局の電話番号を表示

本機の本体情報を見る

BLUETOOTH設定画面 (P.128) から **本体情報** を選ぶ

- 本体情報画面を表示



項目	内容
デバイス名	本機の名称を表示
デバイスアドレス	本機固有のデバイスアドレス (12桁の英数字) を表示
パスキー	本機のパスキーを表示

本機のデバイス名とパスキーを変更する

本体情報画面 (上記) から各項目を設定する

項目	設定内容/操作	
デバイス名 変更	本機のデバイス名を入力する [お買い上げ時の設定: CAR MULTIMEDIA] ● 半角英数24文字まで	決定 を選ぶ
パスキー 変更	パスキー (4~6桁の数字) を入力する [お買い上げ時の設定: 1212] ● 修正 : 1文字削除	

登録・接続

BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る / 本機の本体情報を見る

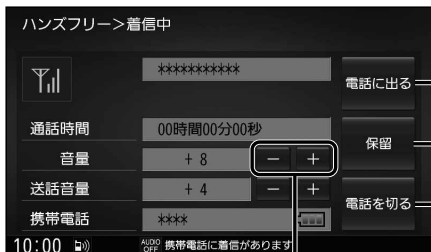
ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイクに向かって大きな声ではっきりと話してください。

電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。



着信音量を調整する

- +**: 音量が大きくなる
- : 音量が小さくなる

- 調整範囲: 1~15[お買い上げ時の設定: 8]

お知らせ

- 携帯電話の機種によっては、着信中に「電話を切る」を選んでも電話に出る場合があります。

電話に出る

電話に出る を選ぶ

- 通話を開始します。

応答保留する * 1

保留 を選ぶ

- 「通話」を選ぶと通話を開始します。

* 1 電話機側が対応している場合のみ

電話に出ずに切る (着信拒否)

電話を切る を選ぶ

- 着信が切れます。

通話中の操作



受話音量を調整する

- +**: 音量が大きくなる
- : 音量が小さくなる

- 調整範囲: 1~15[お買い上げ時の設定: 8]

送話音量を調整する

- +**: 音量が大きくなる
- : 音量が小さくなる

- 調整範囲: 1~7[お買い上げ時の設定: 4]

送話音を消音する

ミュート を選ぶ

- 「通話」を選ぶと、解除されます。

通話を携帯電話に切り換える

携帯電話切換 ▶ はい を選ぶ

- 「ハンズフリー切換 ▶ はい」を選ぶと、ハンズフリー通話に戻ります。

トーン信号(ピッポッパ)を送る

1 トーン を選ぶ

2 数字を選び、トーン信号を送る

- プッシュホンサービスなどを利用できます。

電話を切る

電話を切る を選ぶ

- 通話を終了します。

お知らせ

- 携帯電話を待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- 携帯電話によっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機とBLUETOOTH接続中に、携帯電話を操作して電話をかけても（電話に出ても）ハンズフリー通話になる場合があります。

電話番号を入力して電話をかける

- 1 ツートップメニュー (P.24) から
ハンズフリー を選ぶ

- 2 ハンズフリー画面から
携帯電話 (**電話1** / **電話2**) を選び、
ダイヤル を選ぶ



- 3 電話番号を入力し、**発信** を選ぶ



- 入力した電話番号に電話をかけます。
- 修正**: 1文字削除

リダイヤルする

- 1 ハンズフリー画面 (左記) から
携帯電話 (**電話1** / **電話2**) を選び、
リダイヤル を選ぶ

- 2 **はい** を選ぶ

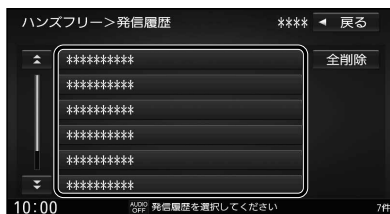
- 前回発信した相手にリダイヤルします。

発信履歴から電話をかける

- 1 ハンズフリー画面 (左記) から
携帯電話 (**電話1** / **電話2**) を選び、
発信履歴 (**着信履歴**) を選ぶ

- 発信履歴 (または着信履歴) のリスト
が表示されます。

- 2 リストからかける相手を選ぶ



- 全削除**: 履歴をすべて削除

- 3 **発信** を選ぶ



- 電話をかけます。
- 削除**: 選んだ履歴を削除

ハンズフリーで通話する

アドレス帳を登録する

- 1 ハンズフリー画面 (P.135) から携帯電話 (電話1/電話2) を選び、**携帯メモリ読み出し** を選ぶ

- 2 ■PBAP接続に対応していない携帯電話の場合
はい を選ぶ

携帯電話を操作して電話帳データを転送します。本機にすでに電話帳データが保存されている場合、**追加保存/上書き保存** を選んでください。

- **追加保存** : 登録済みの電話帳データを残して追加登録
- **上書き保存** : 登録済みの電話帳データを削除して新たに登録

■PBAP接続の場合

携帯電話でPBAP転送の許可操作を行ってください。

- 全件の電話帳が転送されます。
- 自動で上書きされます。追加登録はできません。

- 3 **終了** を選ぶ

- アドレス帳の登録が完了します。

お知らせ

- 本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)を編集することはできません。電話帳の内容を変更するときは、編集したい通話先をいったん削除 (P.137) し、携帯電話で編集のうえ、再登録してください。
- BLUETOOTH接続している携帯電話の電話帳から転送した分の登録データのみ使用できます。(BLUETOOTH接続している携帯電話以外のデータは表示されません。)
- 電話1台につき最大1500件まで登録できます。また、1件につき電話番号を2つまで登録できます。

アドレス帳から電話する

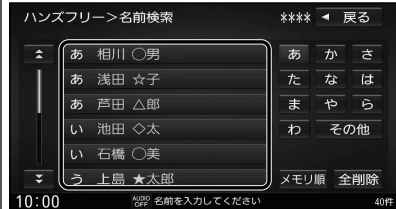
準備

携帯電話のアドレス帳を転送して本機に登録してください。(左記)

- 1 ハンズフリー画面 (P.135) から携帯電話 (電話1/電話2) を選び、**アドレス帳** を選ぶ

- 2 アドレス帳から、相手を選ぶ

名前順リスト



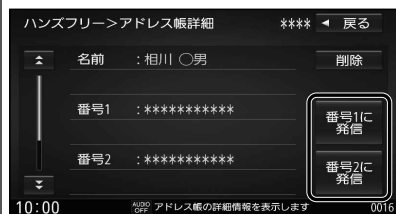
- **あ〜わ** : 選んだ読み方に移動
- **その他** : アルファベット・数字などで始まる名称に移動
- **メモリ順** : メモリ番号順に切り換え

メモリ番号順リスト



- **1〜0** : メモリ番号を入力
- **修正** : 1文字削除
- **名前順** : 名前順に切り換え

- 3 **番号1に発信** (または **番号2に発信**) を選ぶ



- 選んだ番号に電話をかけます。

アドレス帳を削除する

1 1件削除する場合

- 1 アドレス帳(P.136)から削除したいアドレスを選ぶ

- 2 **削除**を選ぶ



- 3 **はい**を選ぶ

- 選んだアドレスが削除されます。

全件削除する場合

- 1 アドレス帳(P.136)から**全削除**を選ぶ

- 2 **はい**を選ぶ

- すべてのアドレスが削除されます。

ハンズフリー通話の設定をする

- 1 BLUETOOTH設定画面(P.128)から**通話設定**を選ぶ

- 2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作
着信音量	■/■ で調整する ● 調整範囲: 1~8~15
受話音量	■/■ で調整する ● 調整範囲: 1~8~15
送話音量	■/■ で調整する ● 調整範囲: 1~4~7
ノイズキャンセル	[O N]: ノイズキャンセルを有効にする [O F F]: ノイズキャンセルしない
通話中の着信拒否	[す る]: 本機に携帯電話が2台接続されているとき、片方の携帯電話で通話中(または発信中・着信中)のときに、もう一方の携帯電話に着信があっても着信拒否する [しない]: 通話中の着信を拒否しない
自動応答保留	[す る]: 着信が入ると、自動的に応答保留する [しない]: 自動応答保留しない

NaviCon[®]を利用する(スマートフォン連携)

「NaviCon[®]」とは

NaviCon[®]は多彩な連携アプリで探した行き先をワンタッチで本機に転送し、目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。

- 入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。
NaviCon[®]サポートサイト：<https://navicon.com/>

準備

- スマートフォンにアプリ「NaviCon[®]」をインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機に機器登録してください。(P.128)
- スマートフォンを「スマホ連携」に割り当ててください。(P.130)
- **CN-RZ866** **CN-RZ766W** は、スマホ連携アプリ選択で **NaviCon** を選んでください。(P.131)

お知らせ

- 通信費用はお客様のご負担となります。
- iPodまたはiPhoneをP.114の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで「NaviCon[®]」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

「NaviCon[®]」を利用する

「NaviCon[®]」で検索した地点を本機に送信する

スマートフォンでの操作

「NaviCon[®]」から、地点を検索し、目的地として本機に送信する

本機で地点情報を受信し、全ルート図が表示されます。(P.51)

「NaviCon[®]」のルート探索について

- 現在地がルートの出発点に設定されます。
- 探索条件 (P.62)「おまかせ」で探索されます。
- ルートが設定されている場合は、前のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の目的地履歴 (P.52) に保存されます。登録地 (P.69) には保存されません。

「NaviCon®」で本機の地図の位置を変更する

1 本機での操作

現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンでの操作

「NaviCon®」の地図をスクロールする

「NaviCon®」でスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

「NaviCon®」で本機の地図の縮尺を変更する

1 本機での操作

現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンでの操作

「NaviCon®」の地図の縮尺を変更する

本機の地図の縮尺が、「NaviCon®」で変更した縮尺に切り換わります。

「NaviCon®」での地図操作(位置・縮尺の変更)について

- 縮尺は、5 m/12 m/25 m/50 m/100 m/200 m/500 m/1 km/2.5 km/5 km/10 km/25 km/100 km/250 kmのいずれかに切り換わります。
- 「NaviCon®」で5 mよりも詳細な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は5 m縮尺に切り換わります。
- 「NaviCon®」で250 kmよりも広域な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は250 km縮尺に切り換わります。

音声認識で目的地を検索する

「Drive T@lker」とは

音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、「行き先を設定」できます。

- 入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。

<http://car.panasonic.jp/car/navi/drivetalker/>

準備

- アプリ「Drive T@lker」をスマートフォンにインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機に機器登録してください。(P.128)
- スマートフォンを「スマホ連携」に割り当ててください。(P.130)
- スマホ連携アプリ選択で「Drive T@lker」を選んでください。(P.131)




お知らせ

- 通信費用はお客様のご負担となります。
- iPodまたはiPhoneをP.114の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで音声認識を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

「Drive T@lker」を利用する

1 本体の「MENU」を1秒以上押して、音声認識を起動する


下記の操作でも起動できます。


- ツートップメニュー (P.24) から  を選ぶ
- ランチャーメニュー (P.38) から **音声認識** を選ぶ
- ステアリングスイッチの  または  を押す (タイプA、タイプCの場合→P.226)


2 マイクに発声して、音声で操作する


- 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。

例：


 こんにちは。どちらまで行きますか？


 近くのガソリンスタンド


 この付近のガソリンスタンドをお調べします。


 20件のガソリンスタンドが見つかりました。近い順に
1. ○○石油××SS/2. △△石油××SS/3. □□石油××SS です。

- 検索結果画面 (P.141) が表示されます。

 3番*1

 □□石油××SSを目的地に設定しますか？

 はい、一般優先で*2

 □□石油××SSを目的地に設定します。一般優先で探索します。

凡例



利用者の音声操作




本機の音声案内

*1 「□□石油××SS」と名称で選択することもできます。

*2 「電話をかける」と発声すると、選択した施設に電話をかけることができます。

運転者以外が音声認識をする場合は

アプリの  をタッチして、スマートフォンのマイクに向かって発声してください。
詳しくは、アプリのヘルプなどをご覧ください。

いろいろな音声認識(例)

■ 周辺の施設を検索する



新横浜駅周辺のファミレス

■ 住所から検索する



神奈川県横浜市都筑区
池辺町4261

■ 施設の名称から検索する



パナソニックセンター東京

■ 自宅を検索する



自宅に帰る

- 本機に登録した自宅を検索できます。

■ ルート沿いの施設を検索する



ルート沿いのコンビニ

■ 条件を詳細に設定する



横浜で
駐車場のあるイタリアンを
経由地に、一般道優先で

■ 検索をやりなおす

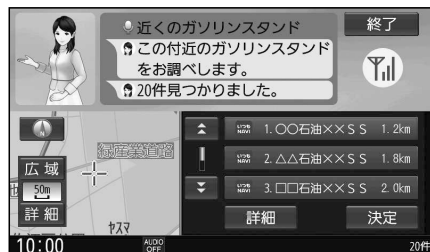


言い直し

- 番号の選択をやりなおすときは、番号を言いなおしてください。

検索結果画面の操作のしかた

音声認識で施設を検索すると、下記のような検索結果画面が表示されます。音声またはタッチ操作してください。



■ 施設の詳細情報を聞く



3番の詳細情報

- 施設名称・住所・情報が案内されます。
- 番号で選択してください。(詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。)

■ 次の候補に切り換える



次のページ

- 次の候補を3件表示します。

■ タッチ操作するには

リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- 現在地から選んだ施設までのルートを探します。
- **詳細**：施設の詳細情報を表示

お知らせ

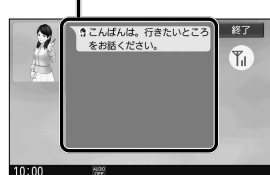
- 検索結果画面をタッチ操作すると、音声認識は終了します。以降の操作はタッチで行ってください。

認識率をよくするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

- 声が大きすぎると、枠の色が赤に変化します。
- 声が小さすぎると認識されません。
- 枠が表示されないときは、マイクの接続を確認してください。
- 車の窓を閉めてください。(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

枠(通常は緑で表示)



その他の機能

ecoドライブ機能を使う	144
ecoドライブ機能とは	144
ecoドライブを開始する	144
メンテナンス情報を設定する	145
地図更新について	146
無料地図更新サービス (Webダウンロード限定)	146
地図SDHCメモリーカードの出し入れ	147
バージョンアップする	148

別売品

VTR入力映像を見る	148
HDMI入力映像を見る	149
後席用のモニターで本機映像を見る	150
ヘッドアップディスプレイ連携	150
カメラと組み合わせる	151
カメラ使用時の留意点	151
全方位モニター	151
セレクトビューバックアイカメラ	151
バックアイカメラ	151
カメラ映像の画質を調整する	151
ETC車載器/ETC2.0車載器と 組み合わせる	152
ETCについて	152
ETC2.0について	152
料金履歴を見る	153
ETC管理情報を見る	153
ナビ連動ドライブレコーダーと 組み合わせる	154
著作権などについて	154
免責事項について	154
ドライブレコーダーの 各部のなまえとはたらき	155
microSDメモリーカードの出し入れ	156
ドライブレコーダーで使用できる SDメモリーカード	156
microSDメモリーカードの 取り扱いについて	156
ドライブレコーダーの 記録データについて	157
カメラの映像を確認する	158
加速度センサーを最適化する	159
ドライブレコーダーの設定をする	160
地図画面のドライブレコーダー 動作状態表示/ダイレクトボタン表示	162
常時録画(動画)	162
駐車録画(動画)	162
手動録画(動画)	163
静止画撮影	163
記録した映像(動画・静止画)を再生する	164
ファイルを保存フォルダへ移動する	166
ファイルを削除する	166

その他

設定

利用に応じた設定に変える	167
表示の設定をする	167
案内の設定をする	169
探索条件の設定をする	170
渋滞情報 (VICS) の設定をする	171
ETC の設定をする	171
システムの設定をする	172
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す ...	173

困ったとき

故障かな!?	174
● よくあるお問い合わせ	174
● 電源・共通	175
● ナビゲーション	177
● オーディオ [TV]	178
● オーディオ [FM/AM]	179
● オーディオ [DVD]	179
● オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/ [SD]/[USB]	180
● オーディオ [MEMORY MUSIC]	181
● オーディオ [iPod]	182
● BLUETOOTH	182
● 音声認識	186
● ナビ連動ドライブレコーダー	186
● こんなメッセージが出たときは	188
● 結露について	190
● 万一、故障や異常が起きたら	190

必要なとき

文字入力のしかた	191
テレビ・ラジオの受信について	192
ディスクについて	193
お手入れ	195
SDメモリーカード・ USBメモリーについて	196
データ作成時の留意点	197
BLUETOOTHについて	201
DVD言語コード一覧表	202
ナビゲーションシステムとは	203
VICSについて	206
地図ソフトについて	208
ジャンル一覧	212
さくいん	214
商標・ライセンスなど	218
ソフトウェア、および オープンソースソフトウェア について	220
仕様	222
保証とアフターサービス	225
ステアリングスイッチの操作について ...	226

ecoドライブ機能を使う

ecoドライブ機能とは

急加速・急減速・アイドリング・速度の情報をもとに、環境に優しい「エコドライブ」ができていないかどうか診断します。

お知らせ

- ドライブ診断の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

ecoドライブを開始する

1 情報メニュー(P.25)から

ecoドライブを選ぶ

2 ecoドライブ画面から

ecoドライブ開始を選ぶ



- ecoドライブの診断を開始します。

ecoドライブを中止するには

ecoドライブの診断中に、**ecoドライブ画面**(左記)から**ecoドライブ中止**を選ぶ

- ecoドライブの診断を中止します。



診断結果

エコマーク(🍃)が多いほど高評価です。
(「🍃🍃🍃🍃」が最高)

- **急加速**: 急加速を行うと、エコマークが減少
- **急減速**: 急減速を行うと、エコマークが減少
- **アイドリング**: 長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- **eco速度**: 高速度での走行が多いと、エコマークが減少

総合評価

- 診断結果をもとに、ecoドライブの総合評価がA(最高)～E(最低)の5段階で表示されます。

お知らせ

- ecoドライブ画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジン OFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- 「eco」(P.62)で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、ecoドライブの診断結果が悪くなる場合があります。
- 日付が変わり、本機の電源をOFFにした時点で、診断結果はリセットされます。

メンテナンス情報を設定する

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを、音声と画面で案内します。

1 情報・設定メニュー(P.25)から

システム設定を選ぶ

2 システム設定画面から

その他設定を選ぶ

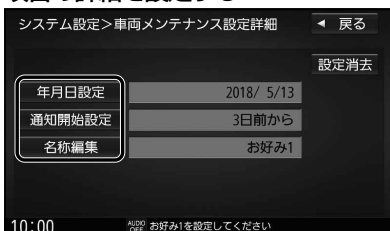
3 車両メンテナンスを選ぶ

4 車両メンテナンス画面から、案内をさせたい項目の**する**を選ぶ



- 以下の項目が設定できます。
[お買い上げ時の設定：しない]
 - ・エンジンオイル交換
 - ・オイルフィルタ交換
 - ・タイヤ交換
 - ・クリーンフィルタ交換
 - ・バッテリー交換
 - ・タイヤローテーション
 - ・お好み1*1
 - ・お好み2*1

5 車両メンテナンス設定詳細画面から、項目の詳細を設定する

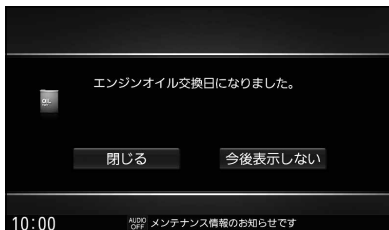


- 年月日設定**
メンテナンスする年月日を入力
- 通知開始設定**
メンテナンスの何日前に通知するかを設定
- 通知開始距離*2**
■/■で、メンテナンスの通知を開始する距離を設定
- 名称編集**
お好み1、お好み2の名称を編集

メンテナンス情報の案内について

通知開始設定の日になった、設定日当日になった、設定日をすぎた、または設定をした距離を走行した場合は、本機を起動したときにそれぞれの画面でお知らせします。

例：エンジンオイル交換



お知らせ

- 今後表示しない**を選ぶと、次回起動時からはお知らせしません。また、メンテナンス設定画面のお知らせ設定が**しない**に変更されます。
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

メンテナンス情報を解除するには

車両メンテナンス画面から、解除したい項目の**しない**を選ぶ

- 選んだ項目が解除されます。
- 車両メンテナンス設定詳細画面(左記)から、**設定消去**を選んで解除できます。

- *1 名称を変更して、お好みの項目を登録できます。
例：「車検」の年月日を案内させるなど
- *2 項目によっては、設定しない場合があります。

地図更新について

無料地図更新サービス(Webダウンロード限定)

本製品は、お客様ご自身で地図データをダウンロードする更新を最大5年間ご利用いただけます。

地図更新アプリ経由で、ナビcafeにユーザー登録をする際に、お申し込みください。
アプリは下記サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

- 「SDメモリーカードの送付」をご希望の場合は、別紙(本書のいったポリ袋内のチラシ)をご覧ください。
 - ・「SDメモリーカードの送付」を選択した場合は、Webダウンロード更新はご利用になれません。
- インターネットを利用できる環境などが必要です。詳しくは、Webサイトをご覧ください。
 - ・通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンではご利用になれません。
 - ・対応OSはWindows®のみです。

【申込受付期限】本製品の利用開始日から5年後まで

※Web申込が遅くなるとご利用いただける期間が短くなりますのでご注意ください。

【利用可能期間】本製品の利用開始日から5年間

※お申し込み日(Web申込)から5年間ではありません。
利用開始日から5年未満でも、データ提供期限にて終了します。

【データ提供期限】2026年12月31日まで

- 部分地図更新:最大5年間可能
(道路データは2カ月毎更新、索引データは4カ月毎更新、逆走検知データは年1回更新)
- 全 地 図 更 新:期間中2回可能(全更新データは年1回更新)
- 更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。
- 上記期間以降の更新は、年度更新版地図の販売をご利用ください。
(発売時期・販売方法については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。)

○ 更新されます × 更新されません

内容	方法	全地図更新 (地図の全データ)	部分地図更新 (全国の主要道路のみ)
道路地図(縮尺50m~250km) ※細街路含む。		○	○
案内画像(リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など)		○	○
音声案内		○	○
地点検索データ(施設情報・電話番号情報など)		○	○
逆走検知データ		○	○
市街地図		○	×

■ご利用の流れ

準備(初回のみ)

- Webサイトから地図更新アプリをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。

- 1 地図SDHCメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する。



- 2 地図更新アプリを起動し、Webサイトから地図データを地図SDHCメモリーカードに保存する。
※更新状況や通信環境などによっては、ダウンロードに数時間かかる場合があります。

- 3 地図更新が完了したら、地図SDHCメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する。

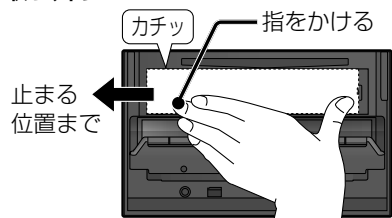
地図SDHCメモリーカードの出し入れ

取り出ししかた

1 TILT を押し、OPEN を選ぶ

- ディスプレイが開きます。

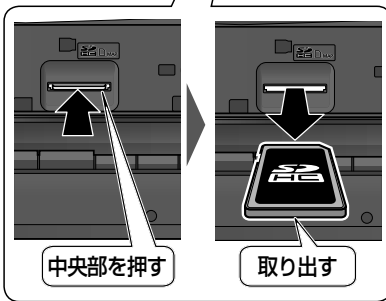
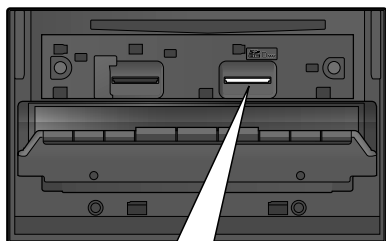
2 パネルを左にスライドさせ、取り出す



3 車のエンジンを切る (ACCをOFFにする)

- ディスプレイが開いたまま、電源が切れます。

4 地図SDHCメモリーカードを取り出す



そのまま地図更新を行ってください。

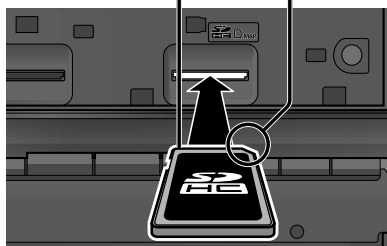
お知らせ

- 地図SDHCメモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。パネルが取り付けられていない状態では、ディスプレイが閉まりません。

挿入のしかた

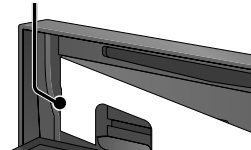
1 左記手順3の状態で、地図SDHCメモリーカードを挿入する

角がカットされた側を右に
ラベル面を上



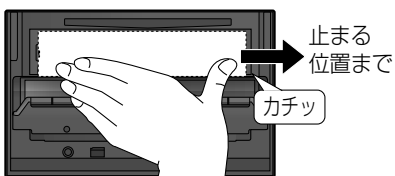
- カチッと音がするまで差し込みます。

2 パネルを本体の左端に合わせ、はめ込む



- パネル裏面の突起を、本体の孔にかみ合わせてください。

3 パネルを右にスライドさせ、取り付ける



4 ディスプレイを閉める

1 車のエンジンをかける (ACCをONにする)

2 確認を選び、TILT を押し

- ディスプレイが閉まります。

バージョンアップする

本機のソフトウェアをバージョンアップできます。

準備

- 下記サイトからダウンロードした更新プログラムが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.108)
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

1 情報・設定メニュー(P.25)から**システム設定**を選ぶ

2 システム設定画面から**その他設定**を選ぶ

3 **バージョンアップ**を選ぶ

4 **アプリケーション**を選ぶ

5 **はい**を選ぶ

- バージョンアップを開始します。

6 バージョンアップが完了したら、車のエンジンを止め(ACC OFF)、約10秒間放置してから、再度車のエンジンをかける(ACC ON)

- 本機が再起動します。

VTR入力の映像を見る

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

VTR出力が可能な機器(ナビ接続タイプのドライブレコーダーやビデオカメラなど)の映像を、本機に表示できます。

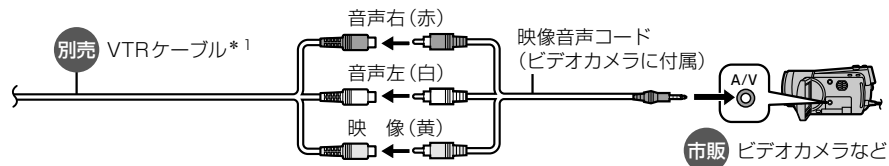
準備

- VTR出力が可能な機器を、本機に接続してください。
- 接続する機器に適合したケーブルをご使用ください。

オーディオメニュー(P.24)から**VTR**を選ぶ

- 接続した機器の映像・音声が出力されます。

■ビデオカメラを接続する場合(例)



* 1 グローブボックス等から出ているVTRケーブルに接続してください。
(ケーブルの設置場所は、車種により異なる場合があります。)

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

HDMI出力が可能なスマートフォン*¹やビデオカメラなどの映像を、本機に表示できます。

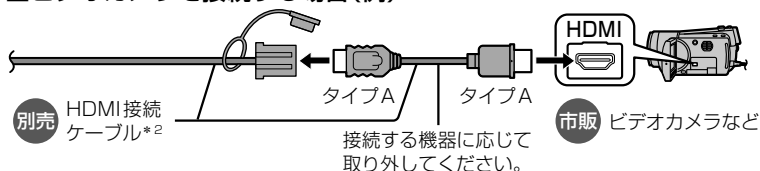
準備

- HDMI出力が可能な機器を、本機に接続してください。
- 接続する機器に適したケーブルや変換アダプターをご使用ください。

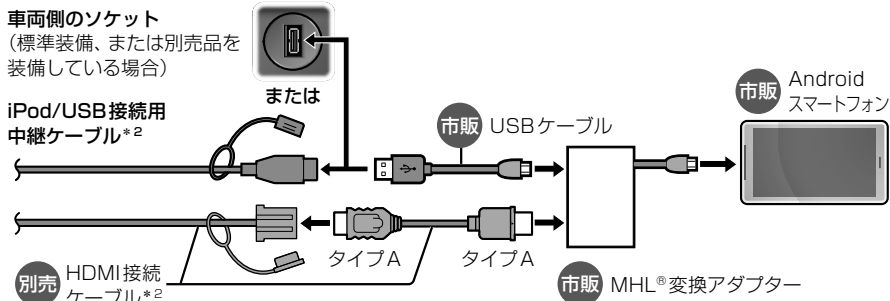
オーディオメニュー(P.24)からHDMIを選ぶ

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

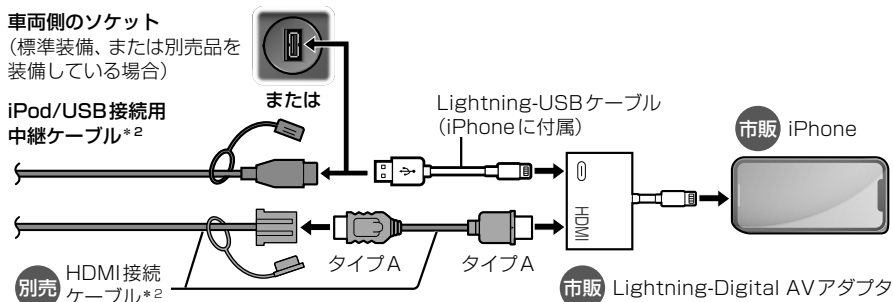
■ビデオカメラを接続する場合(例)



■Android[®]スマートフォンを接続する場合



■iPhoneを接続する場合



- *¹ ミラーリング(画面が共有できる機能)に対応しているスマートフォン
使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- *² グローブボックス等から出ているケーブルに接続してください。
(ケーブルの設置場所は、車種により異なる場合があります。)

後席用のモニターで本機の映像を見る

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像 (TV DVD VTR SD(動画) USB(動画)) を、後席用のモニターに表示できます。

準備

- 後席用のモニターを、本機が接続されている入力モード (「HDMI」, 「ビデオ入力」など) に切り換えてください。

オーディオを切り換える (P.80)

- 本機および後席用のモニターに、選んだ映像が表示されます。
- [MAP] を押すと、後席用のモニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席用のモニターには、走行中でも映像が出力されます。

お知らせ

- TV など、後席用のモニター以外の機器を接続することはできません。
- コピーガードがかかっている番組やDVDは、録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受信できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。

ヘッドアップディスプレイ連携

詳しくは、車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。

本機のルート案内の情報が、ヘッドアップディスプレイに表示されます。

● ヘッドアップディスプレイの画面 (例)



● ナビゲーションの画面 (例)



お知らせ

- 次のメッセージが表示された場合には、お買い上げの販売店に車両信号設定の確認をご依頼ください。
「車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。」

カメラと組み合わせる

詳しくは、車両のオーナーズマニュアルまたは接続したカメラの取扱説明書をご覧ください。
※カメラによっては、本書の説明どおりに操作できない場合があります。

カメラ使用時の留意点

- カメラは、運転者の注意義務を軽減するものではありません。運転の補助としてお使いください。
- カメラには死角(見えない部分)があります。また、カメラの映像は実際の形状とは異なって表示されます。後方/前方および周囲の安全は、必ず目視で確認してください。

全方位モニター

OPT は、カメラ側の説明書にある「カメラスイッチ」と同じ機能です。

後方の映像に切り換える

- 1 車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる
 - 後方のカメラの映像が表示されます。
- 2 **OPT** を押す
 - 押すごとに、表示が切り換わります。

前方の映像に切り換える

- 1 車のシフトレバーが「R(リバース)」以外のときに、**OPT** を押す
 - 前方のカメラの映像が表示されます。
- 2 **OPT** を押す
 - 押すごとに、表示が切り換わります。

■ もとの画面に戻すには

AUDIO / **MENU** / **MAP** のいずれかを押す

お知らせ

- ガイド線については、カメラ側の説明書をご覧ください。
- 次のメッセージが表示された場合には、お買い上げの販売店にカメラ設定の確認をご依頼ください。
「車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。」

セレクトビューバックアイカメラ

OPT は、カメラ側の説明書にある「ビュースイッチ」と同じ機能です。

- 1 車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる
 - カメラの映像が表示されます。
- 2 **OPT** を押す
 - 押すごとに、表示が切り換わります。

バックアイカメラ

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。

カメラ映像の画質を調整する

- 1 カメラ映像に切り換える
- 2 画質調整画面が表示されるまで **MAP** を2秒以上押す
- 3 画質を調整する (P.124)

ETC車載器/ETC2.0車載器と組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ETCについて

ETC車載器/ETC2.0車載器を接続すると、車載器からの情報に連動して、本機から料金案内や、料金所で支払った料金の履歴を見ることができます。

- ETCカードまたはETC一体型クレジットカードをご使用ください。
それ以外のカードを挿入すると、「ETCカードを確認してください。」と音声案内されます。
- カード入れ忘れ案内を「する」に設定してください。(P.171)
- ETCレーンの表示を「する」に設定してください。(P.169)

お知らせ

- 新しく設置されたETC料金所などでは、ETC拡大図が表示されない場合があります。
そのときは、音声案内のみ行います。
- ETCゲートを通過してすぐに右左折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。
- 万一、利用できない場合は、「ETCを利用できません。」と音声案内されます。
料金所に進入している場合、停車して料金所の係員の指示に従ってください。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。
- ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。
例：「ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。」
「ETCカードの有効期限が切れています。カードを確認してください。」
- カードの有効期限は必ずカードを直接ご確認ください。
- 有効期限の案内は、ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンをかける(ACCをONにする)と行われます。

ETC2.0について

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

VICS 情報提供サービス (ETC2.0) (P.74)

ITSスポット(道路に設置される路側無線装置)より電波ビーコン5.8 GHz VICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。

- 高速道路上のETC2.0ではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。(P.76)
- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P.76)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報*¹を考慮したルート探索ができます。

* 1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

ETC2.0アップリンク

ETC2.0車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をITSスポットへ送信することをいいます。

送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- アップリンクについては、ETC2.0車載器の説明書もご覧ください。
- ETC2.0アップリンクする/しないの設定ができます。(P.171)

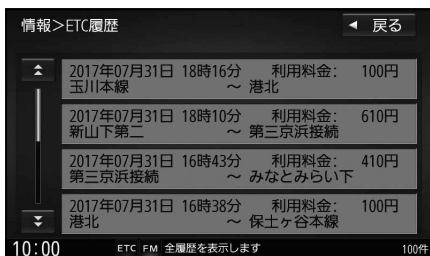
料金履歴を見る

1 情報メニュー(P.25)から
ETC情報を選ぶ

2 ETC情報画面から
ETC履歴を選ぶ



- ETC履歴画面が表示されます。
(履歴100件まで)
- 100件を超えると古い順に削除されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。



- : ページ切替

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。**ETC履歴**を選んでETC履歴画面(上記)が表示されるまでは、ETC車載器/ETC2.0車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

ETC管理情報を見る

1 情報メニュー(P.25)から
ETC情報を選ぶ

2 ETC情報画面から
ETC管理情報を選ぶ



- ETC管理情報が表示されます。



ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

各種設定や記録した映像(動画・静止画)の再生などを、本機で行うことができます。

ドライブレコーダーは車種ごとに最適な位置と角度に調整して設置されていますので、お客様ご自身での調整はおやめください。破損したりブザーが鳴り続ける場合があります。

- 必ずドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードを挿入してからご使用ください。
※ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード、またはドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDHCメモリーカードをご使用ください。
※microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、ドライブレコーダーで初期化してください。(P.161)
- 車のエンジンをかけた直後(ACC ON)やエンジンを切った直後(ACC OFF)は、ドライブレコーダーが動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- 推奨動作温度(-10℃~+60℃)の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 夜間のナビゲーション画面の光、ダッシュボードに反射した太陽光などがガラスに反射し、映像に映り込む場合があります。
- LED式信号機は、目に見えない速さで点滅しています。そのため、映像には信号機が点滅または消灯しているように見える状態で撮影される場合があります。映像から信号機の状態が判別できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状態などから状況を判断してください。
- LED式信号機などが点滅または消灯しているように見える状態で記録されても、当社は一切の責任を負いません。
- すべての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- microSDメモリーカードを挿入した状態で、ドライブレコーダーを譲渡または処分するときは、プライバシー保護のため記録データを消去してください。(全削除→P.166)

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- ドライブレコーダーを利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がドライブレコーダーを利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- ドライブレコーダーの使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことによりドライブレコーダーが正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDメモリーカードに記録されていたデータが変化・消失した場合

前方・後方録画対応の別体型ナビ連動ドライブレコーダーなど、本書で説明しているドライブレコーダー以外の操作については、接続したドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

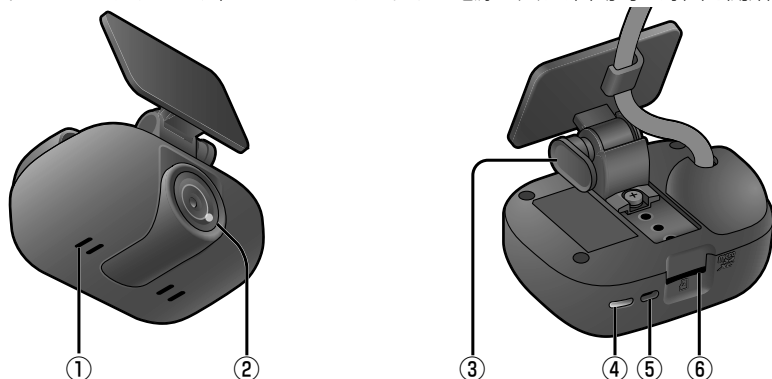
事故が起こったときは

記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDメモリーカードを取り出してください。

※ 取り出すときは、必ず車のエンジンを切り (ACC OFF)、LEDランプが消灯した状態をご確認ください。

ドライブレコーダーの各部のなまえとはたらき

電源ボタンはありません。車のエンジンをかけると電源が入り、自動的に録画を開始します。



①	マイク	● 動画録画時に、音声を録音します。
②	カメラ	● 動画録画・静止画撮影に用います。少ない光量でも録画・撮影ができます。
③	カメラロックレバー	● 上下の角度や前後の位置を調整するときに操作します。 ※調整するときは、必ずロックを解除し (レバーを上側に倒して押し込む)、調整を終えた後、必ず固定してください (押し込んだ指を離し、レバーを引き出して下側に倒す)。
④	LEDランプ	● ドライブレコーダーの状態がLEDで案内されます。 ・点灯 (緑色) : 録画中 ・点滅 (緑色) : 録画停止中 ・点灯 (赤色) : microSDメモリーカードが未挿入または異常状態 ・点滅 (赤色) : ドライブレコーダーが異常状態
⑤	スピーカー	● 起動時や急加速・急減速情報を記録したときなどにブザーが鳴ります。 ※音量は調整できません。
⑥	microSDメモリーカード挿入口	● ドライブレコーダーの映像・音声を記録するmicroSDメモリーカードを挿入します。

● 付属のmicroSD-SDアダプターは、必要に応じてパソコンなどで使用するときにご使用ください。

お願い

- カメラのレンズを手で触らないでください。
- ドライブレコーダーの角度や位置を調整した場合は、必ずドライブレコーダーの加速度センサーを最適化してください。(P.159)

お知らせ

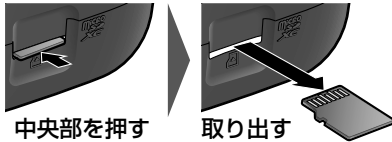
- 仕様については、P.224をご覧ください。

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

microSDメモリーカードの出し入れ

必ず車のエンジンを切り(ACC OFF)、LEDランプが消灯した状態で出し入れをしてください。

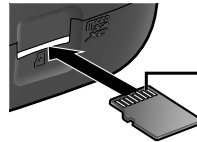
取り出ししかた



中央部を押す

取り出す

挿入のしかた



カチッと音がするまで
まっすぐに差し込む
端子側を上

ドライブレコーダーで使用できるSDメモリーカード

- microSDXCメモリーカード(Class6以上・64GB～128GB)*1*2
- microSDHCメモリーカード(Class6以上・8GB～32GB)*1*3
- *1 SD規格準拠カードのみ使用できます。
- *2 容量が256GB以上のmicroSDXCメモリーカードは使用できません。
- *3 容量が4GB以下のmicroSDメモリーカードは使用できません。

※本章では、上記のメモリーカードを「microSDメモリーカード」と表記しています。

※ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード、またはドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDHCメモリーカードを使用することをおすすめします。

お願い

- microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、ドライブレコーダーで初期化してください。(P.161「SDカードの初期化」)
※他の方法で初期化(フォーマット)しないでください。
- microSDメモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

お知らせ

- 規格に準拠したmicroSDメモリーカードでも、ドライブレコーダーでは使用できない場合があります。

microSDメモリーカードの取り扱いについて

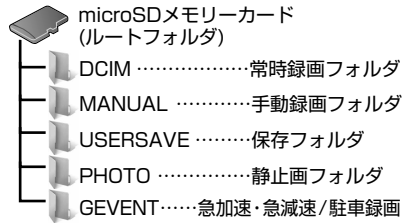
- データの読み書き(録画や再生、初期化など)をしているときに、microSDメモリーカードをドライブレコーダーから取り出さないでください。
- microSDメモリーカードの初期化中に車のエンジンを切らないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- microSDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSDメモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリーカードにシールやラベルを貼り付けしないでください。
- microSDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクター*1などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。ナビゲーションの起動時などに、microSDメモリーカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化または新しいmicroSDメモリーカード*2に交換することをおすすめします。

*1 長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域

*2 ドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDHCメモリーカード

ドライブレコーダーの記録データについて

■ **記録ファイルが保存される階層について**
 ドライブレコーダーで録画された動画および撮影された静止画は、microSDメモリーカードに右記の階層で保存されます。



お願い

- microSDメモリーカード内のフォルダ・ファイルの名称は、変更しないでください。

■ 記録できるファイル数について

常時録画ファイルは、microSDメモリーカードの空き容量がなくなるまで記録され、いっぱいになると古いファイルから順に自動削除されます。

他のファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が下記のとおり異なります。

容量	8 GB	16 GB (ドライブレコーダーに付属)	32 GB	64 GB	128 GB
ファイルの種類					
手動録画*1	15	30	60	120	240
保存データ*1	15	30	60	120	240
静止画*1	300	300	300	300	300
急加速・急減速/駐車録画*2	15	30	60	120	240

* 1 ファイル数が上限に達すると、それ以上記録できません。

* 2 ファイル数が上限に達すると、古いデータから順に自動削除されます。

■ 最大録画時間について

録画できる時間やファイルサイズは、画質の設定によって異なります。また、撮影状況によっても変化します。

画質	解像度*1	フレームレート	ファイルサイズ	最大録画時間*3
高画質	1 920 × 1 080	28 fps*2	約75 MB/1分	約190分
標準	1 280 × 720	14 fps	約25 MB/1分	約640分

* 1 手動撮影(静止画)の場合、設定した画質の解像度でJPEGとして記録されます。

* 2 駐車録画の場合、14 fpsで記録されます。この場合のファイルサイズは約60 MB/1分です。

* 3 ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード(16 GB)を使用した場合

パソコンでの再生について

ドライブレコーダーで記録した動画や画像は、パソコンで再生することができます。

推奨環境

- Microsoft® Windows® 8.1/10のいずれかを搭載していること
- ドライブレコーダーで動画の録画に使用したmicroSDメモリーカードを読み込むこと
 ※必要に応じて、ドライブレコーダーに付属のカードアダプターをご使用ください。
- 動画(MP4)および静止画(JPEG)が再生できること
 (再生ソフトによっては、再生できない場合があります。)

お願い

- microSDメモリーカードをパソコンで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

カメラの映像を確認する

通常は、この操作は必要ありません。

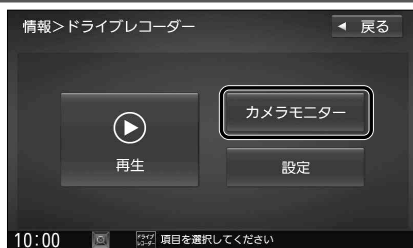
1 情報メニュー (P.25) から ドライブレコーダーを選ぶ

- ドライブレコーダー画面を表示します。



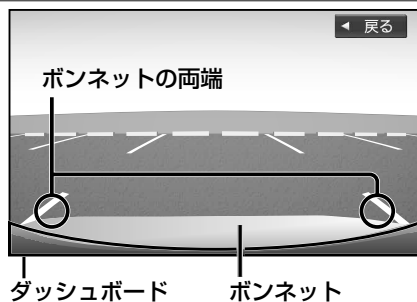
2 ドライブレコーダー画面から カメラモニターを選ぶ

- ドライブレコーダーのカメラの映像が表示されます。



3 映像が正しく映し出されていることを 確認する

- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



加速度センサーを最適化する

通常は、この操作は必要ありません。

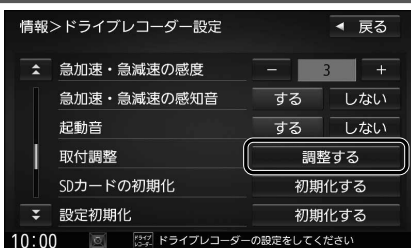
- ドライブレコーダーの取り付け後、および角度や位置を調整した場合に必ず行ってください。
- 走行中、急加速・急減速をお知らせするブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける（ピピピ…短く8回）場合は、加速度センサーの最適化を正しく行ってください。

最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われぬおそれがあります。

※必ずドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードが入っている状態で行ってください。

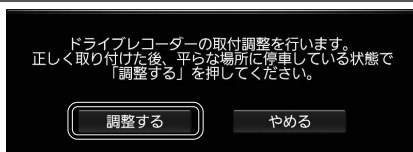
1 水平で、平らな場所に停車する

2 ドライブレコーダー設定画面(P.160)から 取付調整の**調整する**を選ぶ



3 **調整する**を選ぶ

- 最適化を開始します。
- 最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない（ACC OFFにしない）でください。



4 メッセージが表示されたら、**OK**を選ぶ



5 現在地画面を表示させ、ドライブレコーダーの動作状態が「常時録画中」であることを確認する (P.162)

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

ドライブレコーダーの設定をする

1 ドライブレコーダー画面から 設定を選ぶ



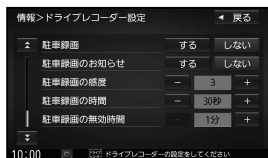
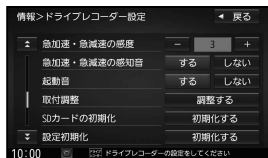
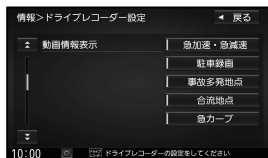
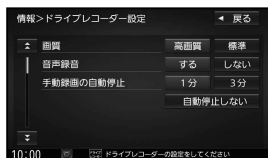
- 録画を停止し、ドライブレコーダー設定画面が表示されます。

2 ドライブレコーダー設定画面から 各項目を設定する(右記)

- で設定画面が切り換わります。

■ 設定項目一覧

ドライブレコーダー設定画面



[太字:お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作
画質	「 高画質 」:高画質で記録する 「標準」:標準の画質で記録する
音声録音	「 する 」:録画中、音声を録音する 「しない」:録画中、音声を録音しない
手動録画の自動停止	「 1分 」:手動録画開始後、1分で自動停止する 「 3分 」:手動録画開始後、3分で自動停止する 「自動停止しない」:手動録画時に自動停止しない
動画情報表示	記録ファイル再生中の動画情報表示について、「する/しない」を設定します。 ● 選ぶごとに、ON(する)/OFF(しない)が切り換わります。
急加速・急減速	急加速・急減速した場面で、動画情報を表示「 する 」(ON)/「しない」(OFF)
駐車録画	駐車録画した地点で、動画情報を表示「 する 」(ON)/「しない」(OFF)
事故多発地点	事故多発地点で、動画情報を表示「 する 」(ON)/「しない」(OFF)
合流地点	合流地点で、動画情報を表示「 する 」(ON)/「しない」(OFF)
急カーブ	急カーブで、動画情報を表示「 する 」(ON)/「しない」(OFF)
急加速・急減速の感度	「 - 」/「 + 」で、急加速・急減速の測定感度を調整する [調整範囲:1(低感度)~ 3 ~5(高感度)]
急加速・急減速の感知音	「 する 」:急加速・急減速を記録すると、ブザーを鳴らす 「しない」:急加速・急減速を記録しても、ブザーを鳴らさない
起動音	「 する 」:ドライブレコーダーの電源が入ると、ブザーを鳴らす 「しない」:ドライブレコーダーの電源が入っても、ブザーを鳴らさない
取付調整	調整する :ドライブレコーダーの加速度センサーを最適化する(P.159) ※ドライブレコーダーの取り付け後、および角度や位置を調整した場合は、ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードが挿入された状態で、必ず水平で、平らな場所に停車して行ってください。最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われないおそれがあります。
SDカードの初期化	初期化する :ドライブレコーダーで使用しているmicroSDメモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にする(メモリーカード内のすべてのファイルが削除されます。) ※microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSDメモリーカードを交換したときなどに行ってください。
設定初期化	初期化する :ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻す(録画・撮影された記録ファイルは削除されません。)
駐車録画	「 する 」:駐車中に振動を検知すると、自動で録画する 「しない」:駐車中、録画しない
駐車録画のお知らせ	「 する 」:ACC ON後に駐車中に録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする 「しない」:メッセージ表示をしない
駐車録画の感度	「 - 」/「 + 」で、振動を検知する感度を調整する [調整範囲:1(低感度)~ 3 ~5(高感度)]
駐車録画の時間	駐車録画の記録時間を設定する [調整範囲:10秒/ 30秒 /1分]
駐車録画の無効時間	駐車録画モードになるまでの時間を設定する [調整範囲: 1分 /3分/5分] ● ACC OFF後、駐車録画モードになるまでは、振動を検知しても録画は開始されません。

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

地図画面のドライブレコーダー動作状態表示/ダイレクトボタン表示

ドライブレコーダーの動作状態と、ダイレクトボタンが地図画面に表示されます。

- ダイレクトボタンは、設定(ドライブレコーダー動画録画/ドライブレコーダー静止画撮影/表示しない)を選ぶことができます。(P.167) [お買い上げ時の設定:ドライブレコーダー動画録画]

ドライブレコーダー動作状態  常時録画中 (緑色)  手動録画中 (赤色)  録画停止中		ダイレクトボタン  動画録画を自分で開始する  動画録画を自分で停止する  静止画を撮影する
---	---	---

常時録画(動画)

ドライブレコーダーの電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存します。

- 常時録画を開始すると、ドライブレコーダーのLEDランプが緑色に点灯します。

microSDメモリーカードの空き容量がなくなると古いファイルから順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

■ 常時録画中に急加速・急減速を検知すると

急加速・急減速情報のあるファイルとして記録されます。通常は自動削除されませんが、ファイル数が上限に達すると古い順に自動削除されます。

お知らせ

- 残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。(P.166)

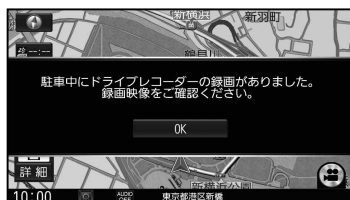
駐車録画(動画)

駐車中(ACC OFF中)に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動的に録画を開始します。

- 「駐車録画」を「する」に設定してください。(P.161)

■ 駐車中に駐車録画があったときは

「駐車録画のお知らせ」が「する」に設定されている場合は、車のエンジンをかけたとき(ACC ON)、駐車録画があったことをお知らせする画面が表示されます。

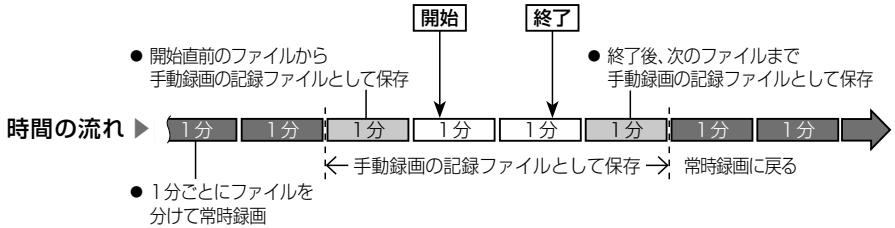


お知らせ

- 「駐車録画」が「する」に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低くなると駐車録画を自動的に停止する場合があります。
- 「駐車録画の無効時間」が短い場合、車のエンジンを切ってから(ACC OFF)降車、荷物の出し入れなどを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。
(「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。)

手動録画(動画)

手動録画すると、手動録画の開始直前と終了後の常時録画のファイルが、手動録画の記録ファイルに置き換わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。



準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(P.167)

地図画面で



をタッチする

- 動画の録画を開始します。



手動録画の自動停止(P.161)で設定されている時間(1分)/3分)が経過すると、自動的に録画が停止します。

- 「自動停止しない」に設定されている場合、手で停止するまで録画を続けます。

手で録画を停止するには

地図画面で



をタッチする

- 動画の録画を終了します。



静止画撮影

準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(P.167)

地図画面で



をタッチする

- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。



ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

記録した映像(動画・静止画)を再生する

走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

1 ドライブレコーダー画面(P.158)から**再生**を選ぶ

●録画を停止し、ドライブレコーダー再生リストが表示されます。

2 ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、**再生**を選ぶ 動画/静止画を切り換える



全表示：
すべての動画ファイル(常時録画・
駐車録画・手動録画)のリストを
表示

手動録画：
手動録画の動画ファイルのみの
リストを表示

ファイルリスト



「保存フォルダ」(P.157)に保存
された動画ファイルのリストを表示

記録された動画情報をマークで表示

: 手動録画された

: 駐車録画された

: 急加速・急減速情報がある

: 事故多発地点情報がある

: 合流地点情報がある

: 急カーブ情報がある

記録年月日・時刻

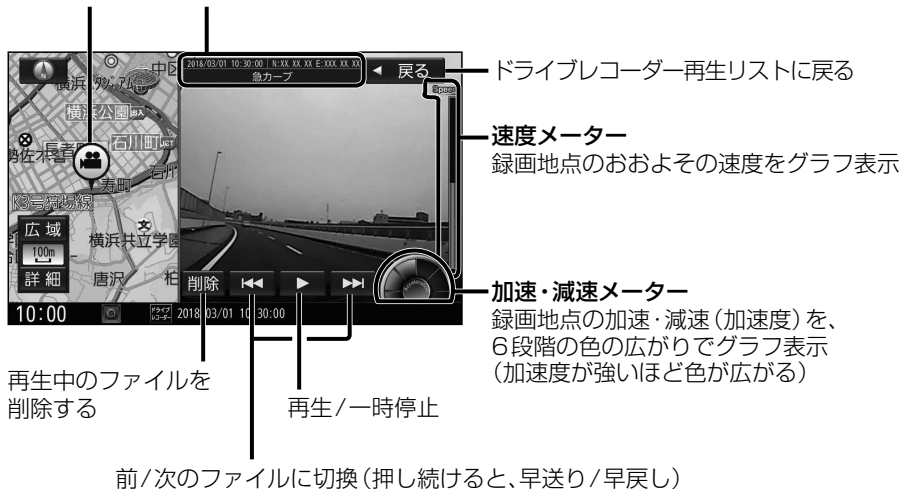
: ページごとに切換

: 1時間ごとに切換

選んだファイルの再生を開始します。(P.165)

動画再生画面

録画した地点 録画日時/位置情報/動画情報

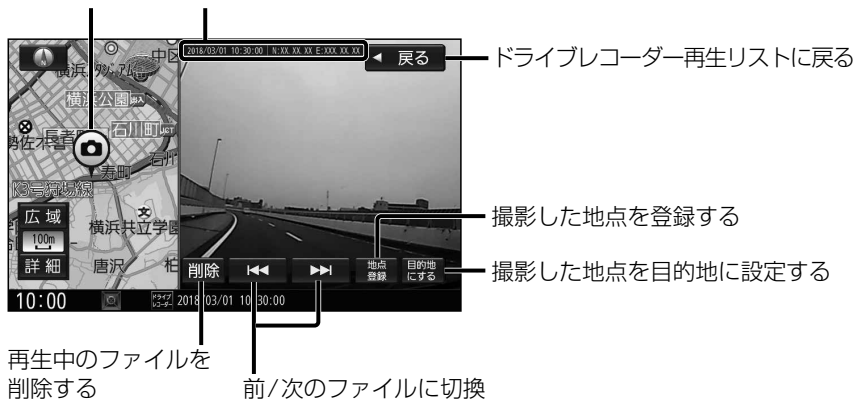


お知らせ

- 動画画面(右画面)をタッチすると、全画面で動画を表示します。
再度タッチすると、もとの画面に戻ります。

静止画再生画面

撮影した地点 撮影日時/位置情報



お知らせ

- 静止画面(右画面)をタッチすると、全画面で静止画を表示します。
再度タッチすると、もとの画面に戻ります。

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

ファイルを保存フォルダへ移動する

保存フォルダに保存されたファイルは、自動削除されません。
残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。

- 1 ドライブレコーダー再生リスト(P.164)から移動させたいファイルを選び、**保存** を選ぶ

- 2 **はい** ▶ **OK** を選ぶ
 - 選んだファイルが保存フォルダ(P.157)へ移動されます。



ファイルを削除する

再生中のファイルを削除する

- 1 ドライブレコーダー再生リスト(P.164)から削除したいファイルを選び、**再生** を選ぶ



- 2 動画再生画面/静止画再生画面(P.165)から**削除** を選ぶ



- 3 **はい** を選ぶ
 - 選んだファイルが削除されます。

フォルダ内のファイルをすべて削除する

- 1 ドライブレコーダー再生リスト(P.164)から削除したいフォルダのリストを表示させ、**全削除** を選ぶ



- 2 **はい** を選ぶ
 - 選んだフォルダ内の全ファイルが削除されます。

利用に応じた設定に変える

表示の設定をする

1 情報・設定メニュー(P.25)から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定メニューから**表示**を選ぶ

3 各項目を設定する(下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容	
メイン画面用地図設定 (1画面・左画面)	地図モード (P.44)	「北向き」: ノースアップで表示する 「進行方向」: ヘディングアップで表示する 「3D」: 3D地図で表示する
	3D視角調整	3Dの地図の傾きを設定する 角度大 ← 角度小 
	吹き出しを表示 (P.34)	「する」: 高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」: 吹き出し表示しない
	標高地図を表示 (P.30)	「する」: 広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」: 標高地図を表示しない
	ダイレクトボタン (P.162、163)	設定する ダイレクトボタンに割り当てる機能を選ぶ を選ぶ 「ドライブレコーダー動画録画」: 動画を手動録画する 「ドライブレコーダー静止画撮影」: 静止画を撮影する 「表示しない」: ダイレクトボタンを表示しない
右画面用地図設定	右画面に地図表示 (P.45)	「する」: 右画面に地図を表示する 「しない」: 右画面に地図を表示しない
	名称の文字サイズ	「標準」: 右画面の地図の文字を大きくする 「小」: 右画面の地図の文字を小さくする
	吹き出しを表示 (P.34)	「する」: 右画面に高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」: 右画面に吹き出し表示しない
	標高地図を表示 (P.30)	「する」: 右画面の広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」: 右画面に標高地図を表示しない
	地図モード (P.44)	「北向き」: 右画面をノースアップで表示する 「進行方向」: 右画面をヘディングアップで表示する 「3D」: 右画面を3D地図で表示する
	3D視角調整	右画面の3Dの地図の傾きを設定する 角度大 ← 角度小 
地図色設定	昼夜切换	「時間連動」: 時間に連動して、昼画面/夜画面を切り換える 「昼」: 常に昼画面で表示する 「夜」: 常に夜画面で表示する 「スモール連動」: 車のスモールランプに連動して、昼画面/夜画面を切り換える
	標高地図色 (P.30)	「季節連動」: 季節に連動して、標高地図の色を切り換える 「春」: 常に春の地図色で表示する 「夏」: 常に夏の地図色で表示する 「秋」: 常に秋の地図色で表示する 「冬」: 常に冬の地図色で表示する 「標準」: 標準的な色彩の地図色で表示する

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる／利用に応じた設定に変える

別売品

設定

利用に応じた設定に変える

表示の設定をする(続き)

	項目	設定内容
情報バー表示設定	MAPCODEを表示 (P.36)	「する」: 情報バーにマップコードを表示する 「しない」: 情報バーにマップコードを表示しない
	地図情報を表示	「住所名」: 情報バーに現在地の住所を表示する 「道路名」: 情報バーに現在地の道路の名称を表示する
	AUDIO情報を表示 (P.35)	「する」: 情報バーにオーディオの情報を表示する 「しない」: 情報バーにオーディオの情報を表示しない
	残距離/到着時刻を表示 (P.37)	「経由地」: 経由地までの残距離と到着予想時刻を表示する 「目的地」: 目的地までの残距離と到着予想時刻を表示する
その他設定	緯度・経度を表示 (P.36)	「する」: 地図モード画面に緯度・経度を表示する 「しない」: 緯度・経度を表示しない
	冠水注意ポイント表示	「する」: 豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある地点を表示する 「しない」: 冠水注意ポイントを表示しない
	市街地図での冠水注意ポイント表示	「する」: 冠水注意ポイント表示「する」のとき、市街地図でも冠水注意ポイントを表示する 「しない」: 市街地図で冠水注意ポイントを表示しない
	登録地を表示 (P.69)	「する」: 地図に登録地を表示する 「しない」: 地図に登録地を表示しない
	時計表示 (P.35)	「する」: 時計を表示する 「しない」: 時計を表示しない 「映像中はしない」: オーディオがTV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、VTR、HDMI*1のとき、時計を表示しない (他の画面では表示する) ※本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。
	デュアルウィンドウを表示 (P.45)	「する」: オーディオがTV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、VTR、HDMI*1のとき、右画面にオーディオの映像を表示する 「しない」: デュアルウィンドウ表示しない
	ランドマーク (P.47)	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
	ランドマーク表示 (P.47)	「する」: ランドマークを表示する 「しない」: ランドマークを表示しない
	自車位置 (P.17)	自車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)
走行軌跡 (P.46)	走行軌跡の記録、表示の設定、削除ができます。	

* 1 CN-RZ866 CN-RZ766W のみ

案内の設定をする

1 情報・設定メニュー(P.25)から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定メニューから**案内**を選ぶ

3 各項目を設定する(下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ルートの全表示 (P.57)	「 する 」: ルート探索後、全ルート図を表示する 「 しない 」: ルート探索後、全ルート図を表示しない
交差点情報の表示 (P.36、37)	「 常時 」: 常に交差点情報を表示する 「案内中」: ルート案内中のみ交差点情報を表示する 「 しない 」: 交差点情報を表示しない
ETCレーンの表示 (P.33)	「 する 」: ETCレーン案内を表示する 「 しない 」: ETCレーン案内を表示しない
JCTビューの表示 (P.33)	「 する 」: ジャンクションビューを表示する 「 しない 」: ジャンクションビューを表示しない
目的地方向を表示 (P.37)	「 する 」: 目的地方向直線を表示する 「 しない 」: 目的地方向直線を表示しない
ルート情報の表示 (P.31)	「 する 」: ルート案内中、専用レーン案内とハイウェイマップを表示する 「 しない 」: ルート情報を表示しない
ハイウェイモードの表示*1 (P.31)	「 する 」: ハイウェイマップを表示する 「 しない 」: ハイウェイマップを表示しない
交差点拡大図の表示 (P.32)	「 する 」: 交差点拡大図を表示する 「 しない 」: 交差点拡大図を表示しない
リアル3D表示 (P.32)	「 する 」: 複雑な交差点などを、リアルな3D図で表示する 「 しない 」: リアル3D表示しない
方面看板の表示 (P.31)	「 常時 」: 常に方面看板を表示する 「案内中」: ルート案内中のみ方面看板を表示する 「 しない 」: 方面看板を表示しない
逆走注意アラーム (P.68)	「 する 」: 逆走注意、および逆走検知警告の案内をする 「 しない 」: 逆走注意、および逆走検知警告の案内をしない
Audio画面中の案内割込み	「 する 」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「 しない 」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
デュアルウィンドウ中の案内割込み	「 する 」: 右画面にAudioの映像を表示させた地図(デュアルウィンドウ)に割り込んでルート案内する 「 しない 」: デュアルウィンドウ中に割り込んでルート案内しない
EWS(緊急情報)の割込み (P.83)	「 する 」: TVのEWS(緊急情報)を受信したら、割り込み表示する 「 しない 」: EWS(緊急情報)の割り込み表示をしない

* 1 ルート情報の表示が「しない」の場合のみ設定できます。

利用に応じた設定に変える

案内の設定をする(続き)

項目	設定内容
案内出力スピーカー	「左 前」:本機の案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右 前」:本機の案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
専用レーン案内 (P.64)	「する」:ルート案内中に右左折専用レーンがある場合、案内する 「しない」:専用レーン案内しない
案内音量の車速連動	「する」:高速走行時に、音量を自動的に上げる 「しない」:高速走行時も、音量を上げない
案内時のAudio音量消音	「する」:ナビ音声案内時に音声出力スピーカーからのオーディオ音声が消音される 「しない」:ナビ音声案内時に音声出力スピーカーからのオーディオ音声が消音されない ※ 設定にかかわらず、ナビ音声案内時にスピーカーからのオーディオ音量は下がります。
VICS案内 (P.65)	「する」:ルート案内中にVICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくこと、音声で案内する 「しない」:渋滞/規制情報を音声で案内しない
休憩メッセージ案内 (P.66)	「する」:ルート案内中に長時間経過すると、休憩を促す音声案内を行う 「しない」:休憩メッセージ案内しない
トンネル出口案内 (P.64)	「する」:トンネル出口の情報がある場合、ルートの有無にかかわらず、音声でトンネル出口案内する 「しない」:トンネル出口案内しない

探索条件の設定をする

1 情報・設定メニュー(P.25)から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定メニューから**探索**を選ぶ

3 各項目を設定する(下記)

[太字:お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
自動再探索 (P.66)	「する」:ルートから外れた道を行くと自動的に再探索する 「しない」:自動再探索しない
フェリーを優先	「する」:フェリー航路を優先して通るルートを探る 「しない」:フェリー航路を優先しない ※すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。フェリーを優先「する」に設定しても、ルートに考慮されない場合があります。
時間規制道路を考慮 (P.63, 65)	「する」:時間規制を考慮したルートを探る 「しない」:道路の時間規制を考慮しない
VICS自動再探索*1 (P.65)	「する」:VICS情報を考慮して、ルートを自動的に再探索する 「しない」:VICS自動再探索しない
新旧ルート比較画面を表示 (P.65)	「する」:曜日時間規制探索やDRGSでルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「しない」:新旧ルート比較画面を表示しない
到着予想	「自動」:VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する 「手動」:一般道・国道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する
	— / + で設定する ● 一般道: 5~50~60 km/h ● 国道: 5~65~80 km/h ● 有料道路: 5~80~100 km/h

渋滞情報 (VICS) の設定をする

- 1 情報・設定メニュー (P.25) から **ナビ設定** を選ぶ
- 2 ナビ設定メニューから **渋滞情報** を選ぶ
- 3 各項目を設定する (下記)

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容	
渋滞情報保存時間設定	渋滞情報を保存する時間を設定する 調整範囲：15分/30分/ 1時間 /2時間	
ETC2.0設定	ETC2.0受信音	「 する 」：一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「 しない 」：一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
	ETC2.0割込み	「 する 」：一般情報を受信すると、自動的に表示される 「 しない 」：一般情報は自動的に表示されない ※設定にかかわらず、優先情報は割り込み表示されます。
	ETC2.0自動音声再生	「 する 」：情報を受信すると、自動的に音声案内される 「 しない 」：情報は自動的に音声案内されない
	ETC2.0アップリンク	「 する 」：本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「 しない 」：本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

ETCの設定をする

- 1 情報・設定メニュー (P.25) から **ナビ設定** を選ぶ
- 2 ナビ設定メニューから **ETC** を選ぶ
- 3 各項目を設定する (下記)

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC音声ガイド	「 する 」：利用料金などを、本機から音声で案内する 「 しない 」：ETC音声ガイドしない
カード入れ忘れ案内	「 する 」：本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内される (ETC音声ガイドを「 しない 」に設定しても案内されます。) 「 しない 」：カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「 する 」：本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内される (ETC音声ガイドを「 しない 」に設定しても案内されます。) 「 しない 」：カード抜き忘れ案内しない

利用に応じた設定に変える

システムの設定をする

1 情報・設定メニュー (P.25) から **システム設定** を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字 : お買い上げ時の設定]

項目	設定内容	
BLUETOOTH (P.128~133)	BLUETOOTH対応機器の登録やハンズフリーの通話設定などが設定できます。	
セキュリティ	セキュリティ設定 (P.23)	「する」: セキュリティ設定をする 「しない」: セキュリティ設定をしない
	盗難多発地点 音声案内 (P.15)	「する」: 盗難多発地点を音声で案内する 「しない」: 盗難多発地点を音声で案内しない
	盗難多発地点 表示案内 (P.34)	「する」: 盗難多発地点を表示で案内する 「しない」: 盗難多発地点を表示で案内しない
	市街地図での盗難多発地点 表示案内 (P.34)	「する」: 市街地図で盗難多発地点を表示で案内する 「しない」: 市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない
	iPod 抜き忘れ案内 (P.15)	「する」: iPodの抜き忘れ案内をする 「しない」: iPodの抜き忘れ案内をしない
ユーザーカスタマイズ (P.21)	ユーザーごとに各設定を記憶させることができます。	
画質調整 (P.124)	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。	
キー操作音	「する」: キー操作音を鳴らす 「しない」: キー操作音を鳴らさない	
ステアリングスイッチ ● 純正ステアリングスイッチが 車両に装備されている場合、 ステアリングスイッチのタイプ を設定してください。	ステアリングスイッチと同じ図柄を選ぶ ●  (タイプA) ●  (タイプB) ●  (タイプC)	
その他設定	車種設定 (P.21)	使用しません。(販売店が設定します)
	車両メンテナンス (P.145)	メンテナンス情報 (エンジンオイルや消耗部品の交換時期など)のお知らせ設定をすることができます。
	バージョンアップ (P.148)	本機のソフトウェアをバージョンアップする場合に使用します。
	初期化 (P.173)	各種設定をお買い上げ時の状態に戻す場合に使用します。
	取付店ダイアグ	使用しません。(販売店が設定します)

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 情報・設定メニュー(P.25)から**システム設定**を選ぶ

2 システム設定画面から**その他設定**を選ぶ

3 **初期化**を選ぶ

4 初期化する項目を選ぶ

項目	内容
SDカードの初期化	SDメモリーカードを初期化する ● 録音した音楽データも削除されます。 ※ NTFSファイルシステムは初期化できません。
登録データの初期化	登録・設定した内容(登録地・登録ルートなど)を初期化する
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化する
入力履歴の初期化	名称検索で入力した履歴を削除する
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
出荷状態に戻す	登録データや設定内容などをお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオがOFFに切り換わります。

5 **はい**を選ぶ

6 **はい**を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- 初期化(削除)した項目は、もとに戻せません。
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

7 初期化が完了したら、車のエンジンを止め(ACC OFF)、約10秒間放置してから、再度エンジンをかける(ACC ON)

- 本機が再起動します。

お願い

- 初期化中は他の操作(オーディオを切り換えるなど)をしないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- 登録データの初期化をすると、販売店での設定も初期化されることがあります。
- 録音データの初期化はP.105、Gracenoteデータベースの初期化はP.121をご覧ください。
- 本機を譲渡または廃棄する際は、本機に記録された情報(登録地や走行軌跡などの履歴、電話番号などの個人情報やお客様が録音した楽曲など)を必ず消去し、出荷時の状態に戻してください。
- 本機を別の車に乗せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、センサー学習値初期化をしてください。(P.19)
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - ・CD再生モード
 - ・音量調整
 - ・FM/AM
 - ・映像調整
 - ・交通情報
 - ・画質調整
 - ・オーディオチューン(車速連動音量以外)

故障かな!?

修理を依頼される前に、まずは次の内容をご確認ください。
処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

よくあるお問い合わせ

自転車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ **MAP** を押してください。(P.36)

自転車位置が正しく表示されない

- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
- ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
- 立体駐車場などの、GPS信号を受信できない場所を走行した。
→しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがいないか確認してください。
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→「学習レベル」を確認してください。(P.19)
学習レベルがLevel 1の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 本機を別の車に乗せかえた。タイヤをローテーションした。
→センサー学習値の初期化を行ってください。(P.19)

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で **詳細** / **広域** を選び、縮尺を切り換えてください。(P.43)

タッチキーが反応しない(表示が薄くなっている)

- 安全のため、走行中は一部の操作ができませんようになっています。
→安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけると、操作できるようになります。

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
→汚れを取り除いてください。
- ディスクが表裏逆に挿入された。
→正しい面で挿入しなおしてください。

地図の更新について

- 本製品は、無料地図更新サービスを提供しております。(P.146、別添チラシ)
- 年度更新版地図の販売については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

電源・共通

	内 容	ページ
動 作	電源が入らない	
	車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	15
	低温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。 (オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
	本機が動作しない	
	地図 SDHC メモリーカードが正しく挿入されていない。 ● 地図 SDHC メモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	15、147
	他の機器で使用した地図 SDHC メモリーカードが挿入されている。 ● 地図 SDHC メモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。地図 SDHC メモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	—
	ディスプレイの角度が調整できない	
	障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
	ディスプレイが閉まらない	
	地図 SDHC メモリーカードを出し入れした際、パネルが正しく取り付けられていない。 ● パネルの取り付けを確認してください。	147
	タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
	アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	—
	フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	14
	指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	14
爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	14	
指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—	
本機が温くなる		
長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—	
SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない		
● 本機または専用フォーマッター以外で初期化したSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターで初期化してください。 ● SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	173、196	
映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い		
画質調整が適切でない。 ● 各項目を調整してください。	124	
画面に赤、青または緑の点が表示される		
液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—	

故障かな!?

困ったとき

故障かな!?

電源・共通		ページ
内 容		
画面／映像	ディスプレイに何も表示されない/ナビゲーションの映像が表示されない	
	オーディオがHDMI*1/VTRになっている。 ●他のオーディオに切り換えるなどして、HDMI*1/VTR以外の画面を表示させてください。	80
	一時的に画面を消している(画面OFF) ●[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[TILT]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	17
	バックアイカメラ、セレクトビューバックアイカメラ、または全方位モニターが初期化されている。 ●お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	電源コード/接続ハーネスの接続を確認してください。	—
	アクセサリコード/電源コネクタのヒューズが切れている。 ●お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	映像が出ない(音声は出ている)	
	一時的に画面を消している(画面OFF) ●[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[TILT]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	17
	安全のため、走行中は映像(TV、DVDなどの動画)を見ることができないようになっています。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
	バックアイカメラ、セレクトビューバックアイカメラ、または全方位モニターが故障している。 ●お買い上げの販売店にご相談ください。	—
サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	—	
音 声	ステレオのとき左右の音が逆になる	
	スピーカーコードの接続を確認してください。	—
	左右前後のいずれかの音が出ない	
	FADE/BALANCEの設定を確認してください。	121
	各コードの接続を確認してください。	—
	音が悪い(音が飛ぶ)	
	DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	194
	iPod・携帯電話・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
雑音が出る		
携帯電話などを本機から離してください。	—	
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	—	

*1 (CN-RZ866) (CN-RZ766W) のみ

ナビゲーション

	内 容	ページ
	音声案内されない/ オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
	ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ●ナビ案内音量の設定を調整してください。	18
	ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	36、37 66
	自動再探索が「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	170
	ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	37 66
	各コードの接続を確認してください。	—
案内	ルート案内中に料金案内されない	
	ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
	有料道路以外で有料案内する	
	地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
	料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
	高速道路を走行中に一般道路の案内をする / 一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
高速道路と一般道路が隣接しているときは、誤った道路が案内される場合があります。 ●ランチャーメニューから、 道路切換 を選んでください。	66	
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る		
現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません) ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	56、 59、60	
動作	登録地が登録されない / 設定が変更されない / 探索したルートが削除された	
	操作のあと、すぐに電源を切った。 ●再操作してください。	—
	戻るを選んでも、前の画面に戻らない	
	画面によっては、 戻る を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
	地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない	
	フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—

故障かな!?

ナビゲーション

内 容		ページ
表示	VICS情報が表示されない(FM VICS)	
	VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	75
	FMの電波が弱い。 ● 障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ● 電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— 75
	地図情報の保持時間が過ぎた。 ● 新しい情報を再受信するまでお待ちください。	—
	VICSのサービス外の地図を表示している。 ● VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
	モーターアンテナ設定がONの状態、AUDIO OFFに切り換えると、VICS情報を受信できません。 ● AUDIO ONに切り換えてください。	21, 81
	ラジオアンテナの接続を確認してください。	—
	VICS情報が表示されない(ETC2.0)	
	ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ● アンテナの上に物を置かないでください。 ● 極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ● 取り付け位置や接続を確認してください。	— — —
	地図画面が黄色く表示される	
	表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。また、ナビチューンでVICS WIDEの情報点滅がONに設定されている場合、気象・災害情報の薄い黄色も点滅するため、地図全体が点滅しているかのように表示されます。	41, 48

オーディオ[TV]

内 容		ページ
映像/音声	映像も、音声も出ない	
	本機が異常に高温になっている。 ● 車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
	受信状態が悪い。 ● 車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
	電源を入れても映像がすぐに出ない	
	ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—
	映像や音声が出ない(ときどき出なくなる)/映像が静止する(ときどき静止する)	
	車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがあります。故障ではありません。	—
	車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—	
地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ● 地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。(ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	85	

オーディオ [TV]

内容		ページ
映像 / 音声	地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
	地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ●ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	85
	地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	—

オーディオ [FM/AM]

内容		ページ
動作	車のエンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する	
	エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合がありますが、故障ではありません。	—
音声	ラジオが受信できない/ノイズが多い	
	放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	89
	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
	周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	89
	ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。	—
	ラジオアンテナのケーブルを他のコードと束ねたり・重ねたり・交差させたりせず、できるだけ離してください。	—

オーディオ [DVD]

内容		ページ
動作	タッチパネルを操作しても、動作しない	
	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。(故障ではありません。)	—
	設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない	
	複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ●トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
	設定した字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ●トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
	「言語設定」でメニュー言語の設定を確認してください。	94
	ディスクを挿入しても再生できない	
	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	91
再生できるディスクを使用してください。	91、193	
ディスク挿入後、またはDVDに切り換えたとに、フォーマットが識別される少しの間、音が途切れることがあります。	—	

故障かな!?

オーディオ [DVD]		
	内 容	ページ
動作	ディスクが排出されない 録音中などの場合、ディスクが排出できない場合があります。 ●時間を置いて、再度「TILT」を押してください。	—
	ディスクを挿入できない すでにディスクが挿入されていて2枚目を挿入しようとしている。 ●挿入されているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
音声	再生中に小さい音が聞き取りにくい 「ダイナミックレンジ圧縮」の設定を、「ON」に設定してください。	94
	DVD再生の音量が小さい 音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ●DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	18

オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]		
	内 容	ページ
動作	再生するまで時間がかかる 記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ●MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
	順番どおりに再生されない 書き込んだ順番に再生されます。 ●再生したい順番に、書き込んでください。 ●ファイル名の頭に「001」～「254」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	— —
	再生できない 本機に対応したメディアを再生してください。 ●SDメモリーカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。 別のSDメモリーカード・USBメモリーをお試しください。	193, 196 —
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	—
	ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	198
	ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	198
	ファイルには以下の拡張子を必ず付けてください。 ●MP3ファイル: 拡張子「mp3(MP3)」 ●WMAファイル: 拡張子「wma(WMA)」 ●AACファイル: 拡張子「m4a(M4A)」 ●FLACファイル: 拡張子「flac(FLAC)」*1 ●WAVファイル: 拡張子「wav(WAV)」*1	—
	音質が悪い(音が飛び) 音質は、使用したエンコーダーソフトやビットレートの設定などにより異なります。 詳しくは、エンコーダーソフトの説明書をご覧ください。	198, 200
	低倍速で、再度データを書き込んでください。	—

*1 (CN-RZ866) (CN-RZ766W) のみ

オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

内容		ページ
音声	再生経過時間は表示されているが、音が出ない ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	—
	ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない 規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	198
表示	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
	再生経過時間の表示が実際と一致していない 再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
	可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

オーディオ [MEMORY MUSIC]

内容		ページ
録音	録音設定の切り換えができない 録音中の場合は、録音を停止してください。	98
	録音できない ディスクにキズが付いていると、録音ができません。 ●ディスクにキズが無いか確認してください。	195
動作	録音したはずの曲が再生されない 曲のファイルが破損している。 ●再生されない曲を削除し、再度録音してください。	98, 105
	パソコンなどを使って、本機でSDメモリーカードに録音したアルバム・曲のフォルダ名やファイル名を変更した。 ●本機でSDメモリーカードを初期化して、再度CDから録音してください。	98, 173
	SDメモリーカードが破損している、またはSD規格に準拠したカードではない。 ●他のSDメモリーカードで再生ができるか、確認してください。	196
音声	音質が悪い(音が飛び) ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべて削除されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。 ●それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	98, 105 173, 196
	録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない 新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ●タイトル検索ソフトを使用してタイトル情報を取得してください。	107

故障かな!?

オーディオ [iPod]

内 容		ページ
動作	iPodが正しく動作しない	
	iPodが正しく認識されていない。 ● 接続を確認してください。	—
	● iPodをリセットしてから再接続してください。	—
	iPodのバージョンが古い。 ● iPodのバージョンを確認してください。	114

BLUETOOTH

内 容		ページ
登録	BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない	
	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ● BLUETOOTH 対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応したBLUETOOTH Audio機器を登録してください。	—
	HFP (Hands-Free Profile) に対応した携帯電話を登録してください。	—
	BLUETOOTH 対応機器のファームウェア (ソフトウェア) を最新にしてください。	—
	BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称を選択しても、本機を登録できない	
デバイスアドレスが本機のものとは異なる。 ● 本機と同じ名称の、別の機器が選択されています。本体情報画面でデバイスアドレスを確認して、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから、本機と同じデバイス機器アドレスの機器を選んで登録してください。	128, 133	
ハンズフリーの登録ができない		
BLUETOOTH Audioを先に機器登録すると、ハンズフリー機器の登録ができない場合があります。 ● 本機からBLUETOOTH Audio機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	128, 129	
接続	「携帯電話が接続されていません。携帯電話を忘れていませんか?」と音声案内される (「電話1」「電話2」に割り当てられている携帯電話に接続できない)	
	接続確認案内の設定が「する」になっている場合に、音声案内されます。 ● 携帯電話のBLUETOOTH機能を有効にしてください。 ● BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。 ● 割り当てされている携帯電話を使用しない場合には、割り当てを解除してください。	130
	本機に接続できない	
	BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。	128
	携帯電話がHFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。(機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)	—
	スマートフォンがSPP (Serial Port Profile) に対応していないとスマホ連携接続できません。	—
携帯電話の受信状態を確認してください。	—	
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—	

BLUETOOTH

	内 容	ページ
接 続	本機に接続できない(続き)	
	BLUETOOTH機器と見通しの良い状態で通信を行ってください。 障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体(ポケットなど)に入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
	BLUETOOTH対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。 接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—
	自動的にペアリング情報が削除された。 ●本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	128, 129
	自動接続が完了していない。 ●BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—
接 続	登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない	
	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
	BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。 BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	—
	BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	128, 129
	BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。 (機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。) ●BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	201 —
	BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている場合は、離してください。	—
	BLUETOOTH対応機器と本機の間には障害物がある場合は、取り除いてください。	—
	BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	128, 129
	携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
	BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していない。 ●オーディオをBLUETOOTH Audioに切り換え、登録機器一覧画面からBLUETOOTH Audioを解除して、再度本機に割り当ててください。	130
	携帯電話がハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●携帯電話がハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—

故障かな!?

BLUETOOTH		ページ
内 容		
音 声	音質が悪い(音がひずむ・ノイズが発生する)	
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。	201
	● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	—
	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
	BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない場合は、充電してください。	—
ス マー ト フォ ン 連 携	「Drive T@lker」*1「NaviCon®」のデータを本機で取得できない	
	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ● BLUETOOTH接続状態を確認してください。	—
	● 本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。	130
	● スマホ連携接続をいったん解除してから、再接続してください。	130
	iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ● iPodまたはiPhoneをP.114の図のとおり接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「Drive T@lker」*1「NaviCon®」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。	—
	「Drive T@lker」*1「NaviCon®」を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
	機器の割り当てを解除してください。	130
	スマホ連携の接続が完了しない	
	接続をいったん中止し、再度割り当てからやりなおしてください。	130
	スマホ連携の切断が完了しない	
スマートフォンを操作して切断してください。	—	
ハ ン ズ フ リ ー 通 話	本機に機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない	
	通話が携帯電話に切り換わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	134
	携帯電話のサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内で使用してください。	—
	ハンズフリー用の携帯電話が割り当てられていない。 ● 登録機器一覧からハンズフリー用携帯電話を割り当ててください。	130
	BLUETOOTHの接続設定が「しない」になっている。 ● 接続設定画面からBLUETOOTHの「する」を選んでください。	131
	携帯電話がマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
	発着信時に相手の名前が表示されない	
	携帯電話の電話帳が本機に登録されていない。 ● 電話帳を本機に登録してください。	136
	ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
	受話音量を下げてください。	18, 134
通話中、相手の音声が聞き取りにくい		
自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—	
受話音量を上げてください。	18, 134	

BLUETOOTH

	内容	ページ
ハンズフリー通話	着信履歴から発信できない	
	番号非通知の相手にかけようとした。 ●番号非通知の相手には発信できません。	—
	国際電話を受けた。 ●携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
	携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ●携帯電話の着信履歴から直接発信してください。	—
	通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しづらい	
	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ●適切な距離でお話してください。	—
	エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ●エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—
	携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる/ 本機と接続中、携帯電話で通話できない	
	機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ●携帯電話で通話するときは、携帯電話を操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
	走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
携帯電話の電波が弱い。 ●電波の状態が良い場所でご使用ください。	—	
電話帳転送ができない		
携帯電話がOPP(Object Push Profile)またはPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。 (機種によっては、OPPに対応していても電話帳転送できない場合があります。)	—	
BLUETOOTH Audio	BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)	
	BLUETOOTH Audio機器がAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。	—
	AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	—
	音量が小さい	
	BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	—
	音質が悪い(音がひずむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	
BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本機に向くように)	201	
「電話1」「電話2」「スマホ連携」に割り当てた携帯電話/スマートフォンのうち、本機と接続されていないものがある。 (例:電源がOFFになっている、車内に持ち込まれていない) ●対象機器のハンズフリー、およびスマホ連携の割り当てを解除してください。	130	
その他	P.182～185の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある	
	いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
	いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	—
	機器登録を削除し、再登録してください。	128, 129
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

故障かな!?

音声認識		CN-RZ866	CN-RZ766W	のみ
		内 容		ページ
動 作	音声認識を利用できない			
	● スマートフォンに「Drive T@lker」をインストールして、「スマホ連携」に割り当ててください。			130, 140
	● 接続したスマートフォンのロックを解除してください。			—
	● スマートフォンをWi-Fi®で接続している場合は、携帯電話回線に切り換えてください。			—
	● スマートフォンの省電力機能はOFFにしてください。			—
	● 「Drive T@lker」以外のアプリを起動している場合は、終了してください。			—
	● スマートフォンに「Drive T@lker」画面が表示されているか確認してください。			—
	サーバーへの接続が失敗する			
	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。			—
	● 場所を移動して、電波状況の良い場所でお使いください。			—
● しばらくしてから接続を行ってください。			—	
● Wi-Fi 機器を利用して接続する場合、音声が入り切れたり、通信が切断される場合があります。			—	
誤認識が多い				
● 車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。			141	
● 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。			—	
音声認識に失敗する				
● 声小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。			141	
● マイクは発生する人の口元に向けて、20 cm～40 cm 離してください。			—	
● マイクの接続を確認してください。			—	
音声が入力されない				
本機またはスマートフォンの音量が小さい場合は、音量を調整してください。			18	

ナビ連動ドライブレコーダー		内 容		ページ
動 作	ドライブレコーダーの電源が入らない(LEDランプが点灯しない)			
	車のエンジンがかかっている。			—
	● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。			—
	ヒューズが切れている。			—
	● お買い上げの販売店にご相談ください。			—
	ドライブレコーダーやmicroSDメモリーカードが温くなる			
	長時間使用している。			—
	● 正常に機能している場合は、故障ではありません。			—
	走行中、頻繁に急加減速を知らせるブザーが鳴る / ブザーが鳴り続ける (ピピピ…短く8回)			
	ドライブレコーダーの加速度センサーが最適化されていない。			159
● 加速度センサーを最適化してください。			—	
走行中、路面上の段差を越えた際に、ブザーが鳴る				
路面の段差を越えたときなどの衝撃を急加速・急減速として感知し、感知音(ブザー)を鳴らすことがあります。(故障ではありません)			161	
● 「急加速・急減速の感度」を低感度に調整すると、段差の衝撃を急加速・急減速として感知しなくなる場合があります。			161	
● 感知音(ブザー)が頻繁に鳴るときは「急加速・急減速の感知音」を「しない」に設定すると、急加速・急減速を感知しても感知音(ブザー)を鳴らさなくなります。			161	

ナビ連動ドライブレコーダー

内容		ページ	
動作	ドライブレコーダーの加速度センサーが最適化されない ドライブレコーダーからmicroSDメモリーカードが抜かれた状態で加速度センサーを最適化しようとした。 ● microSDメモリーカードが抜かれた状態では最適化できません。 水平で、平らな場所に停車し、ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードを入れて加速度センサーを最適化してください。	159	
	記録ファイルが消えている 常時録画の場合、古い記録ファイルから順に自動的に削除されるため、連続して記録されない場合があります。 ● 残したい記録ファイルは、保存フォルダへ移動してください。	166	
	録画できない、または録画した映像が正しく表示されない ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードが挿入されていない。 ● ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードを挿入してください。	156	
	記録できるファイル数の上限に達している。(録画できない場合) ● 手動録画の記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除してください。(削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。)	—	
	microSDメモリーカードを初期化していない、またはドライブレコーダー以外(パソコンなど)で初期化した。 ● ドライブレコーダーで初期化してください。	161	
	microSDメモリーカードを長期間使用している。 ● microSDメモリーカードには寿命があります。 新しいmicroSDメモリーカードに交換してください。	156	
	録画や再生、初期化中に、ドライブレコーダーからmicroSDメモリーカードを取り出した。 ● 再度本機で初期化してください。 それでも正しく動作しないときは、microSDメモリーカードが損傷している場合があります。新しいmicroSDメモリーカードに交換してください。	161	
	記録できる常時録画ファイルの数が少ない 手動録画/保存データ/静止画/急加速/急減速/駐車録画の容量が大きい(ファイル数が多い)。 ● ファイルをパソコンに移し、microSDメモリーカードから消去すると、常時録画できる容量が増えます。	166	
	車のエンジンをかけたときに (ACC ON)、駐車録画のお知らせが表示されたが、映像に振動の原因となるものが映っていないかった 振動の原因が、ドライブレコーダーのカメラで映せる範囲外だった。 ● 車両の周囲を確認してください。	—	
	振動の原因が、すぐに車から離れた。 ● 振動を検知してから撮影するため、振動発生の瞬間は撮影できません。	—	
	映像	映像が白っぽい、映像に白線(光の線)が出る 太陽光を直接映したり、強い光(ヘッドライトなど)を映している。 ● 映像が見えにくくなったり、光源の周囲に明るい線が現れることがあります。 故障ではありません。	—
		映像が見えにくい 暗いところを映したり、部分的に明るい光を映している。 ● 故障ではありません。	—
カメラのレンズ、車のガラスが汚れている。 ● 汚れを拭いてください。		—	
カメラのレンズ、車のガラスが結露している。 ● ヒーターなどで車内を適温に保ち、結露が取り除かれるまでしばらくお待ちください。		—	
ドライブレコーダーが異常に高温になっている。 ● 高温時は、機器の保護のため画像が暗くなります。温度が下がるともとに戻ります。		—	

故障かな!?

こんなメッセージが出たときは	
内 容	
か	<p>高温のため、動作を停止しています。 エアコンをかけ車内の温度を下げたから安全な場所に停車し、エンジンをかけ直してください。</p> <p>本機の内部温度が異常に高い。 ● 内部温度が下がるまでお待ちください。</p> <p>この画像は表示できません。表示可能サイズを超えているか、不正な画像ファイルです。</p> <p>再生できない形式の静止画データを再生した。 ● ファイルを確認してください。</p> <p>この曲は再生できません。</p> <p>再生できない形式の音楽データを再生した。 ● ファイルを確認してください。</p> <p>このSDカードは書き込み禁止です。SDカードを確認してください。</p> <p>SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。</p>
さ	<p>再生可能なディスクを入れてください。</p> <p>ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズが付いている。 再生できないディスクを使用している。(P.194) ● ディスクを確認してください。</p> <p>再生可能なファイルがありません。</p> <p>異常のある動画を再生した。 ● ファイルを確認してください。</p> <p>再生できるファイルがない。 ● 再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。</p> <p>車速信号が検出できません。 車速信号コードの接続をご確認ください。</p> <p>車速信号コードの接続を確認してください。</p> <p>車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。 お買い上げの販売店に、車両信号設定とカメラ設定の確認をご依頼ください。</p> <p>受信できません (0020) 地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。</p> <p>受信できません (E202) 地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。</p> <p>受信できません (E203) 地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 放送休止のチャンネルを見ている。</p> <p>情報を受信していません。 VICS 情報がない。 ● FM VICS チューナーの周波数設定を確認してください。</p>

こんなメッセージが出たときは		
	内 容	
さ	<p>走行中はスクロールできません。</p> <p>市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。</p> <p>パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 ●サイドブレーキコードの接続を確認してください。</p>	
	<p>た</p> <p>●地図カードを挿入してください。 ●地図カードがありません。</p> <p>地図SDHCメモリーカードがしっかりと挿入されているか、確認してください。(P.147)</p> <p>地図データ異常により正常に起動できませんでした。</p> <p>地図SDHCメモリーカードに異常がある。 ●お買い上げの販売店にお問い合わせください。</p> <p>地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。他の同型の機種に挿入しても、使用できません。</p> <p>データがいっぱいになりました。 XX件 転送されました。</p> <p>アドレス帳を、最大保存可能件数(1 500件)まで保存した。 ●これ以上保存できません。不要なアドレス帳を削除してください。</p> <p>電源を入れ直してください。</p> <p>アンプに異常が発生した。 ●いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。</p>	
は	<p>配線の不良または機器の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。</p> <p>正しく配線されていない。または、本機が故障している。 ●配線やスピーカーに異常がないか、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●配線やスピーカーに異常がない場合は、本機が故障している可能性があります。 お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。</p> <p>本機に接続している iPod/USB 接続用中継ケーブルに異常がありました。 ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。</p> <p>ケーブルが金属物に触れている。 ●金属物から離してください。</p> <p>接続している機器やケーブルに異常がないことを確認してください。 ●それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。</p>	
	<p>ら</p> <p>ルート探索ができません。</p> <p>極端に長い道のりのルートを探そうとした。 ●目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探求してください。</p> <p>録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。</p> <p>SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ●不要な音楽データを削除してください。</p> <p>録音できませんでした。 SDカードを確認し、もう一度録音してください。</p> <p>SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ●SDメモリーカードを本機に挿入してください。</p>	

故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなメッセージが出たときは

内 容	
S	SDカードが書き込み禁止になっています。 SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。
記号	⊙
記号	ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

文字入力のみ

1 入力したい文字の種類を選ぶ



- 選ぶごとに種類が切り換わります。
- **か かな** : ひらがな/漢字
- **カ カナ** : カタカナ
- **英 数** : 英字/数字
- **記 号** : 記号

2 文字を入力し、

変換 または **無変換** を選ぶ*1(右記)

*1 変換の選択は、ひらがな入力時のみ
記号入力時は、選択不要



- **変換** : スペースを入力
- **無変換** : カーソルを移動
- **修正** : 1文字削除
1秒以上押し、全文字削除

3 文字入力が終わったら**決定**を選ぶ



携帯電話のボタンの感覚で入力する

1 入力切換 を選ぶ



2 文字の種類を選び、入力する

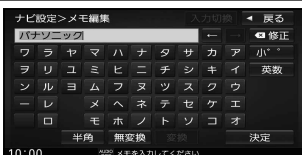


ひらがな/漢字を入力する



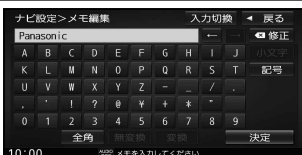
- **変換** : 変換する範囲を変える
- **無変換** : ひらがなのまま入力
- **変換** : 変換の候補を表示

カタカナを入力する



- **半角/全角** : 半角・全角の切換
・**半角**を選ぶと、**全角**が表示されます。

英字/数字を入力する



- **半角/全角** : 半角・全角の切換
・**半角**を選ぶと、**全角**が表示されます。
- **小文字** : 大文字・小文字の切換
・選ぶごとに切り換わります。

記号を入力する



お知らせ

- 入力できる文字数は、項目によって異なります。詳しくは、各項目の説明をご覧ください。
- 入力できる文字の種類は、機能によって異なります。(例: 名称検索(P.52)で入力できるのは、「ひらがな」のみです。)
- デジタルTVの文字入力のしかたについて
・基本的な入力方法は上記と同じです。
・漢字は入力できません。

故障かな!? / 文字入力のしかた

困ったとき 必要なとき

テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ/ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・ 放送局から遠い
 - ・ 電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
 - ・ 電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ・ 無線用の送信アンテナが近くにある
 - ・ 車の電装品（パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が動作している場合
 - ・ 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - ・ 映像や音声が乱れる（ノイズが発生したり、途切れる）
 - ・ 静止画面や黒画面となり音声が出なくなる

お知らせ

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式*を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

* コンテンツ権利保護専用方式は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
<http://www.trmp.or.jp/>

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

フォーマット ディスク	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3*3	WMA*3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW*1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW*2	—	—	○	○	○

*1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

*2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

*3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、ポケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクについて

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。

・ 本機のDVDビデオのリージョン番号は、「2」です。



「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。

■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アンクル数



■ 画面サイズ(横:縦の比)*1

4:3の標準サイズ

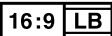


レターボックス

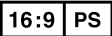


16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。



画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。



- *1 映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

再生できないディスク

- 8 cmディスク*2
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- Blu-ray Disc™
- フォトCD
- BD-R
- CD-G
- BD-RE
- ビデオCD
- Ultra HD Blu-ray™
- CDV
- Blu-ray 3D™
- SVCD
- BDXL™
- SACD
- カートリッジ付きBD-RE (Ver.1.0)
- CD-EXTRA*3
- VSD
- BD-ROM
- CVD
- DVD-ROM
- DualDisc*4
- DVD+R
- HD DVD-Video
- DVD+RW
- HD DVD-R
- DVDオーディオ
- HD DVD-RW
- DVD-RAM
- HD DVD-RAM
- CD-ROM
- HD DVD-ROM

など

- *2 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- *3 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。
- *4 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクの取り扱い

■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



記録面

内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ペンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

お手入れ

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

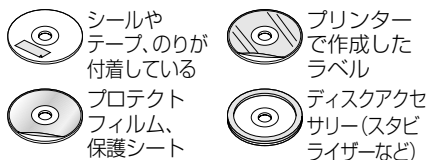
次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光の当たるところ
(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

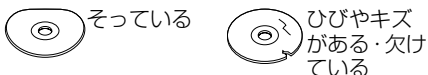
下記のようなディスクは 使用しないでください

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



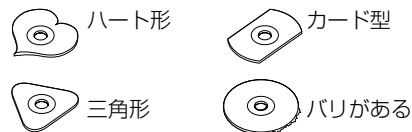
破損・変形したディスク



透明なディスク



円形以外の特殊な形状のディスク



本体・液晶画面のお手入れ

- お手入れは、必ず車のエンジンを切った状態(ACC OFF)で行ってください。
- 本体の汚れは、きれいな柔らかい布で、軽く乾拭きしてください。

液晶画面のお手入れの際には、次のことをお守りください。液晶画面には特殊なコーティングが施されており、お手入れの方法によっては、キズ、コーティング剥がれなどの原因になります。

- 表面の汚れなどは、乾いたきれいな柔らかい布で、軽く拭いてください。
- 次のものを使用しないでください。
 - ・汚れや砂、硬いゴミがついた布
 - ・濡れた布(ウェットティッシュ含む)
 - ・硬い布
 - ・液晶パネル以外を拭いた布
 - ・ティッシュペーパー
 - ・研磨剤
 - ・洗剤(ガラス用クリーナー含む)
 - ・シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
- 液晶画面を強くこすらないでください。爪を立てたり、布の角や折り目でこすらないでください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでも改善されない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- レンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■本機で使用できるSDメモリーカード

- SDXCメモリーカード(2 TB以下) *1
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下) *1*2
- miniSDメモリーカード(2 GB以下) *2
- SDHCメモリーカード(32 GB以下) *1
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下) *1*2
- microSDメモリーカード(2 GB以下) *2

* 1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

* 2 カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ず市販の変換アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

※本書では特にことわりのない限り、SD規格に準拠したメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。ただし、

- microSDメモリーカードと記載している場合は、microSDXCメモリーカード/microSDHCメモリーカード/microSDメモリーカードを指します。
- miniSDメモリーカードと記載している場合は、miniSDメモリーカードを指します。

お願い

- SDメモリーカードは、使用する前に本機で初期化してください。(P.173) または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。
https://av.jpn.support.panasonic.com/support/sd_w/download/

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■本機で使用できるUSBメモリー

- USBマストレージ規格準拠
- 容量：32 GB以下
- ファイルシステム：FAT 16、32
- USBコミュニケーションフォーマット：USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
 - ・SDメモリーカードを取り出す
 - ・USBメモリーを取り外す
 - ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

データ作成時の留意点

静止画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した画像データを再生できます。

■本機で再生できる画像データ

項目	内容	
対応形式	JPEG (ベースライン)	
拡張子	JPG、jpg (大文字、小文字どちらでも使用可能)	
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
	1フォルダ内	255 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
使用可能文字	A~Z (全角/半角)、0~9 (全角/半角)、_(アンダースコア)、漢字 (JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角/半角)	
ファイルサイズ	10 MB以下	
画像解像度	16×16~4 092×4 092	

- 解像度が高い画像は画面に合わせて縮小して表示します。
- 以下のようなファイルは再生できません。
 - ・プログレッシブ方式
 - ・RGB以外 (グレースケール、CMYKなど)

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

■本機で再生できる動画データ

項目	内容	
対応規格 プロファイル	MPEG-4 AVC (Simple Profile レベル3まで)、H.264 (Baseline Profile レベル3まで)	
拡張子	MP4、M4V、mp4、m4v (大文字、小文字どちらでも使用可能)	
	映像	音声
コーデック	MPEG-4 AVC、H.264	AAC-LC
ビットレート	216 kbps~4 Mbps	8 kbps~320 kbps
フレームレート	15 fps、30 fps	
最大解像度	720×480	
サンプリング周波数		16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
	1フォルダ内	100 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
最大表示文字数	半角32文字 (全角16文字)	
使用可能文字	A~Z (全角/半角)、0~9 (全角/半角)、_(アンダースコア)、漢字 (JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角/半角)	
ファイルサイズ	1 GB以下	

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダーソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 映像が含まれていない動画ファイルは再生できません。
- Windows Media® Videoには対応していません。
- 著作権保護された動画ファイル (SD-Video規格など) は再生できません。

データ作成時の留意点

音楽データについて

音楽データの規格について

ファイル形式	MP3	WMA	AAC	FLAC*1	WAV*1
使用可能なメディア	CD-R/RW、SD、USB	CD-R/RW、SD、USB	SD、USB	SD、USB	SD、USB
対応規格バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version 7/8/9 ※Standardのみ	Low Complexity	—	RIFF
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a	FLAC、flac、FLA、fla	WAV、wav
最大フォルダ名/ファイル名文字数	CD-R/RW : 全角32文字/半角32文字		SD、USB : 全角32文字/半角64文字		
フォルダ名/ファイル名使用可能文字	A～Z (全角/半角)、0～9 (全角/半角)、_(アンダースコア)、全角漢字 (JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角/半角)				
最大フォルダ階層	8階層				
1フォルダ内の最大ファイル数	255 (ファイル+フォルダ合計 : ルートフォルダ含む)				
1メディア内の最大ファイル数	CD-R/RW : 512 (MP3・WMAファイル合計)		SD、USB : 10 000 (MP3・WMA・AAC・FLAC・WAVファイル合計)		
1メディア内の最大フォルダ数	CD-R/RW : 255		SD、USB : 400		
表示可能なタグ	CD-R/RW : トラック名/アーティスト名/アルバム名 SD、USB : トラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名		— 非対応		
タグ表示可能文字数	CD-R/RW : D3タグ Ver 1.0/1.1 : 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3 : 全角30/半角60文字 SD、USB : D3タグ Ver 1.0/1.1 : 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3 : 全角32/半角64文字	CD-R/RW : 全角30/半角30文字	SD、USB : 全角32文字/半角64文字		— 非対応
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz 88.2 kHz/96 kHz/ 176.4 kHz/192 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz 88.2 kHz/96 kHz/ 176.4 kHz/192 kHz
ビットレート (kbps)	8 kbps～320 kbps、VBR	48 kbps～320 kbps、VBR	8 kbps～320 kbps	—	
量子化ビット数	—		16 bit/24bit		
ジャケット写真	CD-R/RW : 非対応		SD、USB : 対応		非対応

- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- WMA Professional/WMA Lossless/WMA Voiceには対応していません。
- DRM (デジタル著作権管理) には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル (SD-Audio規格など) は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC*¹/WAV*¹ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダーの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC*¹/WAV*¹ファイルの作成の詳細はエンコーダーソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC*¹/WAV*¹ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに"MP3"の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。
MP3/WMA/AAC/FLAC*¹/WAV*¹以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

*1 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ

- ・WAVファイルはLPCM(整数型)に対応しています。AIFFフォーマット/WAVE64フォーマット/RF64フォーマット/ADPCMフォーマット等には対応しておりません。
- ・FLACファイルは1 024から4 608のブロックサイズに対応しています。

データ作成時の留意点

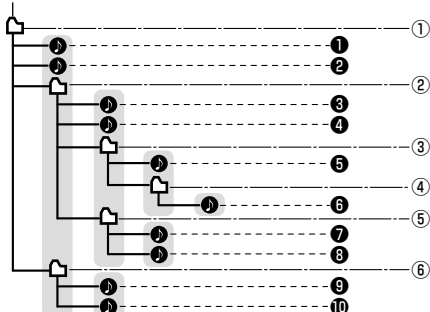
音楽データについて(続き)

階層と再生順序について

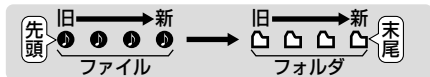
再生順序：● ファイル ①～⑩
□ フォルダ ①～⑥

ルートフォルダ

(CD-R/RW、SDメモリーカード、USBメモリーの直下の階層)



同じ階層(■で囲まれた範囲)内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ換えて再生します。(下記)



[CD-R/RWのMP3/WMAの場合]

- ルートフォルダは1つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、1つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ換えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①～⑩の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいたくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に"001～254"など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ファイル名について

- フォルダ名とファイル名の合計が半角240文字、全角120文字を超える場合、再生できません。

ジャケット写真について

JPEG形式のみに対応しています。
他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

BLUETOOTHについて

■使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)があります。

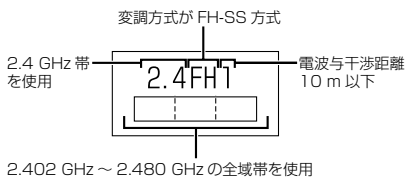
- 1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店へご相談ください。

■機器設定(無線局の免許は不要です。)

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■周波数表示の見方(製品銘板に記載)



■使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。(BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。)
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■用途制限

- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がBLUETOOTH標準規格Ver.1.2以降に対応している必要があります。
- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - ・BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ※本機は、SBC、AACのオーディオコーデックに対応しています。
 - ・ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - ・電話帳転送
 - Object Push Profile (OPP) または Phone Book Access Profile (PBAP)
 - ・「Drive T@lker」*1/「NaviCon®」
 - Serial Port Profile (SPP)
 - ・音声認識*1
 - Serial Port Profile (SPP)
 - Hands-Free Profile (HFP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

*1 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ

DVD 言語コード一覧表

下記の言語コードは、本機でのみ有効です。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1027	アフアル語	1239	国際語	1482	キルンディ語
1028	アブバジア語	1245	Inupiak 語	1483	ルーマニア語
1032	アフリカーンス語	1248	インドネシア語	1489	ロシア語
1039	アムハラ語	1253	アイスランド語	1491	キニヤルワンダ語
1044	アラビア語	1254	イタリア語	1495	サンスクリット語
1045	アッサム語	1257	ヘブライ語	1498	シンド語
1051	アイマラ語	1261	日本語	1501	サンゴ語
1052	アゼルバイジャン語	1269	イディッシュ語	1502	セルビアクロアチア語
1053	バシキール語	1283	ジャワ語	1503	シンハラ語
1057	ベラルーシ語	1287	グルジア語	1505	スロバキア語
1059	ブルガリア語	1297	カザフ語	1506	スロベニア語
1060	ビハーリー語	1298	グリーンランド語	1507	サモア語
1061	ビスラマ語	1299	カンボジア語	1508	ショナ語
1066	ベンガル、バングラ語	1300	カンナダ語	1509	ソマリ語
1067	チベット語	1301	韓国語	1511	アルバニア語
1070	ブルトン語	1305	カシミール語	1512	セルビア語
1079	カタロニア語	1307	クルド語	1513	シスワティ語
1093	コルシカ語	1311	キルギス語	1514	セストゥ語
1097	チェコ語	1313	ラテン語	1515	スンダ語
1103	ウェールズ語	1326	リンガラ語	1516	スウェーデン語
1105	デンマーク語	1327	ラオス語	1517	スワヒリ語
1109	ドイツ語	1332	リトアニア語	1521	タミール語
1130	ブータン語	1334	ラトビア、レット語	1525	テルグ語
1142	ギリシャ語	1345	マダガスカル語	1527	タジク語
1144	英語	1347	マオリ語	1528	タイ語
1145	エスペラント語	1349	マケドニア語	1529	ティグリニャ語
1149	スペイン語	1350	マラーラム語	1531	トゥルクメン語
1150	エストニア語	1352	モンゴル語	1532	タガログ語
1151	バスク語	1353	モルダビア語	1534	セツワナ語
1157	ペルシャ語	1356	マラータ語	1535	トンガ語
1165	フィンランド語	1357	マレー語	1538	トルコ語
1166	フィジー語	1358	マルタ語	1539	ツォンガ語
1171	フェロー語	1363	ミャンマ語	1540	タタル語
1174	フランス語	1365	ナウル語	1543	トウィ語
1181	フリジア語	1369	ネパール語	1557	ウクライナ語
1183	アイルランド語	1376	オランダ語	1564	ウルドゥー語
1186	スコットランドゲール語	1379	ノルウェー語	1572	ウズベク語
1194	ガルシア語	1393	プロバンス語	1581	ベトナム語
1196	グアラニ語	1403	(アフアン) オロモ語	1587	ボラビュク語
1203	グジャラート語	1408	オリヤー語	1613	ウォロフ語
1209	ハウサ語	1417	パンジャブ語	1632	コーサ語
1217	ヒンディー語	1428	ポーランド語	1665	ヨルバ語
1226	クロアチア語	1435	パシュトー語	1684	中国語
1229	ハンガリー語	1436	ポルトガル語	1697	ズール語
1233	アルメニア語	1463	ケチュア語		
1235	国際語	1481	ラエティ=ロマン語		

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートに登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。
※本書では特にことわりのない限り、下記の衛星を「GPS」と表記し、衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS信号」などと総称して表記しています。

■GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

■現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自転車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所(GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所)で、2分程度で測位します。

電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

■準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。

■マップマッチング

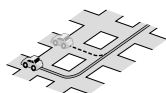
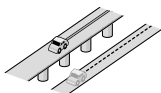
GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



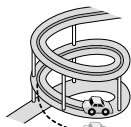
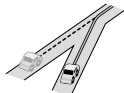
自転車位置精度について

■走行環境やGPS衛星の状態により、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 高速道路と一般道路が近くにある
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している
- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自転車マーク位置は自動的に補正されます。

■下記の場合も、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 車のエンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速(数km/h)での走行状態が続くとき(車種によっては車速信号を検出できないことがあるため)
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- 車のエンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

ナビゲーションシステムとは

自転車位置精度について(続き)

■衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。このようなときは、自転車マークがずれる場合があります。

■3Dセンサーによる高架判定について

自転車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自転車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。(P.19)
 - ・別の車に載せかえた
 - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

逆走検知警告について

■下記のような場合などでは、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上的の自転車マークの位置と、実際の自転車位置が違うとき
- 直前に自転車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 対面通行など、順走/逆走の判別が困難な道路
- 以前、逆走検知警告が表示された地点で「ここでは案内しない」をタッチしていた場合

■下記のような場合などでは、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上的の自転車マークの位置と、実際の自転車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

■ 本機に登録されている個人名について

登録されている個人名は、公開電話番号の登録者名に基づいています。複数の読み方ができる「名字」については、実際とは異なる読みかたで登録されている場合があります。

例：「河内」という名字の場合、実際の読みが「こうち」でも、「かわち」や「かわうち」で登録されている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるように開発した、日本全国のあらゆる場所を最大12桁の数字と* (アスタリスク) を用いて表したものです。各種情報機器や各種情報メディアでかんたんに位置情報を伝送したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>

ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、ETC2.0車載器が必要です。

■ 電波ビーコン5.8 GHzの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を行きしている場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

FM多重について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- 一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。

(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

● 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

● PHS、IP電話等からはご利用いただけません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまぬい、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス: 当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約: 当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者: 当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー: FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス: 文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス: 簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス: 車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。
(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1)加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2)加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されないことがあることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】 視聴料金 330円(税込み)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器1台に限り使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
 - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アSEMBルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

警告



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

取り付ける車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合がありますが、常に実際の標識に表示された情報に従って運転してください。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用には使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

地図ソフトについて

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平29情使、第444-B389号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- 3次元地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号R1JHs 1112-001号)
- この地図の作成に当たっては、(一財)日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認12-0060)
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2020年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2020年2月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

- ◆3D交差点…………… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
- ◆ジャンクションビュー… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
- ◆方面看板…………… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点を表示)

※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。

- 細街路規制データは、おおむね2019年11月までに収集された情報に基づき製作されています。時間指定の一方通行規制は、推奨ルートの探索にあたっては、考慮されません。また、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- この地図データは、以下の著作物を改変して利用しています。
「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数」、東京都・【その他の著作権者】、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示4.0国際
(<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、(公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を(株)ゼンリンおよびMAPMASTERが加工して作成したものを使用しています。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるものが収録されています。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2020年3月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 個人宅電話番号検索は、「電話番号」の入力で、全国で地図検索が可能です。各地域において、情報を収録している割合に格差があります。また、お客様が電話番号や名字を用いて対象となる物件の位置を検索した場合、該当する物件の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しています。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【登録商標について】

- “ゼンリン”および“ZENRIN”は(株)ゼンリンの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は(一財)道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ”は、日本電信電話(株)の商標です。

VICSセンター お客様相談窓口

【電話番号】0570-00-8831 (PHS、IP電話等からはご利用いただけません。)

【受付時間】平日 9:30 ~ 17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

【FAX番号】03-3562-1719 (24時間受付)

【URL】<https://www.vics.or.jp/>

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

- | | |
|---|-----------|
| ■ 道路：2020年4月(高速・有料道路) / 2020年2月(国道・都道府県道) | |
| ■ 交通規制*1 | ：2020年3月 |
| ■ 電話番号検索 | ：2020年3月 |
| ■ 郵便番号検索 | ：2020年3月 |
| ■ 高速・有料道路料金*2 | ：2020年4月 |
| ■ 住所検索 | ：2020年3月 |
| ■ 個人宅電話番号検索 | ：2019年12月 |
| ■ ジャナル検索 | ：2020年2月 |
| ■ 市街地図 | ：2019年11月 |

* 1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

* 2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

2020年12月発行 製作/株式会社ゼンリン

© 2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2020 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2020 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2020 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

ジャンル一覧

太字の項目は、小分類を選択できます。

ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	ジャンル	中分類
コンビニエンスストア	—	観る (続き)	イベント	買う (続き)	金物店・刃物店
ガソリンスタンド	—		ビューポイント		ガラス・陶磁器
駐車場	—	泊まる	住宅展示場		その他小売店
交通機関	駅		ホテル	食べる	ファミリーレストラン
	高速・都市高速・有料道路施設		ビジネスホテル		ファストフード
	道の駅		旅館		ラーメン
	フェリーターミナル		ペンション		うどん・そば
	港		公共の宿		日本料理
	空港		ファッションホテル		中華
	タクシー		カプセルホテル		イタリア料理
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)		家族旅行村		寿司屋
	レジャー公園・牧場		国民休暇村		回転寿司
	その他レジャー施設	買う	民宿		フランス料理
	海洋・海浜公園		その他宿泊施設		カレーハウス
	サファリパーク		カー用品		焼肉・ホルモン
	海水浴場		ホームセンター		韓国料理
	川くんだり		ディスカウント		お好み焼き
	果物狩り		スーパー		とんかつ
	遊覧船		デパート		持ち帰り弁当
	遊覧飛行機		複合大型商業施設		喫茶
	リフト・ロープウェイ		アウトレットモール		酒場
	釣り		家電		うなぎ料理店
	キャンプ場		本		おでん屋
	公営ギャンブル		ファッション		海鮮料理店
	パチンコ		衣服・呉服・小物		懷石料理
	麻雀		シューズ		割烹・料亭
	ゲームセンター		バッグ・コート・毛皮		スパゲティ専門店
	ビリヤード		その他繊維製品		ステーキハウス
	ボウリング場		スポーツ		てんぷら料理店
	カラオケボックス		雑貨		鳥料理店
	マンガ喫茶		ドラッグストア		ビザハウス
	インターネットカフェ		100円ショップ		アイスクリーム
	アニメ・ゲームグッズ		その他日用品・雑貨・文具		その他和風飲食店
	プラネタリウム		チケット売買・プレイガイド		その他洋風・中華飲食店
	クラブ・ライブハウス		携帯電話ショップ	生活施設	郵便
	マリナー		リサイクルショップ		理容・美容
	待ち合わせ場所		おもちゃ屋		クリーニング
	趣味・娯楽・教養		子供用品・服		温泉
観る	動物園		酒屋		銭湯
	植物園		食材		サウナ・健康センター
	水族館		パン・お菓子		クアハウス・スパ
	美術館		花屋		教養施設・福祉施設
	博物館		園芸店		写真・写真館
	資料館		家具店		組合
	文化施設		インテリア用品店		人材紹介・代行サービス
	ホール会館		メガネ・コンタクトレンズ		録音スタジオ
	劇場		釣具店		クレジット・質屋・買取
	映画館		アウトドア用品店		宅配便・運輸
	城・城跡		CDレコード店		リース・レンタル・修理
	史跡		中古CDレコード店	トイレ	—
	名所・観光地等		レンタルビデオ・CD	銀行	都市銀行
			化粧品・装飾品・民芸品		地方銀行
			オーディオ・パソコン・OA		その他銀行

ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	ジャンル	中分類
公共施設	役所	カー ディーラー	スズキ	エコステーション その他 ジャンル	—
	警察署・交番		スバル		大使館・領事館
	消防署		ダイハツ		マスメディア
	図書館		トヨタ		旅行・観光業
	裁判所		トヨタ部品		ペット
	税務署		日産		製造・卸売業
	年金事務所		日産部品		農園・果樹園
	保健所		Honda Cars店		
	法務局		マツダ		
	運転免許試験場		三菱		
	ハローワーク		レクサス		
	学校・ 教育施設		大学		アウディ
高校		アバルト			
中学校		アルファロメオ			
小学校		クライスラー			
短大		シトロエン			
高専		ジャガー			
中等教育学校		GM			
幼稚園		GMDAT			
保育園		BMW			
特別支援学校		フィアット			
自動車学校		フェラーリ			
各種専門学校		フォルクスワーゲン			
予備校		プジョー			
その他学校・教育施設		ベントレー			
病院	—	ボルシエ			
	冠婚葬祭	ボルボ			
スポーツ 施設	ゴルフ	マクラーレン			
	スキー・スケート	マセラティ			
	マリンスポーツ	MINI			
	野球場	メルセデス・ベンツ			
	競技場	ヤナセ			
	プール	ランドローバー			
	モータースポーツ	ランボルギーニ			
	自転車	ルノー			
	テニスコート	ロータス			
	体育館	ロールスロイス			
神社・仏閣 教会・巡礼	武道館	いすゞ			
	スポーツクラブ	日野			
	バッティングセンター	三菱ふそう			
	公営スポーツ施設	UDトラックス			
	その他スポーツ施設	その他カーディーラー			
	神社	自動車 関連	自動車整備工場		
	仏閣・寺		中古車販売		
	教会		レッカーサービス		
	全国著名巡礼名所		ロードサービス		
			レンタカー		
		オートバイ販売・部品・用品			
		レンタルバイク			
		その他自動車・自転車			

さくいん

あ行

あかさたなタッチキー	50
明るさ	124
頭出し	93, 95, 96, 97, 100, 110, 113, 116
アドレス帳	136, 137
アプリケーション	148
アルバム	100
アルバム情報保存	103
アルバム編集	102
アングル	92
安心運転サポート情報	37, 67
案内音声項目設定	170
案内音量の車速連動	170
案内時のAudio音量消音	170
案内出力スピーカー	170
案内スタート	51
案内ストップ	51
案内表示項目設定	169
案内ルート	37
イコライザー	122
一時停止	92, 97, 113, 116
一時停止案内	40, 67
一般道	41
一般道速度超過警告	40
緯度・経度	36, 55
緯度・経度を表示	168
今すぐ見る	86
色合い	124
色の濃さ	124
迂回	60
エフェクトモード	118
エリア選局	75, 89
エンター	93
オーディオショートカット	24
オーディオチューン	118
オーディオメニュー	24, 80
オート放送局サーチ	85
お気に入り	101
お気に入り地点	70
お気に入りフォルダ	101
音の匠	119
音楽CD	95
音楽データ	198
音声	92
音声案内	64, 66
音声認識	140
音声録音	161
音量	18

か行

カーソル	36, 93
カーソルパネル	84
カード入れ忘れ案内	171
カード抜き忘れ案内	171
カーブ案内	40, 67
ガイドンス	40
回転	112
学習レベル	19
拡張ユニット情報	20
画質	161
画質調整	124
カスタマイズ	26
カスタムアップデート	107
画像・音声情報	74, 76

カメラ	151
カメラモニター	158
画面OFF	17
画面表示サイズ	124
冠水注意ポイント	34
冠水注意ポイント表示	168
キー操作音	172
機器登録	128
気象・災害情報	48
規制	41
季節規制考慮	40
起動音	161
逆走検知警告	68
逆走注意アラーム	68, 169
ギャップレス	111
急カーブ	161
急加速・急減速	161
急加速・急減速の感知音	161
急加速・急減速の感度	161
休憩メッセージ案内	66, 170
曲管理	101
緊急警報放送	83
緊急情報(特別警報)	78
携帯電話切換	134
携帯メモリ読み出し	136
経由地追加	59
経由地マーク	37
言語設定	94
現在地画面	36
検索結果画面	50, 141
広域	43
広域地図	30
高音質モード	118
交差点拡大図	32
交差点拡大図の表示	169
交差点情報の表示	169
交差点情報表示	36, 37
高速レーン減少案内	40, 67
交通情報	90
合流案内	40, 67
合流地点	161
ここに行く	47, 51, 56
コントラスト	124

さ行

サーチ	93
細街路探索	62
再生時間	93
再生選択	104
再生モード	95, 96, 97, 100, 110, 116
再生リスト	113
再探索	66
残距離/到着時刻表示	37
残距離/到着時刻を表示	168
市街地図	30
市街地図での冠水注意ポイント表示	168
市街地図での盗難多発地点表示案内	172
時間規制道路を考慮	170
自局番号	132
事故多発地点	34, 161
事故多発地点案内	40, 67
自車位置	16
自車マーク	34, 41
事象・規制マーク	77
システム設定	21, 172

さくいん

停止	92
ディスク	91, 193
出入口	55
データベース再検索	103
データ放送	84
テナント情報	47
デバイスID表示	88
デバイスアドレス	132, 133
デバイス名	132, 133
デュアルウィンドウ	45, 125
デュアルウィンドウ中の案内割込み	169
デュアルウィンドウを表示	168
テレビ	82
テレビ初期設定	82
テレビメニュー	84
電話に出る	134
電話番号	52
電話を切る	134
動画	113
動画情報表示	161
動画データ	197
統計情報	41
到着予想	170
盗難多発地点	34
盗難多発地点音声案内	172
盗難多発地点表示案内	172
道路切換	66
登録機器一覧	129
登録地	54, 69
登録地編集	69, 71
登録地を表示	168
登録データの初期化	173
登録ルート	61
トーン	134
時計表示	168
トップメニュー	92
ドライブレコーダー	20, 158
トラック編集	102
取付調整	161
トンネル出口案内	170

な行

ナビ案内音量	18
ナビ設定	17, 167
入力履歴の初期化	173
ノイズキャンセル	137
ノースアップ	44

は行

バージョンアップ	88, 148
ハイウェイ入口案内	32
ハイウェイマップ	31
ハイウェイモード	45
ハイウェイモードの表示	169
背景	27
ハイレゾ音源	3, 118, 120
パスキー	133
パスワード変更	94
バックアイカメラ	151
発信履歴	135
早送り	93, 95, 96, 97, 100, 110, 113, 116
早戻し	93, 95, 96, 97, 100, 110, 113, 116
範囲	41
番組内容	86
番組表	86

番組表表示形式	85
ハンズフリー	134
微調整	36, 42
ヒット・周波数拡張	120
標高地図	30
標高地図色	167
標高地図を表示	167
標識拡大表示	40
フェリーを優先	170
フォルダ	96, 110
フォルダ名編集	69
吹き出し表示	34
吹き出しを表示	167
複数探索	57, 59
踏切案内	40, 67
プリセット選局	75, 89
プリセットメモリー	89
プレイリスト	92
分岐案内頻度	40
別ルート	57
ヘディングアップ	44
方位マーク	34, 44
放送局一覧	88
方面看板	31
方面看板の表示	169
保留	134
本体情報	133

ま行

マップ	41
マップコード	36, 55, 205
マニュアル設定	85
右画面に地図表示	167
右画面表示	45, 125
右画面用地図設定	167
道幅優先	40
ミュート	18, 134
名称	52
名称の文字サイズ	167
メイン画面用地図設定	167
メンテナンス情報	145
モード切換	111, 112, 113
目的地ショートカット	24
目的地追加	59
目的地方向直線表示	37
目的地方向を表示	169
目的地マーク	37
目的地メニュー	25, 50
文字サイズ	41
文字入力	191
文字表示型(レベル1)	74, 76
モニター設定	94

や行

ユーザーカスタマイズ	21, 34
ユーザー情報設定	82, 88
ユーザープリセット設定	85
郵便番号	55, 82
有料道	41
有料道速度超過警告	40
有料道路優先	40
曜日時間規制探索	63, 65

ら行

ライト点灯案内.....	40, 67
ラジオ.....	89
ランダム.....	95, 96, 97, 100, 110
ランチャーメニュー.....	38
ランドマーク.....	34, 47
リアル3D表示.....	32, 169
リジューム.....	92
リスト.....	112
リターン.....	93
リダイヤル.....	135
立体ランドマーク.....	34
リバース.....	19
リピート.....	95, 96, 97, 100, 110, 116
利用開始.....	15
履歴.....	52
ルート.....	40, 51
ルート学習.....	40
ルート学習結果の初期化.....	173
ルート削除.....	51
ルート情報.....	31, 45
ルート情報の表示.....	169
ルートの全表示.....	57, 169
ルート編集.....	59
ルート保存.....	61
ローカルアップデート.....	106
録音.....	98
録音設定.....	98
録音データ初期化.....	105

数字・記号・アルファベット

3D.....	44
3D視角調整.....	44, 167
5ルート.....	47
10キー.....	93
+B電圧.....	19
AAC.....	110
AUDIO OFF.....	81
AUDIO ON.....	81
Audio画面中の案内割込み.....	169
AUDIO情報を表示.....	168
BLUETOOTH.....	126, 128, 201
BLUETOOTH Audio.....	97
DISC EJECT.....	91
Drive T@ker.....	140
DSP.....	120
DVD-Video.....	92
DVD-VR.....	92
ecoドライブ.....	144
ETC2.0アップリンク.....	152, 171
ETC2.0自動音声再生.....	171
ETC2.0車載器.....	152
ETC2.0受信音.....	171
ETC2.0設定.....	171
ETC2.0ユニット.....	20
ETC2.0割込み.....	171
ETC音声ガイド.....	171
ETC管理情報.....	153
ETC車載器.....	152
ETC情報.....	153
ETCユニット.....	20
ETC履歴.....	153
ETCレーン案内.....	33
ETCレーンの表示.....	169

EWS.....	83
EWS(緊急情報)の割込み.....	169
FADE/BALANCE.....	121
FLAC.....	3, 108, 110, 111, 118, 120, 198
FM/AM.....	89
GPS情報.....	16
Gracenote.....	106, 107, 121
HDMI.....	149
iPod.....	20, 114
iPod抜き忘れ案内.....	172
JCTビューの表示.....	169
LAUNCHER.....	38
MAPCODEを表示.....	168
MEMORY MUSIC.....	100
MP3.....	96, 110
NaviCon®.....	138
OPEN.....	91
SA・PA入口案内.....	33
SA/PAマーク.....	49
SDカード情報.....	105
SDカードの初期化.....	161, 173
SDメモリーカード.....	108, 196
TILT.....	17
TVの初期化.....	173
USB.....	20
USBメモリー.....	109, 196
VICS.....	74
VICS WIDE.....	41
VICS案内.....	65, 170
VICS考慮.....	40, 63
VICS自動再探索.....	65, 170
VICS情報提供サービス.....	152
VICS情報マーク.....	49
VICSタイムスタンプ.....	34, 48
VTR.....	148
WAV.....	3, 108, 110, 111, 118, 120, 198
WMA.....	96, 110

商標・ライセンスなど

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotive で動作します。
- Microsoft, Windows, Windows Media and Windows Automotive are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」および「ETC2.0」は、一般財団法人ITS サービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省道路局の登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote®社 によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社 の Webサイト www.gracenote.com をご覧ください。Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote. GracenoteSoftware, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote のWebサイトをご覧ください。Gracenote, Gracenote ロゴとロゴタイプ、" Powered by Gracenote " ロゴは、米国およびその他の国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- “DVD Logo” は、DVDフォーマットロゴ ライセンシング株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, ドルビー, Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License, AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual, AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)を記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<https://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されており、分解したり、改造することも禁じられています。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface, およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- MHL is a trademark or registered trademark of the MHL, LLC.
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- Android はGoogle LLCの商標です。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iPod nano, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

● 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機のソフトウェアまたはその一部の複製、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うこと、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラムやデータについても同様の扱いとなります。

● 本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

(1) パナソニック株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア

(2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア

(3) オープンソースソフトウェア

■ 上記(3)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム（OSS）が含まれています。

- **RSA Data Security' s MD5 License**

RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

- **Independent JPEG Group's License**

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- **Apache License 2.0**

This software includes Google Protocol Buffers. You may obtain a copy of the License at "<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

- **OpenSSL License**

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

・ TOPPERS / JSP Kernel

Toyohashi Open Platform for Embedded Real-Time Systems/
Just Standard Profile Kernel

Copyright (C) 2000 - 2003 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory
Toyohashi Univ. of Technology, JAPAN

Copyright (C) 2005 , 2006 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory
Graduate School of Information Science, Nagoya Univ., JAPAN

上記著作権者は、以下の(1)-(4)の条件か、Free Software Foundation によって公表されているGNU General Public License のVersion 2 に記述されている条件を満たす場合に限り、本ソフトウェア(本ソフトウェアを改変したものを含む、以下同じ)を使用・複製・改変・再配布(以下、利用と呼ぶ)することを無償で許諾する。

- (1) 本ソフトウェアをソースコードの形で利用する場合には、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定が、そのままの形でソースコード中に含まれていること。
- (2) 本ソフトウェアを、ライブラリ形式など、他のソフトウェア開発に使用できる形で再配布する場合には、再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること。
- (3) 本ソフトウェアを、機器に組み込むなど、他のソフトウェア開発に使用できない形で再配布する場合には、次のいずれかの条件を満たすこと。
 - (a) 再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること。
 - (b) 再配布の形態を、別に定める方法によって、TOPPERS プロジェクトに報告すること。
- (4) 本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じるいかなる損害からも、上記著作権者およびTOPPERSプロジェクトを免責すること。

本ソフトウェアは、無保証で提供されているものである。上記著作権者およびTOPPERS プロジェクトは、本ソフトウェアに関して、その適用可能性も含めて、いかなる保証も行わない。また、本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても、その責任を負わない。

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/license/license/license03.html>

仕様

		CN-RZ866 CN-RZ865		CN-RZ766W CN-RZ765W	
電源					
電源電圧	DC12 V (試験電圧 14.4 V) マイナスアース				
消費電流	2.1 A 以下 (AUDIO OFF時)				
液晶ディスプレイ					
画面寸法 (幅×高さ×対角)	8V型ワイド 175 mm × 105 mm × 204 mm		7V型ワイド 157 mm × 82 mm × 177 mm		
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)				
画素数	1 152 000 画素 (縦480 × 横800 × 3)				
有効画素率	99.99 %				
表示方式	透過型カラーフィルター方式				
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式				
使用光源	内部光 (LED)				
タッチパネル	抵抗感圧式アナログタイプ (フィルム+ガラス)				
アンプ					
定格出力	18 W × 4				
最大出力	50 W × 4				
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 ~ 8 Ω 使用可能)				
接続端子					
ビデオ入力レベル	映像: NTSC方式 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック) 音声: ステレオ 2.0 Vrms MAX (RCAピンジャック)				
カメラ入力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)				
ビデオ出力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)				
HDMI入力*1	<ul style="list-style-type: none"> ・HDMI端子: 1系統 (19ピン typeE端子) ・映像信号: 480p, 720p, 1080i (16:9, 4:3) Field Rate: 59.94 Hz, 60 Hz ・音声信号: リニアPCM (最大2ch, サンプリング周波数 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz) 				
ナビゲーションユニット					
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	202 mm × 125 mm × 187 mm (取付奥行き寸法 165.5 mm)		205 mm × 104 mm × 176 mm (取付奥行き寸法 161 mm)		
質量	約2.6 kg		約2.5 kg		
動作温度	-10 °C ~ +60 °C				
DVDプレーヤー					
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部)、NTSC方式 1.0 Vp-p (出力)				
周波数特性	DVD	5 Hz ~ 22 kHz			
	CD	5 Hz ~ 20 kHz			
信号対雑音比 (SN比)	90 dB (IHF, A)				
ワウ・フラッター	測定限界以下				
MP3 デコーダー	ビットレート	MPEG1	64 kbps ~ 320 kbps		
		MPEG2	64 kbps ~ 160 kbps		
	サンプリング 周波数	MPEG1	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz		
		MPEG2	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz		
FMチューナー					
受信周波数	76.0 MHz ~ 99.0 MHz				
実用感度 (SN比, 30 dB)	15 dBμV 以下				
SN比 (入力54 dBμV)	50 dB 以上				
ステレオ分離度 (入力60 dBμV)	35 dB				
AMチューナー					
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz				
実用感度 (SN比, 20 dB)	37 dBμV 以下				

地上デジタルTVチューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送(ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13ch ~ 52ch)
入力信号レベル	-75 dBm ~ -20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2100 mA
BLUETOOTH	
通信周波数	2402 MHz ~ 2480 MHz
RF出力	-4 dBm (0.4 mW)
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散
マイク	
コードの長さ	2 m
外形寸法(直径×奥行き)	φ11.6 mm × 35.9 mm
質量	約32 g (コード含む)

- 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 寸法・質量はおおよその数値です。

* 1 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ

仕 様

ナビ連動ドライブレコーダー(別売品)の仕様

電源	
電源電圧	DC12 V マイナスアース
消費電流	280 mA
消費電力	3.4 W
ドライブレコーダー本体	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	72 mm × 32.2 mm × 56 mm (取付部は除く)
質量	約250 g (コード含む)
推奨動作温度	-10℃ ~ +60℃
カメラ部	
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度(動画・静止画)	高画質:1920 × 1080 標準画質:1280 × 720
フレームレート	高画質:28 fps (駐車録画の場合は14 fps) 標準画質:14 fps
画角	水 平:117° 垂 直:63°
記録メディア	microSDXCメモリーカード(Class6以上の64 GB ~ 128 GB) microSDHCメモリーカード(Class6以上の8 GB ~ 32 GB)
記録形式	映 像:H.264 音 声:PCM、モノラル
ファイルフォーマット	動 画:MP4 静 止 画:JPEG

- 寸法・質量はおおよその数値です。

修理のご依頼や、お取り扱い・お手入れ、その他ご不明の点などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼するときは

まず、「困ったとき」(P.174~190)をご覧ください、お確かめください。

処置をしてもなおらないときは、ご使用中を中止して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

- 製品名：AV一体型ナビゲーション
- 品番
ナビゲーションユニット(本体の正面左上)で、お買い上げ製品のパナソニック品番をご確認ください。「純正品番」もご確認ください。
- お取り付け車両名

■ 保証期間中は、保証書の記載内容に従って修理させていただきます。
おそれ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

● 保証書

「お取り付け日・販売店名」などの必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、説明書とともに大切に保管してください。

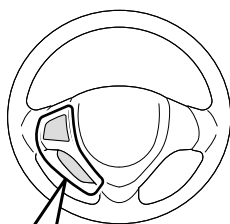
■ 保証期間終了後は、診断して修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

● 補修用性能部品の保有期間 **6年**

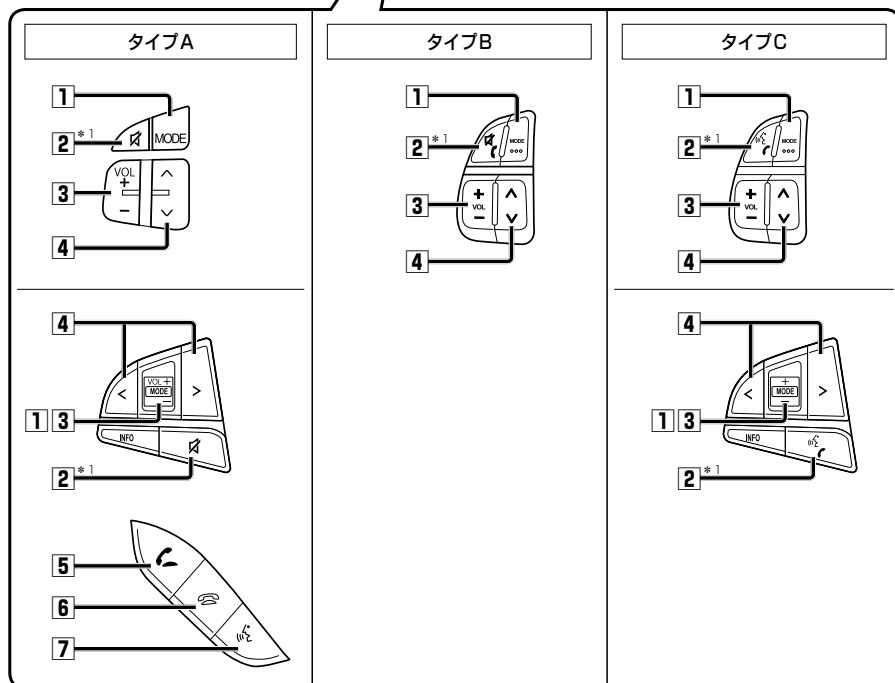
当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

ステアリングスイッチの操作について




車両に純正ステアリングスイッチが装備されている場合には、P.227の操作ができます。



- イラストは機能説明用です。スイッチの配置や形状は、車両により異なります。



* 1 図柄に合わせてステアリングスイッチ設定を行ってください。
お買い上げ時は、「タイプB」に設定されています。(P.172)

1	モード MODE	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオを切り換える(オーディオの切り換えについて→P.80) ● オーディオ OFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。 ● 交通情報時は、TVに切り換わります。 ● ステアリングスイッチで交通情報に切り換えることはできません。 ● 音声認識*2を起動する(1秒以上押す) 										
2	*1  タイプA  タイプB  タイプC	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオの音声を一時的に消音する*3 ● オーディオの音声を一時的に消音する*3 ● 電話に出る(着信中) ● 電話を切る(通話中)(1秒以上押す) ● 電話に出る(着信中) ● 電話を切る(通話中)(1秒以上押す) ● 音声認識*2を起動する 										
3	+ -	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ/ハンズフリーの音量調整 										
4	  または  	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="305 675 591 762"> DVD CD MEMORY MUSIC USB SD BLUETOOTH Audio iPod </td> <td data-bbox="591 675 1009 762"> <ul style="list-style-type: none"> ● チャプター・曲・ファイルの頭出し </td> </tr> <tr> <td data-bbox="305 762 591 850"> DVD CD USB(動画) SD(動画) BLUETOOTH Audio iPod </td> <td data-bbox="591 762 1009 850"> <ul style="list-style-type: none"> ● 早送り・早戻し(押し続ける) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="305 850 591 922"> MEMORY MUSIC USB(音楽) SD(音楽) </td> <td data-bbox="591 850 1009 922"> <ul style="list-style-type: none"> ● アルバム・フォルダの切り換え(1秒以上押す) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="305 922 591 986"> FM AM </td> <td data-bbox="591 922 1009 986"> <ul style="list-style-type: none"> ● 選局する ● シーク選局(1秒以上押す) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="305 986 591 1050"> TV </td> <td data-bbox="591 986 1009 1050"> <ul style="list-style-type: none"> ● 選局する ● 連続選局(押し続ける) </td> </tr> </table>	DVD CD MEMORY MUSIC USB SD BLUETOOTH Audio iPod	<ul style="list-style-type: none"> ● チャプター・曲・ファイルの頭出し 	DVD CD USB(動画) SD(動画) BLUETOOTH Audio iPod	<ul style="list-style-type: none"> ● 早送り・早戻し(押し続ける) 	MEMORY MUSIC USB(音楽) SD(音楽)	<ul style="list-style-type: none"> ● アルバム・フォルダの切り換え(1秒以上押す) 	FM AM	<ul style="list-style-type: none"> ● 選局する ● シーク選局(1秒以上押す) 	TV	<ul style="list-style-type: none"> ● 選局する ● 連続選局(押し続ける)
DVD CD MEMORY MUSIC USB SD BLUETOOTH Audio iPod	<ul style="list-style-type: none"> ● チャプター・曲・ファイルの頭出し 											
DVD CD USB(動画) SD(動画) BLUETOOTH Audio iPod	<ul style="list-style-type: none"> ● 早送り・早戻し(押し続ける) 											
MEMORY MUSIC USB(音楽) SD(音楽)	<ul style="list-style-type: none"> ● アルバム・フォルダの切り換え(1秒以上押す) 											
FM AM	<ul style="list-style-type: none"> ● 選局する ● シーク選局(1秒以上押す) 											
TV	<ul style="list-style-type: none"> ● 選局する ● 連続選局(押し続ける) 											
5		<ul style="list-style-type: none"> ● 電話に出る(着信中) 										
6		<ul style="list-style-type: none"> ● 電話を切る(通話中) 										
7		<ul style="list-style-type: none"> ● 音声認識*2を起動する 										

*2 **CN-RZ866** **CN-RZ766W** のみ

*3 ナビゲーションの音声案内、ハンズフリーの音声(通話音・発/着信音)は、ミュートされません。

パナソニック お客様ご相談センター

電話



フリーダイヤル ゴー パナソニック

0120-50-8729

■上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511 (有料)

受付時間 9:00～17:00 (年中無休)

FAX (有料)

045-938-1573

受付時間 9:00～17:00

(土・日・祝日・当社休日を除く)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。「システム情報」(P.25)もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 ()
固有番号 (ナビID)	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。「システム情報」(P.25)で、番号をご確認ください。 ()

製造元

パナソニック株式会社 オートモーティブ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地